

障害児教育教室	氏名 新井 英靖
---------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1972 年 5 月
学歴・職歴	1998 年 東京学芸大学大学院 修士課程 教育学研究科 障害児教育専攻 修了 東京都立久留米養護学校(教諭)(1998 年 4 月～2000 年 9 月) 茨城大学教育学部(講師)(2000 年 10 月～) 茨城大学教育学部(准教授)(2007 年 10 月～)
学位	博士[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育学会 日本教育方法学会 日本特別ニーズ教育学会 日本特殊教育学会 日本発達障害学会 関東教育学会
専門分野	障害児教育学 特別支援教育 障害児教育方法学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目 (火・5) (専門科目)障害児教育演習 II, 知的障害児の教育方法, 知的障害児指導法演習, 肢体不自由児の教育方法, 感覚障害児の教育, 障害学総合研究, 障害児教育学特 論 II/障害児教育学特論 II(障害児教育方法学), 障害児教育学演習 II, 障害児教育 学特別研究 II, 障害児の指導法/肢体不自由児の教育方法, 知的障害児指導法/知 的障害児の教育方法, 障害児指導法演習/知的障害児指導法演習, 障害児教育学 演習 II, 特別支援教育研究法, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)学校教育基礎論, 障害学総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>[著書・単著]新井英靖,「幼児期から始めるキャリア形成」湯浅恭正ほか編著『発達障害児のキャリア形成と授業づくり・学級づくり』, 黎明書房, 26-33, 2011 年 03 月</p> <p>[著書・単著]新井英靖,「コミュニケーションの基盤づくりの重要性」新井英靖ほか編著『自閉症児のコミュニケーション形成と授業づくり・学級づくり』, 黎明書房, 17-24, 2011 年 02 月</p> <p>[著書・共著(筆頭以外)]渡邊健治・新井英靖, 特別支援教育における子どもの発達と教育方法, 田研出版, 2010 年 07 月</p> <p>[学術誌論文・単著] 新井英靖, 英国の行動上の困難を示す子どもに対する教育的対応に関する研究～人格・社会性・健康教育(PSHE)に注目して～, 学校ソーシャルワーク研究, 5, 30-40, 2010 年 07 月</p>
--

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

- [兼業]茨城県教育研修センター 講師(2007年12月26日～)
- [兼業]茨城県特別支援教育推進連盟 講師(2007年12月04日～)
- [兼業]水戸南高校 講師(2007年11月30日～)
- [兼業]茨城県立伊奈養護学校 講師(2007年11月20日～)
- [兼業]日立市教育研究会 講師(2007年11月16日～)
- [兼業]茨城県立友部東養護学校 講師(2007年10月24日～)
- [兼業]茨城県教育研修センター 講師(2007年10月03日～)
- [兼業]茨城県立土浦養護学校 講師(2007年09月20日～)
- [兼業]東京都立羽村養護学校 講師(2007年08月30日～)
- [兼業]茨城県立水戸高等養護学校 講師(2007年08月20日～)
- [兼業]全日本特別支援教育研究連盟 講師(2007年08月09日～)
- [兼業]茨城県教育研究会 講師(2007年08月08日～)
- [兼業]茨城県立鹿島養護学校 講師(2007年08月02日～)
- [兼業]茨城県立つくば養護学校 講師(2007年07月26日～)
- [兼業]茨城県教育研修センター 講師(2007年06月28日～)
- [兼業]茨城県教育委員会 講師(2007年06月12日～)
- [兼業]茨城県教育研修センター 講師(2007年05月29日～)
- [兼業]社会福祉法人城里町社会福祉協議会 講師(2007年05月26日～)
- [兼業]茨城県教育研修センター研究発表会 助言者(2007年03月24日～)
- [兼業]京都府立医科大学FD研修会 講師(2007年03月06日～)
- [兼業]茨城県特殊教育諸学校体育連盟体育研修会 講師(2007年02月16日～)
- [兼業]茨城県教育委員会「個に応じた指導共同研修会」 講師(2007年02月02日～)
- [兼業]茨城県立友部東養護学校校内研修会 講師(2007年01月29日～)
- [兼業]茨城県立鹿島養護学校研究発表会 助言者(2007年01月26日～)
- [兼業]東京都世田谷区立烏山小学校公開研究会 講師(2006年12月26日～)
- [兼業]茨城県特殊教育諸学校教育研究会生活単元部会 講師(2006年12月25日～)
- [兼業]東京都立高島養護学校校内研修会 講師(2006年12月22日～)
- [兼業]茨城県立土浦養護学校校内研修会 講師(2006年12月14日～)
- [兼業]茨城県立潮来保健所子育て支援健康講座 講師(2006年12月07日～)

[兼業]東京都立多摩養護学校校内研修会 講師(2006年11月24日～)
[兼業]茨城県学校教育相談研究会 講師(2006年11月18日～)
[兼業]日立養護学校公開研究会 講師(2006年11月17日～)
[兼業]常陸大宮保健所虐待児童相談研修会 講師(2006年10月19日～)
[兼業]日立市立大久保中学校校内研修会 講師(2006年09月01日～)
[兼業]茨城県教育研修センター 講師(2006年08月09日～)
[兼業]東海村教育委員会主催研修会 講師(2006年08月04日～)
[兼業]京都府館学校連絡協議会主催講習会 講師(2006年08月01日～)
[兼業]牛久市教育委員会:幼児教育支援センター事業講演会 講師(2006年07月31日～)
[兼業]日立市教育研究会 講師(2006年06月22日～)
[兼業]茨城県県南教育事務所管内指導主事研修会 講師(2006年02月13日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「発達障害児のキャリア教育プログラムの開発」[科研費]若手研究(B)(代表)(2010年04月01日～2013年03月31日)

障害児教育教室	氏名 荒川 智
---------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1957 年 8 月
学歴・職歴	1988 年 筑波大学大学院 博士課程 教育学研究科 教育学専攻 修了 日本学術振興会特別研究員(1988 年 4 月～1989 年 3 月) 神奈川県立衛生短期大学講師(1989 年 4 月～1994 年 3 月) 茨城大学教育学部助教授(1994 年 4 月～2002 年 3 月) 茨城大学教育学部教授(2002 年 4 月～)
学位	教育学博士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本特殊教育学会 日本教育学会 教育史学会 日本特別ニーズ教育教育学会 (SNE 学会)
専門分野	障害児教育、特別支援教育
教育研究概要	障害児教育、と区別支援教育の歴史、制度、行政、理念、方法 特別ニーズ教育、インクルーシブ教育の国際動向 (キーワード)
担当科目	(専門科目)特別支援教育原論, 障害児教育演習 I, 障害児教育学特論 I/障害児教育学特論 I(障害児教育学・教育史), 障害児教育学演習 I, 障害児教育学特別研究 I, 総合演習, 障害児教育の歴史と制度/特別支援教育原論, 障害児教育学演習 I, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)地域教育資源フィールドスタディ, 授業展開ケーススタディ, 障害学総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[著書・編集]荒川 智, 障害のある子の教育改革提言ーインクルーシブな学校づくり・地域づくり(増補版), , 2010 年 12 月 20 日
[著書・編集]荒川智, 障害のある子の教育改革提言ーインクルーシブな学校づくり・地域づくり, 全国障害者問題研究会出版部, 2010 年 05 月 20 日
[学術誌論文・単著] , 特別支援学校学習指導要領の改訂と教育実践, 障害者問題研究, 38 , 1, 9-19, 2010 年 05 月 25 日
[学術誌論文・単著] , ドイツにおける特別教育的促進とインクルーシブ教育, 発達障害研究, 32 , 2, 146-151, 2010 年 05 月 31 日

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[非常勤講師]青森県教育委員会 (2006年09月～)

[非常勤講師]茨城県教育委員会 (2006年08月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1948年4月
学歴・職歴	1977年03月 東京大学大学院 博士課程 人文科学研究科 西洋史専攻 単位取得満期退学 茨城大学講師教育学部(1977年4月～1982年6月) 茨城大学助教授教育学部(1982年7月～1993年3月) 茨城大学教授教育学部(現在に至る)(1993年4月～) 茨城大学評議員(2002年4月～2002年8月) 茨城大学副学長(教育)(2002年9月～2004年3月) 茨城大学理事・副学長(教育)(2004年4月～2004年8月) 茨城大学学長特別補佐(入学戦略担当)(2005年4月～2006年3月) 茨城大学入学センター長(2006年5月～2008年4月)
学位	博士(文学)[東京大学] 文学修士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	史学会 日本西洋史学会 歴史学研究会 西洋史研究会 早稲田大学史学会 西洋中世学会
専門分野	西洋史, ドイツ中世史
教育研究概要	ドイツ中世後期を中心とする政治史・政治思想史の研究。中世皇帝権・ドイツ帝権・ドイツ王権, 帝国・ドイツ王国等のキーワードに即した理念と現実の交錯の解明。 (キーワード) 中世ドイツ, 政治史, 国制史, 政治思想史, 帝権論, 神聖ローマ帝国史
担当科目	(教養科目)コミュニケーション論 (水・2) (専門科目)ヨーロッパ歴史文化論 I/西洋史特講 I, 専門演習 I(西洋史), 専門演習 II(西洋史), ヨーロッパの歴史と文化(教科又は教職)/ヨーロッパの歴史と文化, 言語と文化の諸相, 基礎世界史, 西洋史概説 I, 西洋史演習 I(4単位), 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)社会・文化総合研究, 社会科授業設計, 西欧史特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(学外での委員等)

茨城県選挙管理委員会[]()

(兼業・兼職)

[兼業]茨城県 茨城県選挙管理委員会委員(2008年12月27日～2012年12月26日)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「ドイツ中世末期の政治と政治思想の研究(Study of German political history and thought in the later middle age)」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2009年04月01日～2013年03月31日)

教育保健教室	氏名 石原 研治
--------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1971 年 5 月
学歴・職歴	2000 年 03 月 東北大学大学院 博士後期課程 薬学研究科 専攻 修了 東北大学 大学院薬学研究科 助手(1999 年 4 月～2007 年 3 月) 東北大学 大学院薬学研究科 助教(2007 年 4 月～2008 年 3 月) 東北大学 大学院工学研究科 助教(2008 年 4 月～2009 年 3 月) 茨城大学 教育学部 養護教諭養成課程 准教授(2009 年 4 月～)
学位	博士 (薬学)[東北大学]
受賞歴	なし
所属学会	アレルギー・好酸球研究会 日本アレルギー学会 日本薬学会 International Eosinophil Society
専門分野	膠原病・アレルギー・感染症内科学 耳鼻咽喉科学
教育研究概要	(キーワード)アレルギー 好酸球 気管支喘息 ニッケル 聴覚 難聴
担当科目	(教養科目)身体・行動系科目 (金・3) (専門科目)解剖生理学, 解剖生理学演習, 免疫学 I, 免疫学 II, 薬理学, 卒業研究 (教育:4 単位) (大学院科目)地域教育資源フィールドスタディ, 授業展開ケーススタディ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>[学術誌論文・共著(筆頭以外)] Tanaka, R., Goi, Y., Ishihara, K., Ueda, K., Narushima, T., Ohtsu, H., Ohuchi, K., Hiratsuka, M., Hirasawa, N., Assessment of the release of nickel from biomaterials in vivo and in vitro: enhancement by lipopolysaccharide., <i>Inflam. Regener.</i>, in press, 2011 年</p> <p>[学術誌論文・共著(筆頭以外)] Satou, N., Ishihara, K., Hiratsuka, M., Tanaka, H., Endo, Y., Saito, S., Iwatate, Y., Leonard, W.J., Hirasawa, N., Induction of thymic stromal lymphopoietin production by xylene and exacerbation of picryl chloride-induced allergic inflammation in mice., <i>Int. Arch. Allergy Immunol.</i>, in press, 2011 年</p> <p>[総説・解説・報告等・共著(筆頭以外)] Sato N, Ishihara K, Hiratsuka M, Hirasawa N., Induction of thymic stromal lymphopoietin by chemical compounds in vivo and exacerbation of allergy., <i>Inflam. Regener.</i>, 31, 2, 184-188, 2011 年</p> <p>[学術誌論文・共著(筆頭以外)] Hong J, Aoyama S, Hirasawa N, Zee O, Ishihara K, Hashida C, Kimura</p>
--

M, Seyama T, Ohuchi K., Suppression of intracellular calcium levels and inhibition of degranulation in RBL-2H3 mast cells by the sesquiterpene lactone parthenolide., *Planta Med.*, **77**, 3, 252-256, 2011 年 02 月

[学術誌論文・共著(筆頭)] Ishihara K, Okuyama S, Kumano S, Iida K, Hamana H, Murakoshi M, Kobayashi T, Usami S, Ikeda K, Haga Y, Tsumoto K, Nakamura H, Hirasawa N, Wada H, Salicylate restores transport function and anion exchanger activity of missense pendrin mutations., *Hear. Res.*, **270**, 1-2, 110-118, 2010 年 12 月 1 日

[学術誌論文・共著(筆頭以外)] Hirasawa N, Goi Y, Tanaka R, Ishihara K, Ohtsu H, Ohuchi K., Involvement of prostaglandins and histamine in nickel wire-induced acute inflammation in mice., *J Biomed Mater Res A.*, **93A**, 4, 1306-1311, 2010 年 06 月 15 日

[学術誌論文・共著(筆頭以外)] Kumano S, Iida K, Ishihara K, Murakoshi M, Tsumoto K, Ikeda K, Kumagai I, Kobayashi T, Wada H., Salicylate-induced translocation of prestin having mutation in the GTSRH sequence to the plasma membrane., *FEBS Lett.*, **584**, 11, 2327-2332, 2010 年 04 月 11 日

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「マイクロポンプシステムを用いた分子シャペロンとして働く薬物投与による遺伝性難聴の革新的治療法の創生」[厚生労働省]厚生労働科研費(分担)(2009年04月～2012年03月)

「好酸球分化における新規インターロイキン-5受容体の役割の解明」[科研費]若手研究(B)(代表)(2009年04月～2011年03月)

「遺伝性難聴の治療を目指した変異膜タンパク質をリフォールディングさせる新手法の創出」[科研費]基盤研究(B)一般(分担)(2008年04月～2011年03月)

理科教育教室	氏名 伊藤 孝
--------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1964 年 10 月
学歴・職歴	1993 年 筑波大学大学院 博士課程 地球科学研究科 地質学専攻 修了
学位	博士(理学) 理学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本地学教育学会 日本地球化学会 日本地質学会 日本堆積学会 資源地質学会
専門分野	地質学 鉱床学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)身近な地球科学(火・4) (専門科目)初等理科内容研究, 鉱物学, 岩石学, 地球科学演習, 地学演習, 地学実験B, 地学野外実習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)自然科学総合研究, 理科授業設計, 地学特論, 地学特別実験

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>[大学・研究所等紀要・共著(筆頭以外)] 坂本 亮・伊藤 孝・清川昌一, 19 億年前の深海底堆積岩の特徴:カナダ・フリンフロン帯における掘削コア TS07-01 の岩石記載?2, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), 60, 35-46, 2011 年</p> <p>[大学・研究所等紀要・共著(筆頭以外)] 関 友作・伊藤 孝, 地球科学情報の市民への広報に関する事例研究-2:ニュージーランド・ウェリントンにおける活断層・地震情報の広報, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 60, 273-282, 2011 年</p> <p>[大学・研究所等紀要・単著] 伊藤 孝, 地球科学情報の市民への広報に関する事例研究?1:ニュージーランド・オークランドにおける火山情報の広報, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 60, 21-40, 2011 年</p> <p>[その他・共著(筆頭以外)] Palike, H., Bown, O., Jones, T.D., Edgar, K., Fitch, P., Wilson, P. and the Expeditions 320/321 Scientific Party, Expeditions 320/321:Pacific Equatorial Age Transect (PEAT), UK newsletter, 35, 18-25, 2010 年</p> <p>[大学・研究所等紀要・共著(筆頭)] 伊藤 孝・吉田 佑, 公園を題材とした生活科野外実習教材の作成と公開, 茨城大学教育実践研究, 29, 49-58, 2010 年 11 月 30 日</p>

[総説・解説・報告等・共著(筆頭以外)] Palike, H., Nishi, H., Lyle, M., Raffi, I., Gamage, K., Klaus, A., and the Expedition 320/321 Scientists, Proceedings of the Integrated Ocean Drilling Program, ,
320/321, 2010年10月30日

[総説・解説・報告等・共著(筆頭以外)] 藤林紀枝ほか(第9著者, 他15名), 知識社会における理科教育・地学分野の重要性と教員養成における問題点, 地質ニュース, 669, 69-73, 2010年05月1日

[総説・解説・報告等・共著(筆頭以外)] M.Lyle, H.Palike, H.Nishi, I.Raffi, K.Gamage, A.Klaus, and the IODP Expeditions 320/321 Scientists(全58人中45番目), The Pacific Equatorial Age Transect., IODP Expeditions 320 and 321: Building a 50-Millon-Year-Long Environmental Record of the Equatorial Pacific Ocean, Scientific Drilling, 9, 4-15, 2010年04月

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(講演・シンポジウム等)

第9回地球システム・地球進化ニューイヤースクール「Beyond the boundary～境界から広がる地球惑星科学～」(国内)招待講演 2011年01月08日「私が完全アウェーの状況下で話をする際に心がけていること」

株)日立ライフ社内研修(国内)株)日立ライフ(日立ライフ本社ビル)招待講演 2010年05月20日「地域の地質を生かした街作りを!!」-地質学者が日立ライフさんをお願いしたいこと-

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「太古代チャートの多種同位体と微量元素の地球化学:海洋環境と生命活動記録の解明」[科研費]基盤研究(B)一般(分担)(2008年04月01日～2012年03月31日)

「新生代を通じた太平洋の溶存酸素極小層の消長」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2008年04月01日～2011年03月31日)

技術教育教室

氏名 稲葉 健五

教員履歴など

現職	教授
生年月	1946年10月
学歴・職歴	1975年 東北大学 農学研究科作物学大学院 博士課程 専攻 修了
学位	農学博士[東北大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本作物学会 日本作物学会東北支部会 根の研究
専門分野	作物学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)身近な生物学(火・4) (専門科目)基礎栽培学, 栽培の基礎技術, 栽培の応用技術, 栽培学, 栽培演習 (大学院科目)技術と生活総合研究, 技術科授業設計, 栽培学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(共同研究実績)

代表研究者: ()「21世紀の茨城農業・農村振興プロジェクト調査研究」[学内共同研究/未詳/](年度不詳～)

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1953 年 10 月
学歴・職歴	2000 年 大阪市立大学大学院 博士課程 生活科学研究科 生活環境学専攻 単位取得満期退学
学位	学術博士[大阪市立大学] 工学修士[京都工芸繊維大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本家政学会 日本建築学会 日本都市計画学会 都市住宅学会
専門分野	居住地計画 住居管理
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目 (金・3) (専門科目)保育内容の研究(環境), 住環境計画学(教科又は教職)/住環境計画学(生活デザイン)/住環境計画学(生活デザイン), 初等家庭科内容研究, 初等家庭科内容研究, 住居計画学/住居計画学(情報文化・旧生活デザイン), 住居デザイン I, 住居デザイン II, 住居学演習, 設計製図 I(生活デザイン)/設計製図 I(情報文化), 住環境計画演習/居住地計画演習, 地域デザインプロジェクト I, 地域デザインプロジェクト II, 卒業研究(教育:4 単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭)] 乾 康代, 野澤 通, 建築協定地区における協定違反の現状と課題 ?水戸市 S タウンの事例をとおして?, 茨城大学地域総合研究所年報, 44, 1-10, 2011 年 03 月 31 日

[大学・研究所等紀要・単著] 乾 康代, 東海村 JCO 臨界事故後の地域居住の動向, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学, 芸術), 60, 55-64, 2011 年 03 月 31 日

[大学・研究所等紀要・単著] 乾 康代, 築協定地区における協定規定と運営課題 ?アンケート調査の自由意見分析?, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学, 芸術), 60, 43-53, 2011 年 03 月 31 日

[大学・研究所等紀要・単著] 乾 康代, 東海村の開発過程と地域居住者構成の特質, , 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学, 芸術), 60, 65-75, 2011 年 03 月 31 日

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(学協会活動・研究会活動)

日本建築学会住宅の地方性小委員会委員(2004年04月～)

日本建築学会関東支部茨城支所[常任理事](2002年04月01日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「臨界事故 10 年を経た東海村の防災システムと地域再生の総合的研究」[科研費]基盤研究(A)一般
(分担)(2009年07月01日～2011年03月31日)

(共同研究実績)

代表研究者: () 「都市近郊農村の景観に関する研究」[学内共同研究/未詳/](年度不詳～)

代表研究者: () 「住宅地における建築協定に関する研究」[国内共同研究/未詳/](年度不詳～)

教員履歴など

現職	教授
生年月	1955年9月
学歴・職歴	2008年09月 東北大学大学院 博士後期課程 情報科学研究科 人間社会情報科学専攻 修了 茨城大学教育学部・教授(2007年4月～) 会津大学短期大学部・教授(2005年4月～2007年3月) 北海道教育大学教育学部旭川校・教授(2004年4月～2005年3月) 北海道教育大学教育学部旭川校・助教授(2001年10月～2004年3月) 奥羽大学文学部英語英文学科・専任講師(1993年4月～2001年9月) 千葉県及び福島県公立高等学校教諭(1979年4月～1993年3月)
学位	博士(学術)[東北大学] 教育学修士[福島大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	東北英語教育学会 全国英語教育学会 全国語学教育学会(JALT) 大学英語教育学会(JACET) 関東甲信越英語教育学会
専門分野	外国語教育
教育研究概要	(キーワード) 談話分析, 学習方略, コミュニケーション方略
担当科目	(教養科目) 総合英語(レベル2) (専門科目) 英語科教育法研究 I, 英語科内容研究, 英語コミュニケーション III, 小学校英語 I, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 地域教育資源フィールドスタディ, 授業展開ケーススタディ, 言語と文化総合研究, 英語科授業設計, 英語科教育学特論 I(英語教授法研究), 英語科教育学演習 I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭)] 猪井新一, 竝木崇康, 齋藤英敏, 日本語を活用した小学校外国語活動教員研修, 茨城大学教育学部紀要(教育科学)60号, 97-109, 2010年11月30日

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭以外)] 小山葉月, 猪井新一, オーラルコミュニケーションタスクにおける意味のやり取りの質的研究, 茨城大学教育実践研究, 第29, 121-135, 2010年11月

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(学外教育)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「平成22年度茨城大学教員免許状更新講習会(I期・期)」2010

[その他]「第55回茨城県教育研究連盟・研究集会(外国語)」2010

[出前授業]「英文法の効果的学習方法」2010

(学協会活動・研究会活動)

茨城県教育研究連盟第55回茨城県教育連盟・教育研究集会[講師](2010年10月09日～2011年03月31日)

茨城大学附属小学校平成22年度外国語活動研究協議会(2010年10月01日～2011年03月31日)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「日本語を活用した体験型小学校英語活動教員研修プログラムの開発」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2009年04月01日～2012年03月31日)

情報文化教室	氏名 岩佐 淳一
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1960年1月
学歴・職歴	1990年 中央大学大学院 博士課程 文学研究科 社会学専攻 単位取得満期退学
学位	文学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本マス・コミュニケーション学会 日本社会学会 日本社会情報学会
専門分野	社会情報論、社会学・マス・コミュニケーション論
教育研究概要	ケーブルテレビを中心とした地域情報化に関する研究およびタイ東北部の地域情報に関する研究
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)社会と人間(月・4)/社会学【分野別科目】、主題別ゼミナール(金・1) (専門科目)マス・コミュニケーション論/マス・コミュニケーション論(社会)/マス・コミュニケーション論(社会)、社会学特講/情報社会論/情報社会論、情報文化広報プロジェクト、情報文化広報プロジェクト、フィールドワークの科学(社会情報)、社会情報学演習Ⅱ(社会情報)/社会情報学演習Ⅱ(児童情報)/社会文化情報演習Ⅱ、メディアリテラシー論/メディア・リテラシーⅡ、文化の社会学、課題図書講読Ⅰ【旧情報文化課程】、課題図書講読Ⅱ【旧情報文化課程】、課題図書講読Ⅲ【旧情報文化課程】、課題図書講読Ⅳ【旧情報文化課程】、課題図書講読Ⅲ【旧情報文化課程】、課題図書講読Ⅳ【旧情報文化課程】、課題図書講読Ⅰ、課題図書講読Ⅱ、課題図書講読Ⅲ、インターンシップ、情報文化広報プロジェクトⅠ、情報文化広報プロジェクトⅡ、地域デザインプロジェクトⅠ、地域デザインプロジェクトⅡ、卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)情報メディア論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[その他・共著(筆頭)] 岩佐淳一・伊藤哲司・京楽真帆子, 聞き書きノート:元南ベトナム軍兵士の歴史体験, 東南アジアにおける地域コンフリクトの緩和・予防と「共生の知」の創出 2007年度?2010年度科学研究補助金基盤研究(B)(海外学術研究)研究成果報告書, 28-44, 2011年

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(その他地域協力活動)

NPO 法人ふるさと元気塾理事(2004年06月01日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「2006年クーデター以降の東北タイのプラチャーコム(住民組織)と市民社会形成」[科研費]基盤研究

(B)一般(分担)(2009年04月01日～2011年03月31日)

人間環境教育教室	氏名 上地 勝
----------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1969年8月
学歴・職歴	1999年 筑波大学大学院 博士課程 医学研究科 専攻 修了 茨城県立中央看護専門学院非常勤講師(1996年4月～1999年3月) 茨城県立つくば看護専門学校非常勤講師(1997年4月～2000年3月) 筑波大学助手社会医学系(1999年4月～2001年9月) 茨城大学助教授教育学部(2001年10月～2007年3月) 茨城キリスト教大学非常勤講師(2002年4月～2011年3月) 茨城大学准教授教育学部(2007年4月～)
学位	博士(医学)[筑波大学大学院] 体育学修士[筑波大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校保健学会 日本公衆衛生学会 日本疫学会 日本体力医学会 日本民族衛生学会 日本教育保健学会
専門分野	学校保健学 公衆衛生学・健康科学 健康教育 疫学 応用健康科学
教育研究概要	(キーワード)学校保健、健康教育、保健科教育、疫学、公衆衛生学、健康科学、老年学、介護予防
担当科目	(教養科目)身体活動(月・3), 身体活動(月・4), 身体活動(金・3), 身体活動(集中), 環境・政策系科目(集中), 主題別ゼミナール(水・1) (専門科目)初等保健体育科教育法研究, 現代人の健康(教科又は教職)/現代人の健康(人間環境), 初等保健体育科内容研究, 初等保健体育科内容研究, 衛生公衆衛生学概論/衛生公衆衛生学概論(環境コース)/衛生公衆衛生学概論/衛生公衆衛生学概論, 健康管理学/健康管理学(人間環境)/健康管理学(人間環境)/健康管理学(人間環境), 健康調査解析法, 学校保健概論(中教科:保体選修)/学校保健概論(スポーツコース)/学校保健概論(健康コース), 総合演習/健康特別演習II, 健康特別演習I, 健康運動指導実習, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)人間システム基礎論II, 体育科学総合研究, 保健体育授業設計, 学校保健管理演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[学術誌論文・共著(筆頭以外)] Arai N, Ueji M, Ichimura K, Watanabe M, The relationship between psychosocial factors and cell phone-use related risk behavior in junior high school students, School Health, **6**, 12-23, 2010 年

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[非常勤講師]茨城キリスト教大学 (2001年04月01日～2011年03月31日)

(学協会活動・研究会活動)

日本民族衛生学会日本民族衛生学会編集委員会委員(2010年01月01日～)

日本学校保健学会日本学校保健学会理事会[幹事](2008年03月01日～2011年02月28日)

(その他地域協力活動)

東海村消防本部(連携協定あり)(2007年10月01日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「エビデンスに基づく危険行動予防プログラムのフレーム構築」[科研費]基盤研究(C)一般(分担)

(2008年04月～2011年03月)

(共同研究実績)

代表研究者:システム・プロダクト株式会社()「画像処理技術を用いた運動支援システムの開発(分担)」(概要:画像処理技術を用いて、高齢者や体に障害のある方に対して運動を支援できるシステムを開発する。)[企業からの受託研究/15万円/](2010年09月～)

代表研究者:上地 勝(教育学部・准教授)「OJTによるボディメンテナンス(健康づくり)トレーナー養成の研究」[企業からの受託研究/100万円/0人](2009年03月～2011年02月)

技術教育教室

氏名 白坂 高司

教員履歴など

現職	講師
生年月	1981年4月
学歴・職歴	2011年03月 広島大学大学院 博士後期課程 教育学研究科 専攻 修了
学位	修士(教育学)[広島大学] 博士(学術)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	コンピュータ利用教育学会 教育システム情報学会 日本工学教育協会 日本教科 教育学会 日本教育工学会 日本産業技術教育学会 日本科学教育学会
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)教育システム, 技術教育, 木材加工教育
担当科目	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[学術誌論文・共著(筆頭)] 白坂高司, 山本透, ものづくり学習の組立てプロセスにおける
Memory-Based 評価予測システムの開発, 「工学教育」誌, 第58, 第5, 61-66, 2010年

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

数学教育教室

氏名 梅津 健一郎

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1965 年 3 月
学歴・職歴	1993 年 03 月 筑波大学大学院 博士課程 数学研究科 専攻 修了 筑波大学数学系準研究員(1993 年 6 月～) 前橋工科大学工学部講師(1997 年 4 月～2001 年 3 月) 前橋工科大学工学部助教授(2001 年 4 月～2007 年 3 月) 前橋工科大学工学部准教授(2007 年 4 月～2008 年 3 月) 茨城大学教育学部准教授(2008 年 4 月～)
学位	博士(数学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本数学会 日本応用数理学会
専門分野	基礎解析学
教育研究概要	(キーワード)非線形楕円型境界値問題, 非線型境界条件, 変分法, 固有値問題, 符号不定係数, 分岐理論, 写像度, 人口動態論.
担当科目	(教養科目)身近な数学(火・4) (専門科目)総合演習, 解析学の基礎 I/微分積分の基礎, 解析学の基礎 II, 解析学 A, 解析学B, 解析学D, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)数学総合研究, 数学科教育授業設計, 応用数理学特論, 応用数理学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[学術誌論文・単著] Kenichiro Umezu, Global bifurcation results for semilinear elliptic boundary value problems with indefinite weights and nonlinear boundary conditions, NODEA Nonlinear Differential Equations and Applications, **17**, 3, 323-336, 2010 年

[学術誌論文・単著] Kenichiro Umezu, Blowing-up properties of the positive principal eigenvalue for indefinite Robin-type boundary conditions, Rocky Mountain Journal of Mathematics, **40**, 2, 673-694, 2010 年

研究業績(2)学会発表など

[研究発表・口頭発表] 梅津健一郎, Global bifurcation of positive solutions for some elliptic problems

with nonlinear boundary conditions, 洞爺解析セミナー, 2010年09月28日

[研究発表・口頭発表] Kenichiro Umezu, Global bifurcation analysis of indefinite nonlinear boundary value problems with nonlinear boundary conditions, The 8th AIMS Conference on Dynamical Systems, Differential Equations and Applications, 2010年05月

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「人口動態論に由来する吸収爆発混合型の非線形楕円型境界値問題の分岐解析」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2010年04月01日～2011年03月31日)

国語教育教室	氏名 大内 善一
--------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1947年2月
学歴・職歴	<p>1984年 東京学芸大学大学院 修士課程 教育学研究科 国語科教育学専攻 修了 茨城県日立市立大久保中学校教諭(1973年4月～1976年3月) 茨城大学教育学部附属中学校教諭(1976年4月～1986年3月) 秋田大学講師(教育学部)(1986年4月～1987年3月) 秋田大学助教授(教育学部)(1987年4月～1991年3月) 秋田大学教授(教育学部)(1991年4月～1998年3月) 秋田大学大学院教育学研究科(修士課程担当)(1992年4月～2000年3月) 秋田大学教授(教育文化学部)(1998年4月～2000年3月) 秋田大学教授(教育文化学部)に配置換え 秋田大学教授(教育学部)に併任(1998年4月～2000年3月) 茨城大学教授(教育学部)(2000年4月～) 茨城大学教育学部附属養護学校長に併任(2006年4月～) 茨城大学教育学部附属特別支援学校校長に併任(2007年4月～)</p>
学位	修士(教育学)[東京学芸大学] 博士(教育学)[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	全国大学国語教育学会 日本国語教育学会 日本言語技術教育学会 日本教育技術学会 表現学会 全国教室ディベート連盟 日本読書学会 教育実践学会 茨城国語教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	<p>国語科教育学専攻(特に、綴り方・作文教育史、作文教育実践論、表現教育論、国語科教材分析論、国語科授業構想論、国語科授業展開論、教師教育論)</p> <p>(キーワード)綴り方・作文教育史研究、作文教材の方法論、国語教師・青木幹勇の形成過程、昭和戦前期の綴り方教育における「形式」「内容」一元論の展開に関する研究</p>
担当科目	<p>(教養科目)主題別ゼミナール (木・5)</p> <p>(専門科目)初等国語科教育法研究, 初等国語科教育法研究, 国語科教育法研究, 国語科教育法特講1, 初等国語科内容研究, 国語教育実践研究, 卒業研究(教育:4</p>

	単位) (大学院科目)地域教育資源フィールドスタディ, 授業展開ケーススタディ, 言語文化 総合研究, 国語教育授業設計, 国語科教育学特論 I, 国語科教育学演習 I
--	--

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- [著書・共著(筆頭以外)], 小学校国語科授業研究(第四版), 教育出版, 2010年10月31日
- [著書・共著(筆頭以外)], 豊かな言語活動が拓く国語単元学習の創造, 東洋館出版社, 2010年08月01日
- [学術誌論文・単著] 大内善一, 「学習習慣」は思考の質を高める, 授業力&学級統率力, 11, 2011年02月01日
- [その他・単著] 大内善一, 【書評】『飛田多喜雄先生に学ぶ』, 月刊国語教育, 371, 2011年02月01日
- [学術誌論文・単著] 大内善一, 教室を引き締める学習の躰, 授業力&学級統率力, 06, 2010年09月01日
- [学術誌論文・単著] 大内善一, 視点を限定し意識を集中して「みる」, 授業力&学級統率力, 04, 2010年07月01日
- [学術誌論文・単著] 大内善一, 「反復学習」はことばの感覚・知識・技能を身体で覚えること, 教育科学国語教育, 722, 2010年05月01日
- [その他・単著] 大内善一, 国語教育人物誌, 教育科学国語教育, 722, 2010年05月01日
- [その他・単著] 大内善一, 生きたことば、死んだことば, 茨城国語教育学会会報, 22, 2010年04月01日

研究業績(2)学会発表など

- [その他・口頭発表] 大内善一, 「詩や短歌、俳句」等の韻文創作、鑑賞文・批評文の指導, 茨城国語教育談話会「国語教育 IN 水戸」, 2011年02月05日
- [招待講演・口頭発表] 大内善一, 真の話しく合い学習を創る, 第21回日本国語教育学会茨城支部研究会, 2011年01月22日
- [その他・口頭発表] 大内善一, 作文授業づくり新生面の開拓—詩歌や物語、鑑賞文、批評文等の創作指導にどう対応するか—, 平成22年度教員免許状更新講習, 2010年12月26日
- [研究発表・口頭発表] 大内善一, 国語教師・青木幹勇の形成過程(8)—授業研究で鍛える(4)—, 第119回全国大学国語教育学会鳴門大会, 2010年10月30日
- [招待講演・口頭発表] 大内善一, 確かな学力の向上に資する諸方策について, ひたちなか市立那珂湊第三小学校, 2010年10月22日
- [その他・その他] 大内善一, 作文授業づくり新生面の開拓—詩歌や物語、鑑賞文、批評文等の創作指導にどう対応するか—, 平成22年度教員免許状新講習, 2010年08月24日
- [その他・口頭発表] 大内善一, 文章の内容・形式を一体的に読み取る国語科授業の創造, 茨城・秋田の国語教育合同研修会, 2010年08月17日

[招待講演・口頭発表] 大内善一, 山本麻子著『書く力が身につくイギリスの教育』の紹介, 第20回日本国語教育学会茨城支部研究会, 2010年08月12日

[特別講演・口頭発表] 大内善一, 追究と発見、そして遊び心のある国語科授業の創造—授業技術の意義を見直しつつ—, 平成22年度茨城県国語指導者筑波研修会, 2010年08月05日

[招待講演・口頭発表] 大内善一, 詩や物語、鑑賞文、批評文等の創作文指導にどう対応するか, 平成22年度栃木県下都賀郡地区中教研国語部会研修会, 2010年06月08日

[研究発表・口頭発表] 大内善一, 国語教師・青木幹勇の形成過程(7)—授業研究で鍛える(3)—, 第118回全国大学国語教育学会東京大会, 2010年05月29日

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(学外での委員等)

平成22年度教員免許状更新講習(冬期)[]()

平成22年度ひたちなか市立那珂湊第三小学校[]()

平成22年度教員免許状更新講習(夏季)[]()

茨城・秋田の国語教育架け橋の会[]()

第20回日本国語教育学会茨城支部研究会(8月)[]()

平成22年度茨城県国語指導者筑波研修会[]()

平成22年度栃木県下都賀郡地区中教研国語部会研修会[]()

平成22年度牛久市立向台小学校校内研修会[]()

平成22年度天童市立干布小学校校内研修会[]()

第19回日本国語教育学会茨城支部研究会(1月)[]()

(兼業・兼職)

[兼業] 大好きいばらき県民会議 審査員(2010年11月29日～2010年11月29日)

[兼業] ひたちなか市立那珂湊第三小学校 講師(2010年10月22日～2010年10月22日)

[兼業] 大好きいばらき県民会議 審査員(2010年10月13日～2010年10月13日)

[兼業] 茨城県教育研究連盟 助言者(2010年10月09日～2010年10月09日)

[兼業] 茨城県教育研究会国語部会 講師(2010年08月05日～2010年08月06日)

[兼業] 水戸市立渡里小学校 講師(2010年07月29日～2010年07月29日)

[兼業] 栃木県下都賀郡中学校教育研究会 講師(2010年06月08日～2010年06月08日)

(学外教育)

[その他] 「平成21年度大好き茨城県民会議作文コンクール(審査委員長講評)」2010

[その他] 「第73回国語教育全国大会(指定討論者)」2010

[その他] 「水戸市立渡里小学校校内研修会(指導助言)」2010(連携協定あり)

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)] 「平成22年度教員免許状更新講習」2010

[その他]「平成22年度ひたちなか市立那珂湊第三小学校」2010

[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「平成22年度教員免許状更新講習」2010

[その他]「茨城・秋田の国語教育架け橋の会」2010

[その他]「第20回日本国語教育学会茨城支部研究会」2010

[その他]「平成22年度茨城県国語指導者筑波研修会」2010

[その他]「平成22年度栃木県下都賀郡地区中教研国語部会研修会」2010

[その他]「平成22年度牛久市立向台小学校校内研修会」2010

[その他]「平成22年度天童市立干布小学校校内研修会」2010

[その他]「平成22年度天童市干布小学校校内研修会」2010

[その他]「日本国語教育学会茨城支部地区研究会(講話)」2010
(講演・シンポジウム等)

茨城国語教育談話会「国語教育 IN 水戸」(国内)その他 2011 年 02 月 05 日主催者兼講師

第 21 回日本国語教育学会茨城支部研究会(国内)日本国語教育学会茨城支部その他 2011 年 01 月 22 日講師

平成 22 年度教員免許状更新講習(国内)その他 2010 年 12 月 26 日講師

ひたちなか市立那珂湊第三小学校(国内)ひたちなか市立那珂湊第三小学校その他 2010 年 10 月 22 日講師

平成 22 年度教育免許状更新講習(国内)その他 2010 年 08 月 24 日講師

茨城・秋田の国語教育架け橋の会(国内)茨城・秋田の国語教育架け橋の会(秋田県秋田市)基調講演 2010 年 08 月 17 日会長兼講師

第 20 回日本国語教育学会茨城支部研究会(国内)日本国語教育学会茨城支部招待講演 2010 年 08 月 12 日講師

平成 22 年度茨城県国語指導者筑波研修会(国内)茨城県教育研究会国語部会招待講演 2010 年 08 月 05 日講師

平成 22 年度栃木県下都賀郡地区中教研国語部会(国内)栃木県下都賀郡地区中教研国語部会招待講演 2010 年 06 月 08 日講師

(学協会活動・研究会活動)

日本国語教育学会日本国語教育学会理事会[理事](1994 年 04 月 01 日～)

全国大学国語教育学会全国大学国語教育学会理事会[全国理事](1993 年 04 月 01 日～)

(その他地域協力活動)

茨城国語教育談話会茨城国語教育談話会主催による「国語教育 IN 水戸」研究会における講演(2011 年 02 月 05 日～2011 年 02 月 05 日)

日本国語教育学会茨城支部日本国語教育学会茨城支部研究会における講話(2011 年 01 月 22 日～2011 年 01 月 22 日)

大好き茨城県民会議大好き茨城県民会議主催の作文コンクールでの審査委員長講評(2010 年 11 月 29 日～2010 年 11 月 29 日)

ひたちなか市立那珂湊第三小学校那珂湊第三小学校校内研修会における講話(2010年10月22日～2010年10月22日)

大好き茨城県民会議大好き茨城県民会議主催による作文コンクールでの審査委員長としての審査会(2010年10月13日～2010年10月13日)

茨城県教育研究連盟(連携協定あり)第55回茨城県教育研究連盟研究集会での指導助言(2010年10月09日～2010年09日)

茨城・秋田の国語教育架け橋の会茨城・秋田の国語教育架け橋の会での講演(2010年08月17日～2010年08月17日)

日本国語教育学会茨城支部日本国語教育学会茨城支部研究会における講話(2010年08月12日～2010年08月12日)

国語教育学会第73回日本国語教育学会全国大会での指定討論(2010年08月10日～2010年08月10日)

茨城県教育研究会国語部会国語指導者研修会における講演(2010年08月05日～2010年08月05日)

水戸市立渡里小学校(連携協定あり)水戸市立渡里小学校校内研修会での指導助言(2010年07月29日～2010年07月29日)

栃木県下都賀郡地区中教研国語部会平成22年度栃木県下都賀郡中教研国語部会研修会における講演(2010年06月08日～2010年06月08日)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

社会科教育教室	氏名 大槻 功
---------	---------

教員履歴など

現 職	特任教授
生年月	1944 年 4 月
学歴・職歴	1975 年 東京大学大学院 博士課程 経済学研究科 経済史学専攻 茨城大学講師(教育学部)(1975 年 7 月～) 茨城大学助教授(教育学部)(1980 年 4 月～) 茨城大学教授(教育学部)(1995 年 4 月～)
学位	経済学修士
受賞歴	なし
所属学会	政治経済学・経済史学会(旧土地制度史学会) 社会経済史学会 歴史学研究会
専門分野	経済史
教育研究概要	明治から昭和戦前期の関東地方および茨城県の農業と地主制の研究、地租改正の研究、水戸市の農業および商工業の研究をしています。また、千波湖と水戸市の社会および生活の変遷を現代まで研究しています。 (キーワード)地租改正, 商業的農業, 地主制, 地方都市の近代化, 戦時商業統制, 都市の自然と社会の変遷
担当科目	(教養科目)社会・国際系科目 (金・3) (専門科目)初等社会科内容研究, 初等社会科内容研究, 経済原論 I, 経済原論 II, 国際経済史, 日本経済史, 経済学演習(4 単位), 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)社会・文化総合研究, 社会科授業設計, 経済学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

理科教育教室	氏名 大辻 永
--------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1966年7月
学歴・職歴	1992年 千葉大学大学院 修士課程 教育学研究科 理科教育専攻 千葉県立千葉高等学校(非常勤講師)(1991年4月～1994年3月) 茨城大学講師(教育学部 専任)(1995年4月～1997年9月) 茨城大学助教授(教育学部)(1997年10月～2004年3月) 国立大学法人茨城大学助教授(教育学部 改組による)(2004年4月～)
学位	修士(教育学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	National Association of Geoscience Teachers 日本教育工学会 日本理科教育学会 日本環境教育学会 日本科学技術社会論学会 日本科学教育学会 日本認知科学 会 日本高等教育学会 東亜科学教育学会 ASERA (Australian Science Education Research Association)
専門分野	科学教育
教育研究概要	科学教育の周辺。
	(キーワード)科学教育の文化研究
担当科目	(教養科目)環境・政策系科目(集中), 主題別ゼミナール(水・1) (専門科目)総合演習, 初等理科教育法研究, 初等理科教育法研究, 理科教育法特 講A, 中等理科内容研究, 理科教育演習I, 理科教育演習A, 科学を俯瞰する, 卒業 研究(教育:4単位) (大学院科目)学校教育基礎論, サステイナビリティ教育演習I, 自然科学総合研究, 理科授業設計, 理科教育学特論I(初等理科教育論), 理科教育学演習I, 理科教育 学演習II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[著書・単著]大辻永, 生きてはたらく問題解決能力育成のために: 津波防災教育の教材研究, 藤岡達也(編著)『学校教育と自然災害・防災教育』, 協同出版, 2011年
[著書・単著], 自然災害と理科授業『新しい学びを拓く』第9章第6節, ミネルヴァ書房, 2011年
[著書・単著]大辻永, 大辻永, 三年寝太郎と金山衆～ミステリーと次世代へのメッセージ, 藤岡達也(編著)『環境教育と総合的学習』第3章第2節, 協同出版, 126-135, 2011年03月
[著書・単著]大辻永, 『茨城大学発:持続可能な世界へ』, 茨城新聞社 2010.10.10, 240p,

176-178,179-180(共著筆頭),183-184, 2010年10月10日

[総説・解説・報告等・単著] 大辻永, 全一的日本精神の一つの相, 大日本図書編『中学校教育フォーラム』「コラム:科学のひろば」, 2011冬号 22-23, 2011年01月5日

[総説・解説・報告等・単著] 大辻永, 道として行として, 大日本図書編『中学校教育フォーラム』「コラム:科学のひろば」, 2010秋号 22-23, 2010年09月1日

[総説・解説・報告等・単著] 大辻永, 前提を疑い自らの存在する意味を問う, 大日本図書編『中学校教育フォーラム』「コラム:科学のひろば」, 2010春号 22-23, 2010年04月1日

研究業績(2)学会発表など

[研究発表・口頭発表] 大辻永・遠藤輔, 津波災害教育モジュールの作成:「稲むらの火」から「チリ地震」まで, 日本地学教育学会第64回全国大会, 2010年08月21日

[研究発表・口頭発表] 田崎裕太・大辻永, 「科学的とは必ずしも言い切れない見方・考え方」の研究, 日本理科教育学会第60回全国大会, 2010年08月07日

[研究発表・口頭発表] 斎藤馨・中村和彦・大辻永・豊田かおり・中山雅哉・藤原章雄・安東孝二・岩岡正博, プナの枝葉と映像を用いた小学校理科遠隔授業, 第121回日本森林学会大会, 2010年04月04日

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[非常勤講師] 静岡大学 理学部 非常勤講師(2010年08月～2010年08月)

(学外教育)

[出前授業]「水戸市立城東小学校出前授業 サケのおはなし 小学校3年生 56名 2011.1.26, 10:30-12:00」2010

(学協会活動・研究会活動)

EASE(東アジア科学教育学会)Newsletter editor[Newsletter editor](2007年10月31日～)

(その他地域協力活動)

茨城大学教育学部同窓会会報 執筆大辻永, 2010, 見えないところにそれはある, 茨城大学教育学部同窓会会報 43, 6-7, H22.12.27(2010年12月27日～)

茨城高等学校・中学校茨城高等学校・中学校 第7回PTA研修会 講演「地球温暖化」茨城大学人文学部10番教室 約130名(2009年11月03日～)

水戸市立見川小学校(連携協定あり)日食観察会 1-6年生 142名(2009年07月22日～)

水戸市立緑岡小学校(連携協定あり)わくわくタイム(総合的な学習)講師 2008から(2009年05月29日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(共同研究実績)

代表研究者: 佐伯胖(青山学院大学)「子どもの科学技術・理科に対する関心を高める家庭環境の実現のための保護者に対する科学教室等の取組のあり方についての調査研究(分担)」[国内共同研究/未詳/](2003年～)

保健体育教室	氏名 尾形 敬史
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1947年5月
学歴・職歴	1973年 東京教育大学大学院 修士課程 体育学研究科 体育学専攻 修了
学位	体育学修士[東京教育大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本体育学会 日本武道学会
専門分野	体育学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)身体活動(水・1), 身体活動(水・2), 身体活動(金・3) (専門科目)初等保健体育科教育法研究, スポーツ指導法/武道/武道/スポーツ指導法, 武道方法論, 生理学/生理学(心理コース), 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)体育科学総合研究, 保健体育授業設計, 運動生理学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>[著書・共著(筆頭)]尾形敬史,小俣幸嗣, 柔道実技指導のヒント, 道和書院, 2011年</p> <p>[その他・監修]尾形敬史,向井幹博, 新・学校柔道～安全確保の指導法～(DVD3巻、解説書1冊), 株)Universe, 2011年</p> <p>[大学・研究所等紀要・共著(筆頭以外)] 田中裕之,尾形敬史,小野沢弘史, 中学校保健体育科武道(柔道)の実態について, 講道館柔道科学研究会紀要, 13, 2011年</p> <p>[大学・研究所等紀要・共著(筆頭以外)] 藤原修一,射手矢岬,コラン・チェリー,濱田初幸,尾形敬史, 柔道における子どもと指導者および保護者の柔道観, 講道館柔道科学研究会紀要, 13, 2011年</p>
--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

保健体育教室

氏名 岡本 研二

教員履歴など

現職	教授
生年月	1947年10月
学歴・職歴	1975年 京都大学大学院 修士課程 教育学研究科 教育学専攻
学位	教育学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本体育学会 日本教育学会
専門分野	体育学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)身体活動(木・3), 身体活動(木・4), コミュニケーション論(水・2) (専門科目)初等保健体育科教育法研究[後期], 初等保健体育科教育法研究[後期], 保健体育科教育法研究II, スポーツ指導法VI/ボールゲームII/ボールゲームII/スポーツ指導法VI/ボールゲームII(健康), 初等保健体育科内容研究, コーチング論I, ボールゲーム方法論II/ボールゲーム方法論II(健康), 卒業研究(教育:4単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[非常勤講師]桜の郷看護学校(2006年04月01日～)

[非常勤講師]筑波大学(2006年04月01日～)

(その他地域協力活動)

茨城県教育庁県スポーツリーダーバンクの資格認定講習会講師(2006年07月16日～)

i 茨城県体育協会国民体育大会の強化事業のコーチングスタッフ(2006年04月01日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

数学教育教室	氏名 岡安 隆
--------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 11 月
学歴・職歴	1985 年 東京工業大学大学院 修士課程 理工学研究科 数学専攻
学位	理学修士[東京工業大学] 理学博士[東京工業大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本数学会
専門分野	微分幾何学
教育研究概要	教養の数学を担当。また、教育学部専門科目では、幾何学の基礎、幾何学 C、D、算数科内容研究を担当。専門分野は微分幾何学。極小曲面、調和写像、部分多様体論の研究を行っている。
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)身近な数学 (専門科目)総合演習, 算数科内容研究, 幾何学の基礎 I, 幾何学の基礎 II, 幾何学C, 幾何学D, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)数学総合研究, 数学科教育授業設計, 幾何学特論 I, 幾何学演習 I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[学術誌論文・単著] Takashi Okayasu, New examples of complete hypersurfaces with constant positive scalar curvature in the Euclidean space, J.Math.Soc.Japan, **62**, 4, 1137-1166, 2010 年

研究業績(2)学会発表など

[招待講演・口頭発表] Takashi Okayasu, Comparison theorems for ODEs and their application to geometry of Weingarten hypersurfaces, The International Conference of Differential Geometry and Tanaka Theory --Differential System and Hypersurface Theory--, 2011 年 01 月 25 日
[シンポジウム・口頭発表] Takashi Okayasu, A comparison theorem for an ODE and its application to geometry of Weingarten hypersurfaces, 10th International Workshop Complex structures, integrability and vector fields, 2010 年 09 月 15 日

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「幾何解析を用いたスカラー曲率一定な超曲面の構成の研究」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)
(2007年04月～2011年06月)

学校教育教室	氏名 小川 哲哉
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1958年2月
学歴・職歴	2005年03月 広島大学大学院 博士後期課程 教育学研究科 教育人間科学専攻 修了 広島大学教育学部助手(1987年4月～1988年3月) 九州産業大学 講師(1988年10月～1992年3月) 九州産業大学 助教授(1992年4月～2001年3月) 九州産業大学 教授(2001年4月～2004年3月) 九州産業大学大学院 教授(2004年4月～2010年3月) 茨城大学教育学部 教授(2010年4月～)
学位	教育学修士[広島大学] 博士(教育学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	教育哲学会 日本ディルタイ協会 日本ペスタロッチー・フレーベル学会 日本教師教育学会 日本教育学会
専門分野	教育哲学、教育思想史、教師教育、道徳教育
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[著書・共著(筆頭)]小川哲哉、勝山吉章、井上豊久、『現代教育の諸相』, 青簡舎, 38-60, 86-96, 2010年

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

数学教育教室	氏名 小口 祐一
--------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1962年9月
学歴・職歴	(データなし) 盛岡大学助教授(2005年4月～2007年3月) 盛岡大学准教授(2007年4月～2010年3月) 茨城大学准教授(2010年4月～)
学位	修士(教育学)
受賞歴	なし
所属学会	日本教授学習心理学会 日本数学教育学会 日本科学教育学会 日本統計学会 米国数学教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	(キーワード)統計教育 オープンアプローチ
担当科目	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金) 「中等教育における統計的リテラシーのオンライン評価システムの開発」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2010年04月01日～)

学校教育教室	氏名 生越 達
--------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1960年1月
学歴・職歴	1992年 東京大学大学院 博士課程 教育学研究科 学校教育学専攻 茨城大学教育学部教授(2004年4月～)
学位	教育学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本人間性心理学会 日本教育学会 日本教育方法学会 日本生活指導学会 社会臨床学会
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)教育方法、生活指導、教育相談、子ども論、現象学的研究、人間性心理学、授業研究、不登校、子どもの「問題行動」
担当科目	(専門科目)生活指導の方法, 生活指導の方法, 総合演習, 教育臨床の視点から実践をみる, 教育的関係論演習, 教育的関係論特講, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)教育方法学特論, 教育方法学演習, 児童・生徒指導特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>[著書・共著(筆頭以外)]荒川智、生越達、瀧澤利行、正保晴彦, 教育学 改訂版, メヂカルフレンド社, 69-120, 2010年10月</p> <p>[大学・研究所等紀要・単著] 生越達, リストカットに隠された「同調」への抵抗―「存在の不安」の分析をとおして―, 学ぶと教えるの現象学研究14, 45-54, 2011年</p> <p>[大学・研究所等紀要・単著] 生越達, 金子みすゞのまなざし, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 60, 153-166, 2011年03月</p> <p>[大学・研究所等紀要・単著] 生越達, 『モモ』における時間性:教育における計画再考, 茨城大学教育実践研究, 9, 37-253, 2010年11月</p> <p>[大学・研究所等紀要・単著] 生越達, 寄り添うことと導くこと:『学校』と『ザ・中学教師』のあいだにあるもの, 茨城大学教育実践研究, 9, 23-235, 2010年11月</p>
--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(学外での委員等)

茨城県教育庁 教育判定会議委員[]()

大洗町教育委員会評価委員会委員[大洗町教育委員会](委員)

(兼業・兼職)

[出前授業]水海道第一高等学校 (2007年11月08日～)

[出前授業]中央高等学校 (2007年10月31日～)

[出前授業]牛久栄進高等学校 (2007年10月12日～)

[出前授業]日立第一高等学校 (2007年10月11日～)

[出前授業]福島県立磐城桜ヶ丘高等学校 (2007年07月19日～)

[非常勤講師]看護協会 教育原理 (2007年07月17日～)

[出前授業]銚田第一高等学校 (2007年07月04日～)

[公開講座]実践心理教育相談講座(初級) (2007年05月19日～)

[出前授業]茨城県土浦湖北高等学校 (2006年11月15日～)

[出前授業]茨城県下館第一高等学校 (2006年10月24日～)

[出前授業]茨城県土浦第二高等学校 (2006年08月04日～)

[出前授業]福島県立磐城桜ヶ丘高等学校 (2006年07月11日～)

[出前授業]茨城県総和高等学校 (2006年07月08日～)

[公開講座]実践心理教育相談講座 (2006年05月20日～)

[兼業]NPO 法人すだち理事 (2006年04月～)

[公開講座]実践心理教育相談講座 (2005年09月～)

[その他]水戸市立第五中学校学校評議員 (2004年04月～)

[その他]茨城県カウンセリングアドバイザー (2002年04月～)

[兼業]茨城県スクールカウンセラー (1996年04月～)

(学外教育)

[公開講座]「実践教育臨床講座(初級)」2010

[その他]「附属中学校公開研究会講師」2010

[その他]「附属小学校公開研究会講師」2010

[自治体での社会教育]「県西地区子ども会指導者研修交歓会 講師」2010

[自治体での社会教育]「ひたちなか市道徳推進教師等研修会 講師」2010

[自治体での社会教育]「日立市教育研究所研修会講師」2010

[自治体での社会教育]「特別支援研究推進校研修会講師」2010

[自治体での社会教育]「茨城県高等学校生徒指導中央大会 講演講師」2010

[自治体での社会教育]「水戸市教育会教育課程研究部夏季研修会 講師」2010

[自治体での社会教育]「古河市子ども会育成連合会三和地区会 講演講師」2010
[自治体での社会教育]「ひたちなか市佐野中学校区連絡協議会 講演会講師」2010
[出前授業]「牛久英進高等学校」2010
[出前授業]「下妻第一高等学校」2010
[出前授業]「茨城キリスト教大学附属高等学校」2010
[出前授業]「水城高等学校」2010
[その他]「看護協会実習指導者研修会講師」2010
[自治体での社会教育]「東海村ニート予防対策事業講演会」2010
[自治体での社会教育]「NPO 法人すだち 笠間市 子育て支援研修会」2010
[自治体での社会教育]「坂東市不登校対策協議会」2010
(その他地域協力活動)
大子町(年度不詳～)
東海村(年度不詳～)
いわき市(年度不詳～)
茨城県青少年アドバイザー(年度不詳～)
茨城県カウンセリングアドバイザー(年度不詳～)
NPO 法人すだち(年度不詳～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1949年8月
学歴・職歴	1975年05月 東京教育大学大学院 修士課程 教育学研究科 特殊教育学専攻 中退 東京教育大学助手教育学部(1975年6月～1977年9月) 茨城大学講師教育学部(1977年10月～1985年6月) 茨城大学助教授教育学部(1985年7月～1994年9月) 茨城大学教授教育学部(1994年10月～)
学位	教育学修士[東京教育大学] 博士(医学)[名古屋大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本臨床神経生理学会(旧日本脳波筋電図学会) 日本特殊教育学会 日本生理心理学会 日本生理学会 日本心理学会 日本生体医工学会 日本脳電磁図トポグラフィ研究会 日本小児神経学会 日本障害科学会
専門分野	特別支援教育 神経科学一般 実験系心理学
教育研究概要	<p>教育活動としては、教育学部学校教員養成課程養護学校教育コースならびに特殊教育特別専攻科知的障害教育専攻にかかわる生理学分野専任教員として、「障害児生理学概論」、「障害児の病理」、「障害児生理心理学」、「障害児生理学研究法」を担当している。また、教育学研究科障害児教育専攻における「障害児生理学特論」、「障害児生理学演習」を担当するとともに、理工学研究科博士課程情報・システム科学専攻の「認知行動科学システム論」も担当し、これらのコース・専攻学生・院生の論文指導にあたっている。研究活動としては、脳波、事象関連電位、眼球運動、NIRS、心拍などを用いて感覚・運動・高次脳機能とその障害に関する認知神経科学的研究を展開している。研究の展開にあたっては、関連学部学生、特別専攻科生、院生との連携はもとより、日本学術振興会特別研究員、本学留学生センター教員、筑波大学教員、特殊教育諸学校教員などとも共同を組んで、以下のような研究を進めている。1.</p> <p>(キーワード)発達障害 小児 認知機能 感覚機能 運動機能 脳波 事象関連電位 近赤外線スペクトロスコーピ</p>
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目 (火・5), 主題別ゼミナール (金・2)

	(専門科目)知的障害児の病理, 障害児生理演習 I, 肢体不自由児の生理, 障害児生理学特論 II(障害児生理学), 障害児生理学演習 II, 障害児の病理/知的障害児の病理/障害児の病理, 特別支援教育研究法, 障害児生理学演習 I, 肢体不自由児の生理, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)障害学総合研究
--	---

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

<p>[特別講演・口頭発表] 尾崎久記, 特別講演「教育における脳科学活用」, 第 21 回千葉臨床神経生理研究会, 2010 年 11 月 24 日</p> <p>[研究発表・ポスター] Takamura, H., Ozaki, H. & Mizutani, T., Cerebral activation due to music presentation through headphones with different insulation under an environment of fMRI measurement, 29th International Congress of Clinical Neurophysiology, 2010 年 10 月 28 日</p> <p>[研究発表・ポスター] Shoji, H., Ozaki, H., Evaluation of olfactory sensation in people with profound and/or multiple disabilities revealed by Near Infrared-Spectroscopy (NIRS), 29th International Congress of Clinical Neurophysiology, 2010 年 10 月 28 日</p> <p>[研究発表・ポスター] , , , 2010 年 10 月 28 日</p> <p>[研究発表・ポスター] , , , 2010 年 10 月 28 日</p> <p>[研究発表・口頭発表] 尾崎久記, 「特別支援教育における脳機能計測の活用—脳機能計測・イメージングの教育分野への応用—」, 第 48 回日本生体医工学会, 2010 年 06 月 28 日</p> <p>[研究発表・ポスター] 細川美由紀・米田有希・勝二博亮・尾崎久記, 脳血流変化からみた単語逆唱における言語性ワーキングメモリの検討, 第 40 回日本臨床神経生理学会, 2010 年 11 月 02 日</p> <p>[研究発表・ポスター] 勝二博亮・尾崎久記, 自動車運転シミュレーションゲーム中における脳血流, 第 28 回日本生理心理学会大会, 2010 年 05 月 16 日</p> <p>[研究発表・ポスター] 水谷勉・尾崎久記・小池敏英, Go-Nogo 課題遂行時の前頭前野活動の発達的变化, 第 28 回日本生理心理学会大会, 2010 年 05 月 15 日</p> <p>[研究発表・ポスター] 吉武仁・尾崎久記・勝二博亮, 脳血流からみたジャンケン動作, 第 28 回日本生理心理学会, 2010 年 05 月 15 日</p> <p>[研究発表・ポスター] 高村秀彰・尾崎久記, fMRI 計測環境下における音楽呈示効果の検討, 第 28 回日本生理心理学会大会, 2010 年 05 月 15 日</p> <p>[研究発表・ポスター] 佐藤紀子・勝二博亮・尾崎久記, 脳血流からみた振動刺激付加にともなう嗅覚受容亢進, 第 28 回日本生理心理学会大会, 2010 年 05 月 15 日</p> <p>[研究発表・ポスター] 米田有希・勝二博亮・尾崎久記, 表記形態の違いがワーキングメモリ課題遂行中の脳活動に及ぼす影響, 第 28 回日本生理心理学会大会, 2010 年 05 月 15 日</p>
--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[非常勤講師] 青山学院大学文学部 非常勤講師(2009年09月～)

[兼業] 公益信託 中西和佐子記念視覚・聴覚障害者教育支援基金 運営委員(2009年09月～2011年03月31日)

[非常勤講師] 弘前大学教育学部 非常勤講師(2008年12月～)

(講演・シンポジウム等)

29 th International Congress of Clinical Neurophysiology (国内) International Federation of Clinical Neurophysiology (Kobe) 招待講演, 司会・議長・コンビーナ・コーディネータ 2010年10月 Symposium coordinator & Symposist

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(共同研究実績)

代表研究者: () 「注意欠陥・多動性障害の生理心理学」[国際共同研究/未詳/](年度不詳～)

代表研究者: () 「発達障害児の注意・認知機能の診断、評価とその指導に関する実験的、実践的研究」[国内共同研究/未詳/](年度不詳～)

代表研究者: () 「多角的認知活動計測解析システムの開発」[国内共同研究/未詳/](年度不詳～)

代表研究者: 尾崎久記(茨城大学教育学部) 「特別支援教育における脳科学の活用に関する総合的研究(代表)」[国内共同研究/未詳/](2008年04月～2012年03月)

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1955 年 8 月
学歴・職歴	1985 年 筑波大学大学院 博士課程 歴史・人類学研究科 史学専攻(歴史地理学)
学位	文学博士
受賞歴	なし
所属学会	交通史研究会 人文地理学会 日本国際地図学会 日本地理学会 日本地理教育学会 東京地学協会 歴史地理学会 茨城地理学会
専門分野	人文地理学
教育研究概要	<p>主たる研究は、江戸時代の古地図(主に河川絵図・国絵図)、江戸時代の旅(お伊勢参り)、茨城県内における近世・近代の都市・農村の景観変化(石岡市史・協和町史・八千代町史・猿島町史・境町史などを分担執筆)の研究を行っている。授業は人文地理学の概論と専門、地域へのアプローチや地理学野外実習(フィールドワークの初歩)、茨城の歴史と文化(茨城県通史)、茨城の風土と生活(茨城県地誌)などを担当している。</p> <p>(キーワード)江戸時代の古地図研究,伊勢参り,古道,城下町</p>
担当科目	<p>(教養科目)社会と人間(月・4)/人文地理学【分野別科目】</p> <p>(専門科目)歴史地理学II, 人文地理学II, 茨城の歴史と文化(教科又は教職), 地域へのアプローチ, 基礎地理, 人文地理学演習(4 単位), 地理学研究法, 地理学野外実習 I, 茨城の歴史と文化(情報文化), 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)学術情報リテラシー, 人文地理学演習</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[翻訳・監訳]小野寺淳・大島規江,『世界の地図の歴史図鑑-岩に刻まれた地図からデジタルマップまで』(共監訳), 終風舎, 224, 2010 年 11 月 15 日

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭以外)] 杉本史子・早川泰弘・吉田直人・村岡ゆかり・小野寺淳, 山口県文書館所蔵絵図に使用された色料についての科学的調査, 東京大学史料編纂所研究紀要, 21, 19-30, 2011 年 03 月 28 日

研究業績(2)学会発表など

[研究発表・口頭発表] 小野寺淳, 江戸時代における手書き絵図の特色-朝鮮王朝時代を念頭において-, 科学研究費基盤研究 B「文化財保護制度における世界遺産条約の戦略的受容と運用に関する日

韓比較研究」研究発表会(招待研究発表), 2010年11月14日

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(学外での委員等)

茨城県教育庁文化課歴史の道調査委員[] (委員長)

(兼業・兼職)

[非常勤講師] 東京大学教養学部 非常勤講師(2010年04月01日～2010年08月31日)

[非常勤講師] 大阪大学文学部・文学研究科 非常勤講師(2007年04月01日～)

[非常勤講師] 國學院大學大学院 非常勤講師(2006年04月01日～2011年03月31日)

(講演・シンポジウム等)

川崎市市民ミュージアム講演「江戸時代の絵図の世界-見て, 調べて, 考える-」(国内)川崎市市民ミュージアム(川崎市)招待講演 2010年08月08日講演

(学協会活動・研究会活動)

日本地理学会[代議員](2010年05月30日～)

人文地理学会人文地理学会[協議員](2007年11月17日～)

国絵図研究会[代表](2007年08月01日～)

茨城地理学会[常任委員長](2006年08月01日～)

歴史地理学会歴史地理学会[常任委員](2005年04月01日～)

日本歴史学協会加入の全国学会交通史研究会[常任委員](2001年05月10日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「近世実測図を活用した古地図 GIS 解析法の構築」[科研費]基盤研究(B)一般(分担)(2009年06月01日～2013年03月31日)

「地図史科学の新展開」[科研費]基盤研究(A)一般(分担)(2009年06月01日～2011年03月31日)

理科教育教室	氏名 小野 義隆
--------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1949年10月
学歴・職歴	1978年 パデュウ大学大学院 博士課程 農学研究科 植物学・植物病理学専攻 修了 東京都立豊島高等学校(定時制)教諭(1974年4月～1975年12月) 茨城大学助手(教育学部)(1980年4月～) 茨城大学講師(教育学部)(1985年4月～) 茨城大学助教授(教育学部)(1986年4月～) 茨城大学教授(教育学部)(1999年10月～) 茨城大学教授(教育学部、大学院理工学研究科後期課程兼務)(2000年4月～)
学位	農学博士[パデュウ大学大学院] 農学修士[東京教育大学農学研究科]
受賞歴	なし
所属学会	日本菌学会 アメリカ菌学会 イギリス菌学会 日本植物病理学会 日本生物教育学会 日本進化学会
専門分野	系統・分類 植物保護
教育研究概要	教育:基礎生物学、生物学実験、生物学野外実習、植物学、植物分類学、系統分類学特論(大学院修士課程)、真菌系統分類学(大学院博士後期課程) 研究:植物寄生菌(特にさび病菌)の生態学のおよび系統分類学的研究 (キーワード)植物寄生菌、サビキン、同定、分類、宿主特異性、生活環、多様性、サビキン相、地理的分布、分子系統
担当科目	(専門科目)初等理科内容研究, 基礎生物学, 植物分類学, 植物学演習, 生物学実験, 生物学野外実習 (大学院科目)自然科学総合研究, 理科授業設計, 生物学特論, 生物学特別実験

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

[シンポジウム・口頭発表] Ono, Y., Rust species recognition by life cycle characterization., The 9th International Mycological Congress, 2010年08月05日
--

[研究発表・ポスター] ポタ・シリポーン、小野義隆、柿嶋眞、日本において宿主を異にする *Phakopsora meliosmae* 菌群の分類学的関係、日本菌学会第 53 回大会(玉川大学), 2010 年 05 月 29 日

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[出前授業]茨城県立水戸第二高等学校 講師(2009 年 12 月 02 日～)

[出前授業]茨城県立土浦湖北高校 講師(2008 年 10 月 21 日～)

[兼業]株式会社茨城放送 番組審議委員(2008 年 09 月～2010 年 08 月 31 日)

[出前授業]茨城県立鉾田第一高校 講師(2008 年 07 月 02 日～)

(学協会活動・研究会活動)

国際自然保護連合国際自然保護連合 種保存委員会 サビキン・クロボキン専門委員会(2009 年 11 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1960 年 12 月
学歴・職歴	<p>1997 年 東京芸術大学大学院 博士課程 美術研究科 西洋美術史専攻 単位取得満期退学</p> <p>都留文科大学文学部非常勤講師(1997 年 4 月～1999 年 3 月)</p> <p>東京芸術大学美術学部非常勤講師(1997 年 4 月～2000 年 3 月)</p> <p>大妻女子大学非常勤講師(1997 年 4 月～2000 年 3 月)</p> <p>順天堂大学スポーツ健康科学部非常勤講師(1997 年 10 月～1998 年 3 月)</p> <p>青山学院大学文学部非常勤講師(1998 年 4 月～2000 年 3 月)</p> <p>千葉大学非常勤講師(1999 年 10 月～2002 年 3 月)</p> <p>茨城大学教育学部助教授(2007 年 4 月より職名変更—准教授)(2000 年 4 月～2011 年 3 月)</p> <p>青山学院大学文学部非常勤講師(2001 年 4 月～2009 年 3 月)</p> <p>実践女子大学文学部非常勤講師(2007 年 4 月～2008 年 3 月)</p> <p>放送大学教養学部非常勤講師(2010 年 10 月～2011 年 3 月)</p> <p>茨城大学教育学部教授(2011 年 4 月～)</p>
学位	<p>博士(文学)[千葉大学]</p> <p>芸術学修士[東京芸術大学]</p>
受賞歴	なし
所属学会	中世哲学会 地中海学会 大学美術教育学会 美学会 美術史学会
専門分野	美学・美術史
教育研究概要	<p>イタリア美術史、とくに図像解釈学的研究を主要研究領域とする。これまで 16 世紀後半に活躍した画家フェデリコ・バロッチ、サンティ・ディ・ティート、19 世紀後半に活躍した画家アレッサンドロ・フランキの作品研究を行ってきた。現在、20 世紀前半に活躍したフィレンツェの彫刻家コッラード・ヴィーニの作品研究に取り組んでいる。</p> <p>(キーワード) イタリア、ルネサンス、図像解釈学、バロッチ、サンティ・ディ・ティート、対抗宗教改革、アレッサンドロ・フランキ、プリズモ、コッラード・ヴィーニ、ファシズム</p>
担当科目	<p>(教養科目) 主題別ゼミナール (水・1)</p> <p>(専門科目) 保育内容の研究(表現), 図画工作科内容研究, 西洋美術史 I, 西洋美術史 II, 造形美学/造形理論, 表象文化論, メディア批評プロジェクト I, メディア批評プ</p>

	ロジェクトII, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)美術文化総合研究, 美術教育授業設計, 西洋美術史研究、造形芸術学
--	---

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[著書・共著(筆頭以外)]Midori Sewake, Noriyuki Kai, *Filippo Dobrilla come artista toscano*: in AA. VV., *Filippo Dobrilla -uno scultore fiorentino sul Monte Giovi*, Comune di Pontassieve, 10-11, 2010年12月30日

[大学・研究所等紀要・単著], Noriyuki Kai, *Bozzetti inediti di Corrado Vigni, per Sabaudia e Bolzano*, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), 17, (1)-(26), 2010年11月30日

[大学・研究所等紀要・単訳]甲斐教行, カルロ・デル・ブラーヴォ「ヴォルテッラーノ」翻訳と解題, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), 17, 187-244, 2010年11月30日

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(学外での委員等)

茨城県近代美術館友の会[茨城県近代美術館友の会](海外旅行アドバイザー)

水戸市芸術文化活性化事業実行委員会[水戸芸術館](実行委員)

(兼業・兼職)

[非常勤講師]放送大学学園茨城学習センター 講師(2010年10月01日～2011年03月31日)

(講演・シンポジウム等)

川村記念美術館友の会(国内)川村記念美術館友の会(千葉県佐倉市)基調講演 2011年02月19日 鏡のイコノロジー1

茨城県近代美術館友の会(国内)茨城県近代美術館友の会(茨城県水戸市)招待講演 2010年07月15日 北イタリア美術探訪

川村記念美術館友の会(国内)川村記念美術館友の会(千葉県佐倉市)招待講演 2010年05月08日 ラファエッロ・サンツィオ

川村記念美術館友の会(国内)川村記念美術館友の会(千葉県佐倉市)招待講演 2010年04月10日 レオナルド・ダ・ヴィンチ

(その他地域協力活動)

茨城県近代美術館友の会海外旅行アドバイザー(2010年04月01日～)

水戸市芸術文化活性化事業実行委員会委員(2010年04月01日～2011年03月31日)

海外出張・海外研修・内地研修など

2010年7月25日～9月24日、2010年12月23日～2011年1月6日、フィレンツェ(イタリア)

科学研究費補助金などの受領

教員履歴など

現職	教授
生年月	1964年7月
学歴・職歴	1995年03月 日本大学大学院 博士後期課程 法学研究科 政治学専攻 中退 岩手大学人文社会科学部講師、助教授(1995年4月～2000年3月) 茨城大学教育学部准教授(現在)(2000年4月～)
学位	政治学修士[日本大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本政治学会 日本行政学会 日本地方自治学会 日本地方自治研究学会 日本 オンブズマン学会 日本地域政策学会
専門分野	行政学
教育研究概要	政治学、行政学、地方自治論、環境問題に関する社会科学的アプローチ等 (キーワード)住民参加、政治参加、自治体広報
担当科目	(教養科目)コミュニケーション論(水・1), 社会・国際系科目 (火・5) (専門科目)政治学概論/現代社会の構図, 現代社会と行政, 現代の地方自治, 環 境科学総論, 環境と社会, 公害・環境問題史, 卒業研究(教育:4単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[著書・単著], 『概説地方自治制度－要点と資料』, 丸善プラネット/丸善, 1-108, 2010年09月30日
[著書・編集], 『政治変容のパースペクティブ[第2版]』, ミネルヴァ書房, 231-250, 2010年04月30日

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(学外での委員等)
栃木県野木町情報公開審査会[栃木県野木町](委員)
(兼業・兼職)
[非常勤講師]日本大学法学部 非常勤講師(2005年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

家政教育教室	氏名 数井 みゆき
--------	-----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1961 年 4 月
学歴・職歴	1991 年 メリーランド大学院 博士課程 応用発達心理学専攻 修了 成蹊大学、東京女子大学等 非常勤講師(1992 年 4 月～1994 年 3 月) 日本学術振興会 特別研究員(お茶の水女子大学)(1994 年 4 月～1996 年 3 月) 茨城大学 教育学部 家政教育講座 助教授(1996 年 4 月～2005 年) 茨城大学教育学部家政教育教室 教授(2006 年 4 月～)
学位	心理学博士 (Ph.D. in Psychology)[メリーランド大学(アメリカ合衆国)] 心理学修士 (M.S. in Psychology)[ユタ大学(アメリカ合衆国)]
受賞歴	なし
所属学会	日本発達心理学会 児童発達研究学会(society of Research in child Development) 日本児童青年精神医学会 日本教育心理学会 アメリカ心理学会(American Psychological Association) 日本心理臨床学会 日本保育学会 日本心理学会 日本家族心理学会
専門分野	発達心理学
教育研究概要	<p>本学では、家政教育講座内で保育学を担当している。子どもの発達や子どもの現状、家族関係などについて、保育園などでの実習も含めて、教えている。 専門は領域としては発達心理学で、研究として乳幼児のアタッチメントの発達、さらに、アタッチメントの生涯発達として、養育者側についても分析している。現在は、被虐待児についての、アタッチメント障害とトラウマ反応について研究を行っている。</p> <p>(キーワード)アタッチメント(の世代間連鎖)、養育</p>
担当科目	(専門科目)中等家庭科内容研究, 子ども虐待の予防と防止【教科又は教職】/児童情報文化特論 II/子ども虐待の予防と防止【人間環境】, 初等家庭科内容研究, 保育学, 親子関係学, 保育学演習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)生活科学総合研究, 児童学特論, 児童学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

美術教育教室	氏名 片口 直樹
--------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1978年1月
学歴・職歴	2002年 金沢美術工芸大学大学院 修士課程 美術工芸研究科 絵画専攻 学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊女子高等学校 常勤講師(2003年4月～2006年3月) 学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊女子高等学校 教諭(2006年4月～2009年3月) 学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊短期大学 非常勤講師(2006年4月～2009年3月) 茨城大学教育学部 准教授(現在に至る)(2009年4月～)
学位	修士(芸術/金沢美術工芸大学)
受賞歴	なし
所属学会	大学美術教育学会
専門分野	絵画・油画・映像・インスタレーション・ワークショップ
教育研究概要	<p>絵画に根ざした表現を研究課題とし、今後生まれてくる新たな表現方法を模索する。おもに映像メディア等、近年生活に馴染みのある媒体と絵画表現との関係に着目し、より時代を豊かなものにするために、豊かな心を養う術を研究する。また、これからの教育者はより一層豊かな心を持ち、時代に順応できる人材が必要となる。表現者も教育者も伝えるという意味においては共通するものがあり、元をたどれば学ぶ喜び、作る喜びをいかに伝えることができるかが課題である。以上のような研究概要をもとに絵画の可能性を探る。</p> <p>(キーワード) 絵画・油画・映像・インスタレーション・ワークショップ</p>
担当科目	<p>(教養科目)人間と文学・芸術(金・4)/芸術【分野別科目】</p> <p>(専門科目)デッサン I/造形実技 I, デッサン II/造形実技 II, 図画工作科内容研究, 絵画基礎/平面表現演習 I, 絵画 I/平面表現演習 II, 絵画 II/平面表現演習 III, 絵画表現演習 I, 絵画表現演習 II, 彩画特別演習, 卒業研究(教育:4単位)</p> <p>(大学院科目)美術文化総合研究, 美術教育授業設計, 絵画研究, 絵画演習</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

(展示会)

「Soil」／INFORM gallery／石川

「外には優しい雨の音」／信濃橋画廊／大阪

(その他)

ワークショップ「大きなリリーの木の下で」／学校法人リリー文化学園 リリー幼稚園／茨城

公開制作「片口直樹のアートワーク」／茨城県近代美術館／茨城

ワークショップ「親子でつくる不思議な世界-マグリットの世界を感じて」／茨城県近代美術館／茨城

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

人間環境教育教室	氏名 勝本 真
----------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 9 月
学歴・職歴	1984 年 筑波大学大学院 修士課程 体育研究科 コーチ学専攻 修了 サントリー株式会社嘱託(1982 年 4 月～1984 年 3 月) 活水女子短期大学特別講師(1984 年 4 月～1985 年 3 月) 活水女子短期大学専任講師(1985 年 4 月～1990 年 3 月) 活水女子短期大学助教授(1990 年 4 月～1991 年 3 月) 茨城大学助教授教育学部(1991 年 4 月～2006 年 3 月) 茨城大学教授教育学部(2006 年 4 月～)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本体育学会 日本スポーツ方法学会 日本バレーボール学会 日本教育工学会 日本バイオメカニクス学会
専門分野	身体教育学 教育工学 バイオメカニクス
教育研究概要	<p>研究は、1)バレーボールの技術指導に関する研究、2)バレーボールのゲーム分析に関する研究、3)小中学校におけるバレーボール教材としての教科教育的研究の三つに大別することができる。1)は、画像分析を用いてオーバーハンドパスやスパイク動作の分析し、バレーボールの基本技術を解明してきた。その情報をもとにして斬新な連続的イラストを用いた指導書を作成している。指導書は、様々なレベルに合わせて作成しており、中学校授業向けの本では技術レベルに合わせた練習課題を紹介している。2)は、DLT法画像分析によりフォーメーションの分析を行い、競技レベルによる違いを明らかにした。チームの得点力を構成する要因を解明し、ゲーム分析項目の決定に貴重な資料を提供し、その要因をもとにして BASIC 言語を用いてゲーム分析ソフトを開発している。3)は、中学校バレーボール技術指導のための学校体育実技指導者講習会の講師を務め、その経験をもとに、中学校のバレーボールにワンバウンドでの 3 人制ルールを導入した授業研究や 3 人制から正規ルールへの移行をスムーズに行うための教材研究を行っている。近年、小学校にソフトバレーボールが導入され、バレーボール教材の再検討が求められており、中学年の「基本の運動」にバレーボールの動きを入れた教材を開発して実践している。</p> <p>(キーワード)バレーボール 体育科教育</p>

担当科目	<p>(教養科目)身体活動 (金・1), 身体活動 (水・1), 身体活動 (水・2), スポーツ実技(月・5)</p> <p>(専門科目)スポーツ指導法 VI/ボールゲーム II/ボールゲーム II/スポーツ指導法 VI/ボールゲーム II(健康), 運動学概論, コーチング論 II, ボールゲーム方法論 II/ボールゲーム方法論 II(健康), 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)体育科学総合研究, 保健体育授業設計, スポーツ指導論特講, スポーツ指導論演習</p>
------	--

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[著書・共著(筆頭以外)]細江文利, 阿部征次, 池田延行, 勝亦紘一, 勝本真, 他 21 名, 図説 新中学校体育実技, 大日本図書, 2011 年 03 月 31 日

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(学協会活動・研究会活動)

スポーツ方法学会(1988 年 10 月 01 日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教室	氏名 加藤 崇英
--------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1970 年 11 月
学歴・職歴	(データなし) 山形大学教育学部講師(2002 年～) 山形大学地域教育文化学部助教授(2005 年～) 国立教育政策研究所 研究員(2006 年～) 国立教育政策研究所 主任研究官(2007 年～) 茨城大学教育学部准教授(2009 年～)
学位	修士(教育学)
受賞歴	なし
所属学会	日本教育経営学会 日本教育行政学会
専門分野	教育学 学校経営 教育行政
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間・文化系科目 (金・3), 主題別ゼミナール (火・3) (専門科目)教育の制度と経営, 教育の制度と経営, 総合演習, 教育行政特講, 教育行政演習 (大学院科目)学校経営論特論, 学校経営演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(共同研究実績)

代表研究者: 福本みちよ(玉川大・教育学部・准教授)「学校評価システムの展開に関する実証的研究(分担)」[国内共同研究/未詳/](2007年04月～)

人間環境教育教室	氏名 加藤 敏弘
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1961年6月
学歴・職歴	1986年 筑波大学大学院 修士課程 体育研究科 コーチ学専攻 修了 国立高岡短期大学助手(1986年4月～1990年3月) 茨城大学講師教育学部(保健体育講座)(1990年4月～1994年3月) 茨城大学助教授教育学部(保健体育講座)(1994年4月～1996年3月) 茨城大学助教授教育学部(知識経営講座)(1996年4月～2004年3月) 国立大学法人茨城大学助教授教育学部(2004年4月～)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本体育学会 日本体育・スポーツ哲学会 日本スポーツ教育学会 日本養生学会 人体科学会
専門分野	コーチ学(バスケットボール) 技能普及教育論 体育原理
教育研究概要	ナレッジマネジメント(知識経営)としてのコーチングについて、教育活動を通して研究中。特に個人が身につけている技術(=技能)を他者に伝えるためのノウハウを観察し、その体系化を試みている。そのために、まず人間の活動を正しく理解し、集団(チーム)における役割分担やコミュニケーション手段について実践研究中。技能を普及し伝達するという行為は、スポーツ場面に限らず、社会全般で求められる能力であり、暗黙知(身体知)の観点からアプローチしている。学校という枠組みにとらわれてきた教授法を越え、社会におけるさまざまな場面へのコーチングの可能性について考察しており、チームづくりと組織づくりの有機的連携についても研究中。フィールドとしてバスケットボールコーチング、体育授業を中心に据えているが、地域力の向上やFD(ファカルティ・ディベロップメント)、そしてビジネス場面への応用も試みている。 (キーワード)コーチング バスケットボール 知識経営 暗黙知 身体知 ボディワーク チームワーク 技能伝達 コミュニケーション 体育原理
担当科目	(教養科目)身体活動(金・3), 身体活動(水・2)/スポーツ特別演習I, 身体・行動系科目(集中), 主題別ゼミナール(水・1) (専門科目)技能伝達法(教職共通)/技能伝達法[人環用教職], スポーツ指導法/バスケットボール/バスケットボール/バスケットボール, コミュニケーション演習【全教科】

/コミュニケーション演習(人間・共通), ボールゲーム方法論 I/ボールゲーム方法論 I (健康), チームワーク&コーチング論, 総合演習/知識経営特別演習 II, 知識経営特別演習 I, 総合演習/スポーツ特別演習 II, スポーツ実習 I, 卒業研究(教育:4 単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[著書・共著(筆頭)]五十嵐淳子、他 24 名, ステップアップ中学体育, 大修館書店, 110-131, 2010 年

研究業績(2)学会発表など

[研究発表・口頭発表] 加藤敏弘(茨城大学), 技能におけるカンとコツの絡み合いーアフォーダンスの視点からー, 日本体育・スポーツ哲学会第32回大会, 2010 年 08 月 22 日

[研究発表・口頭発表] 加藤敏弘, 運動指導場面で「身になる」ということ, 平成 22 年度体育哲学専門分科会夏期合宿研究会, 2010 年 07 月 18 日

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[非常勤講師]筑波大学・体育センター 非常勤講師(2006 年 04 月 01 日～2011 年 03 月 31 日)

[非常勤講師]茨城キリスト教大学・文学部 非常勤講師(2006 年 04 月 01 日～2011 年 03 月 31 日)
(講演・シンポジウム等)

第2回大学体育指導者養成研修会(国内)社)全国大学体育連合(明治大学和泉キャンパス)基調講演
2011 年 03 月 13 日「バスケットボール」※東日本大震災のため中止(資料提供)

平成 22 年度全国バスケットボールコーチクリニック(北信越会場)(国内)日本バスケットボール協会(新潟市体育館)司会・議長・コンビーナ・コーディネータ,企画・運営 2011 年 03 月 06 日企画・運営・司会

平成 22 年度社会体育指導者研修会兼水戸市スポーツ指導員研修会水戸市教育委員会(堀原運動公園会議室)基調講演 2011 年 02 月 26 日「モチベーションアップのための運動指導のコツ」講師

平成 22 年度全国バスケットボールコーチクリニック(四国会場)(国内)日本バスケットボール協会(愛媛県ツインドーム重信)司会・議長・コンビーナ・コーディネータ,企画・運営 2011 年 01 月 29 日企画・運営・司会

平成 22 年度茨城県JBA公認コーチ養成講習会(国内)日本バスケットボール協会 茨城県バスケットボール協会(茨城県水戸市)基調講演,企画・運営 2010 年 12 月講習会の企画・運営・講師

第 49 回全国学校体育研究大会福岡大会(国内)文部科学省、(財)日本学校体育研究連合会、福岡県教育委員会(福岡市立高宮中学校)司会・議長・コンビーナ・コーディネータ 2010 年 11 月 19 日第 8 分科会「体育的学力の確かな定着を目指した「わかってできる」体育授業ー知識と技能を関連させた学習を通してー」指導助言者

平成 22 年度茨城県JBA公認コーチリフレッシュ研修会(国内)茨城県バスケットボール協会(茨城県水

戸市)司会・議長・コンビーナ・コーディネータ,企画・運営 2010年10月31日研修会の企画・運営・司会
平成22年度茨城県スポーツ指導者研修会(中央研修)(財)日本体育協会、(財)茨城県体育協会、茨城県
県スポーツ指導者協議会(茨城県立青少年会館)基調講演 2010年08月08日「指導者に必要なコミュニ
ケーションスキル」講師

平成22年度生涯スポーツ指導員養成講習会兼スポーツリーダーバンク登録者講習会(国内)茨城県
教育委員会(茨城県教育研修センター)基調講演 2010年07月17日「生涯スポーツ指導員の任務と役
割」講師

(学協会活動・研究会活動)

(財)日本バスケットボール協会指導者育成委員会[WG委員長](2005年04月01日～2011年03月
31日)

全日本大学バスケットボール連盟報道記録部[部長](2006年04月01日～2011年03月31日)

茨城県バスケットボール協会指導者育成委員会[委員長](2002年04月01日～2011年03月31日)

関東大学女子バスケットボール連盟広報部[部長](2007年04月01日～2011年03月31日)

日本体育学会日本体育学会論文審査員(2009年06月～)

(財)日本バスケットボール協会エンデバー委員会[委員](2009年04月01日～2011年03月31日)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(共同研究実績)

代表研究者:加藤敏弘(教育学部・准教授)「「ボディメンテナンス」スタイルの健康づくりシステムの開発
(代表)」「企業からの受託研究/20万円/」(2009年～)

代表研究者:加藤敏弘(教育学部・准教授)「介護予防施設における準備運動プログラムの開発(代
表)」「企業からの受託研究/未詳/」(2008年～)

代表研究者:加藤敏弘(教育学部・准教授)「介護者負担軽減のための運動プログラムの開発(代表)」
「企業からの受託研究/未詳/」(2008年～)

美術教育教室	氏名 金子 一夫
--------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1950年12月
学歴・職歴	1975年 東京芸術大学大学院 修士課程 美術研究科 美術教育学専攻 修了 東京芸術大学美術学部非常勤講師(1976年4月～1978年3月) 茨城大学教育学部講師(1978年4月～1985年6月) 茨城大学教育学部助教授(1985年7月～1987年7月) 茨城大学大学院教育学研究科助教授(1987年8月～1996年9月) 茨城大学大学院教育学研究科教授(1996年10月～) 茨城大学教育学部附属中学校長併任(2008年4月～)
学位	博士(美術)[東京芸術大学] 芸術学修士[東京芸術大学]
受賞歴	なし
所属学会	明治美術学会 美術科教育学会 大学美術教育学会 美術史学会 美学会 日本美術教育連合 日本美術教育学会
専門分野	美術教育学 近代日本美術史
教育研究概要	様々な研究を発展させるような、近代日本の美術教育に関する基礎調査をする。 (キーワード)美術教育 美術科教育 美術教育史
担当科目	(専門科目)美術科教育特別演習AI, 美術科教育特別演習AII, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)美術文化総合研究, 美術教育授業設計, 美術教育研究I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[学術誌論文・単著] 金子一夫, フェノロサと岡倉覚三の絵画指導方法論の違いについて—表現主題形成の指導方法論を中心に—, Lotus(日本フェノロサ学会機関誌), 31, 29-41, 2011年03月31日

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(学協会活動・研究会活動)

--

美術科教育学会美術科教育学会美術教育史研究部会[責任者](2000年04月01日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

学校臨床心理専攻	氏名 金丸 隆太
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1973 年 2 月
学歴・職歴	1999 年 早稲田大学大学院 修士課程 文学研究科 心理学専攻 修了 東京都東久留米市教育センター滝山相談室 相談員(1997 年 4 月～2003 年 3 月) 財団法人博慈会高等看護学院 非常勤講師(1998 年 4 月～2003 年 3 月) 学校法人山野学苑山野美容専門学校 非常勤講師(1999 年 4 月～2002 年 3 月) 学校法人日本医科大学千葉看護専門学校 非常勤講師(1999 年 4 月～2003 年 3 月) 茨城大学大学院教育学研究科 専任講師(2003 年 2 月～) 茨城県スクールカウンセラー(2004 年 4 月～)
学位	修士(心理学)
受賞歴	なし
所属学会	日本交流分析学会 The International Transactional Analysis Association 日本心理臨床学会 日本心理学会 日本遊戯療法学会 日本精神衛生学会 日本教育心理学会 日本質的心理学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	教育相談における様々な臨床心理学理論の実践(主として Transactional Analysis (交流分析)および投射描画法テストバッテリー) (キーワード)交流分析(TA), 親子の臨床心理学的問題, 投影描画法テストバッテリー, 児童虐待, 発達障害
担当科目	(教養科目)人間と心(木・3)/心理学【分野別科目】 (大学院科目)臨床心理査定演習 I, 臨床心理査定演習 II, 臨床心理基礎実習 I, 臨床心理基礎実習 II, 臨床心理研究法演習, 人格心理学特論, 思春期臨床心理学特論, 臨床心理学講読演習, 精神薬理学特論, 臨床心理実習 I, 臨床心理実習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>[国際会議論文・共著(筆頭以外)] Yuriko TAKATA, Yumiko SAKATA, Ryuta KANEMARU, Effects of revised life analytic counseling on psychosomatic complaints and self-esteem in Japanese junior high school students., International Journal of Behavioral Medicine, 17, 1, 39, 2010 年 08 月 1 日</p> <p>[国際会議論文・共著(筆頭以外)] Yumiko SAKATA, Ryuta KANEMARU, Yuriko TAKATA, Akemi MASUDA, Predictors of psychosomatic complaints for Japanese students of high school with</p>
--

correspondence courses., International Journal of Behavioral Medicine, 17, 1, 38, 2010年08月1日

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[兼業]茨城県教育委員会 スクールカウンセラー(2004年04月01日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

国語教育教室

氏名 川嶋 秀之

教員履歴など

現職	教授
生年月	1955年11月
学歴・職歴	1987年 東京都立大学大学院 博士課程 人文科学研究科 国語学専攻
学位	修士(文学)[東京都立大学]
受賞歴	なし
所属学会	古事記学会 国語学会 日本方言研究会
専門分野	国語史
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間とコミュニケーション(金・4)/言語学【分野別科目】 (専門科目)保育内容の研究(言葉), 郷土の言葉, 言語と文化の諸相, 国語学概論, 国語表現法, 国語学演習 I, 国語学演習 II, 国語教育実践研究, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)言語文化総合研究, 国語教育授業設計, 古典語特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

音楽教育教室

氏名 神部 智

教員履歴など

現職	教授
生年月	1963年5月
学歴・職歴	2005年 ヘルシンキ大学大学院 博士課程 音楽研究科 音楽学専攻 修了
学位	修士[横浜国立大学] 博士(音楽学)(Ph.D. in Musicology)[ヘルシンキ大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本シベリウス協会 日本音楽学会 美学会 音楽表現学会 International Semiotics Institute
専門分野	音楽学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と文学・芸術(金・4)/芸術【分野別科目】、主題別ゼミナール(月・5) (専門科目)初等音楽科内容研究, ピアノ(必修・伴奏を含む), ピアノ, ピアノ, ピアノ, 音楽史, 音楽学I (大学院科目)音楽文化総合研究, 音楽教育授業設計, 音楽学研究, 音楽学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[著書・単著], これからの学習評価と新指導要録 各教科等におけるこれからの学習評価: 中学校 音楽科, 第一法規, 52-53, 2010年07月15日

[総説・解説・報告等・単著], シベリウス交響詩<フィンランディア>作品26、<アンダンテ・フェスティヴォ>JS34b, ミニチュア・スコア(音楽之友社), , 2010年10月27日

[総説・解説・報告等・単著], シベリウス<ヴァイオリン協奏曲>作品47, NHK交響楽団第1679定期公演, , 2010年09月10日

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[出前授業]茨城県立水戸第二高等学校 講師(2007年07月19日～)

[非常勤講師]宇都宮大学 非常勤講師(2006年10月06日～)

[出前授業]常陸大田高校 講師(2003年07月26日～)

[その他]日本シベリウス協会 理事(2000年12月01日～)

(学協会活動・研究会活動)

日本教育大学協会全国音楽部門モデル・コア・カリキュラム検討プロジェクト[委員](2006年07月01日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

学校臨床心理専攻	氏名 岸 良範
----------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1951 年 8 月
学歴・職歴	(データなし)
学位	文学修士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本児童心理・青年精神医学学会 日本学生相談学会 日本心理臨床学会 日本箱庭療法学会 日本精神分析学会
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と心(木・3)/心理学【分野別科目】 (大学院科目)臨床心理学特論 II, カウンセリング特論, 臨床心理査定演習 II, 臨床心理基礎実習 I, 臨床心理基礎実習 II, 臨床心理実習 I, 臨床心理実習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>[著書・共著(筆頭以外)]森谷寛之、赤塚大樹、岸良範他 7 名, 医療・看護系のための心理学一改訂版, 培風館, 第 2 章知覚の世界(23-46), 第 6 章 4, 5, 6 節, 2010 年 12 月 08 日</p> <p>[総説・解説・報告等・単著] 岸良範, 書評・学校現場に生かす精神分析 平井正三監訳, 精神療法, 6, , 270-271, 2010 年 04 月 05 日</p>
--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

英語教育教室	氏名 君塚 淳一
--------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1959年6月
学歴・職歴	(データなし) 中国短期大学英語英文科専任講師(1993年4月～1997年3月) 中国短期大学英語英文科助教授(1997年4月～1999年9月) 茨城大学教育学部助教授(1999年10月～2006年3月) 茨城大学教育学部教授(2006年4月～)
学位	文学修士
受賞歴	なし
所属学会	アメリカ学会 アメリカ文学会 多民族研究学会 日本マラマッド協会 英文学会 英米文化学会 黒人研究の会
専門分野	アメリカ文学
教育研究概要	ユダヤ系作家では、現代ユダヤ系小説家 Bernard Malamud や Paul Auster などを中心に、19世紀末から20世紀初頭の移民文学としての Abraham Cahan, Michael Gold などを同化の問題やユダヤ人としてのアイデンティティの問題、また二次大戦後はホロコーストの問題などを作家がどう扱い描いているのかをテーマに研究している。一方、アフリカ系作家では WASP が中心とされる白人アメリカでいかに人種問題と向き合うかを Richard Wright の作品を通して、また黒人で女性という立場、アフリカをどうアメリカ黒人が自身の中で認識するかを Alice Walker の作品を通して研究している。1920年代ではハリウッド映画産業の勃興とユダヤ系社会の関係、ハーレムルネッサンスのアフリカ系アメリカ人に対し、黒人民族主義と分離主義を標榜したマーカス・ガーヴェイを比較し研究している。1960年代論は、対抗文化の中で起きた様々な若者文化を比較研究、人種問題からニューシネマ、ロック、など幅広く文化論を展開している。また映画では文学と同様な研究方法を用いての映画分析を研究し、論文、著書のほか映画評なども執筆している。
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)総合英語(学術), 人間・文化系科目 (火・5), 表現・言語系科目 (集中) (専門科目)総合演習, 言語と文化の諸相, 英米文学概論II, 英米文学特講III, 英米文学演習III, 英米文学演習IV, 英米文学・文化から読む英語テキスト, 卒業研究(教

	育:4 単位) (大学院科目)言語と文化総合研究, 英語科授業設計, 英米文学特論 I(アメリカ研究), 英米文学演習 I
--	--

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[著書・共著(筆頭以外)]松本昇ほか編,『バード・イメージ:鳥のアメリカ文学』,金星堂書店,2010年04月30日

[大学・研究所等紀要・単著]君塚淳一, Tim Burton とアメリカン・ゴシックの伝統—『シザーハンズ』を中心に, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学・芸術)60号, 60, 77-83, 2011年

[学術誌論文・単著]君塚淳一, 書評 歴史と多様性:『グローバリゼーションとアメリカ・アジア太平洋地域』,『多民族研究』第4号, 4号, 152-154, 2011年03月31日

[学術誌論文・]君塚淳一, 『英米文化』第41号, , 41, 103-105, 2011年03月31日

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭)]君塚淳一、西尾直美、田中智子, 小学校英語における課題を考える—フォニックスの効用と課題(1), 茨城大学教育実践研究 29, 9号, 137-147, 2010年

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[非常勤講師]青山学院女子短期大学 非常勤講師(1995年04月01日～)

(その他地域協力活動)

茨城県立取手第一高校(連携協定あり)大学模擬授業を「ハリウッド映画から見るアメリカ」と題して行った。(2009年06月24日～)

茨城県立水戸桜の牧高校(連携協定あり)大学模擬授業として「ハリウッド映画から見えるアメリカーその歴史と映画の観かた」と題して講義を行う。(2007年11月28日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

社会科教育教室

氏名 木村 勝彦

教員履歴など

現職	教授
生年月	1961年1月
学歴・職歴	1991年 筑波大学大学院 博士課程 教育学研究科 学校教育学専攻
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	全国社会科教育学会 日本公民教育学会 日本教育学会 日本教育方法学会 日本社会科教育学会
専門分野	教育学(社会科教育)
教育研究概要	社会科教育に関する教育史的研究(明治以降、昭和前期)、特に社会科成立の視点から戦前の公民教育を中心に検討する。初期社会科の研究、特に戦前の社会科的教育を踏まえて、初期の社会科教育事情を検討する。社会科授業論に関する研究 (キーワード)公民教育、社会科教育史、社会科授業論
担当科目	(教養科目)社会・国際系科目(火・5) (専門科目)総合演習, 初等社会科教育法研究, 初等社会科教育法研究, 初等社会科教育法研究, 社会科教育法特講I, 社会科教育法演習I, 公民科教育法研究I, 現代教育の実践的課題, 社会科教育学入門 (大学院科目)学校教育基礎論, 社会・文化総合研究, 社会科授業設計, 社会科教育特論I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[非常勤講師]白鷗大学法学部 講師(2005年04月01日～)

[その他]茨城県教育研修センター 講師(2004年07月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

人間環境教育教室	氏名 木村 競
----------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1956年4月
学歴・職歴	1988年 東京大学大学院 博士課程 人文科学研究科 哲学専攻 単位取得満期退学 茨城大学 教育学部 助教授(1992年4月～2003年3月) 茨城大学 教育学部 教授(2003年4月～)
学位	文学修士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本倫理学会 日本哲学会 哲学会 日本カント協会 現代風俗研究会
専門分野	哲学・倫理学
教育研究概要	<p><教育活動> 大学院:教育学研究科・教科教育専攻・社会科教育専修において哲学・倫理学分野を担当。学部:教育学部・人間環境教育課程において課程共通科目・卒業研究指導を担当。学校教育教員養成課程・社会選修において哲学・倫理学分野・卒業研究指導を担当。</p> <p><研究活動> 近代ヨーロッパを中心とする哲学・倫理思想史研究および行為と文化の理論についての倫理学的研究を土台として、教員養成における倫理学的思考の役割および大学法人化のモラルについて論じるとともに、サステナビリティ学について学内研究者との共同研究を行っている。</p> <p>(キーワード) コンテキスト、変化、サステナビリティ, 教員養成</p>
担当科目	<p>(教養科目) 環境・政策系科目 (集中), 人間・文化系科目 (「つながりの力」)</p> <p>(専門科目) 社会と思想, プロジェクト・マネジメントA, 倫理学概論, 倫理学特別演習, 知識経営特別演習, 卒業研究(教育:4単位)</p> <p>(大学院科目) 学校教育基礎論, 人間システム基礎論 II, 倫理学特論, 倫理学演習</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

学校教育と倫理－教員養成における倫理学的役割－ その4 ナショナリズムを「発見」する(ii), 木村競, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 60, 267-272, , 2011/03

「地域コンフリクトの緩和」の新たな理解の開始, 木村競, 蓮井誠一郎, 伊藤哲司, 京楽真帆子, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術), , 60, 111-118, , 2011/03

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[兼業]茨城県教育庁 茨城県生涯学習審議会委員および茨城県社会教育委員(2008年08月～)

[兼業]鹿嶋市教育委員会 鹿嶋市教育基本計画策定委員会委員長(2008年07月24日～2010年07月23日)

[非常勤講師]水戸市医師会看護専門学院 非常勤講師(2001年04月01日～)

[非常勤講師]鯉淵学園農業栄養専門学校 非常勤講師(2000年10月01日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

家政教育教室

氏名 木村 美智子

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1958年3月
学歴・職歴	1989年03月 お茶の水女子大学大学院 博士課程 人間文化研究科 人間環境学専攻 修了 お茶の水女子大学家政学部被服学科・文部技官(1983年4月～1984年3月) 放送大学・非常勤講師(1987年8月～1988年3月) 桜の聖母短期大学・非常勤講師(1988年4月～1989年3月) 桜の聖母短期大学・講師(1989年4月～1993年3月) 太田看護専門学校・非常勤講師(1990年4月～) 桜の聖母短期大学・助教授(1993年4月～1999年3月) お茶の水女子大学生生活科学部・非常勤講師(1995年10月～1999年3月) 東北文化学園大学科学技術学部・講師(1999年4月～2004年3月) 東北文化学園大学・助教授(2004年4月～2009年3月) 茨城大学教育学部・准教授(2009年4月～) お茶の水女子大学生生活科学部・非常勤講師(2010年10月～)
学位	学術博士[お茶の水女子大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本家庭科教育学会 日本家政学会 日本油化学会 日本環境共生学会 日本環境教育学会 日本生活学会 日本繊維製品消費科学会 繊維学会
専門分野	生活科学一般 科学教育 環境影響評価・環境政策
教育研究概要	(キーワード)環境教育, 生活環境学, 洗浄科学
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目 (火・5), 主題別ゼミナール (火・3) (専門科目)初等家庭科内容研究, 初等家庭科内容研究, 被服科学入門, 衣生活論, 被服環境学, アパレル科学, 被服学演習, 被服構成学基礎, 被服構成学応用, 卒業研究(教育:4単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[著書・共著(筆頭以外)]山本佳世子, 香川雄一, 伊藤達也, 作野広和, 松山薫, 井関崇博, 奈良朋彦, 木本浩一, 木村美智子, 身近な地域の環境学, , 153-172, 2010年06月10日

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭)] 木村美智子, 宮加奈子, 緑茶抽出物で処理した布の消臭特性に

について, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), **60**, 113-118, 2011年03月

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭)] 木村美智子・君塚久美, 草木染め体験プログラムを活用した環境学習教材の開発, 茨城大学教育実践研究, **29**, 91-99, 2010年11月

研究業績(2)学会発表など

[研究発表・口頭発表] 木村美智子, 若者のファッション意識に関する研究, 第12回日本感性工学会大会, 2010年09月

[研究発表・口頭発表] 木谷忍, 木村美智子, 子どもの遊びの多様性の喪失～遊ぶ環境と遊びの種類にに着目して～, 日本環境共生学会2010年度学術大会, 2010年09月

[研究発表・口頭発表] 木村美智子, 地域の自然素材を生かした染色教材の開発, 日本家庭科教育学会第53回大会, 2010年07月

[研究発表・口頭発表] 木村美智子, 木谷忍, 子どもを取り巻く環境が子どもの遊びに与える影響について, 日本環境教育学会第21回大会, 2010年05月

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(その他地域協力活動)

財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク評議員を務めた(2001年07月～2011年05月)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者DBにデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

保健体育教室	氏名 日下 裕弘
--------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1953年2月
学歴・職歴	1984年 筑波大学大学院 博士課程 体育科学研究科 体育科学専攻 仙台大学体育学部助教授(1985～1991) 茨城大学教養部助教授・教授(1991～1996) 茨城大学教育学部教授(現在まで)(1996年4月～)
学位	教育学博士 教育学修士 体育学修士
受賞歴	なし
所属学会	International Committee for Sociology of Sport 人体科学会 日本スポーツ史学会 日本スポーツ社会学会 日本体育学会 日本民族学会 日本温泉協会 日本社会学会
専門分野	体育学 社会学 文化人類学
教育研究概要	教育学博士論文:「成立期におけるわが国のスポーツ精度に関する研究」(筑波大学)1984 「日本スポーツ文化の源流」(不昧堂出版)1996 <著書> 分担執筆「スポーツ規範の社会学」(不昧堂出版)1980 分担執筆「スポーツ技術の社会学」(不昧堂出版)1984 分担執筆「現代スポーツ指導者論:その社会的な見方・考え方」(ぎょうせい出版)1988 分担執筆「スポーツ社会学への招待」(不昧堂出版)1990 分担執筆「スポーツ社会学ノート」(中央法規出版)1994 「日本の自然遊:湯浴の聖と俗」(近代文藝社)1995 編・分担執筆「身体活動の科学」(大修館書店)1995 分担執筆「生涯学習講座:今を生きる人間学」(分眞堂)1997 編・分担執筆「健康スポーツの科学」(大修館書店)1999 編・分担執筆「生涯スポーツの理論と実際」(大修館書店)2001 分担執筆「総合的な学習での野外校外体験事例:野外遊びと子どもの”からだ・こころ”」 (日本教育科学研究所)2002 分担執筆「温泉医学:湯治再発見」(日本温泉協会ほか)2002 分担執筆「フロー理論の展開:自然体験活動におけるフローと身体アイデンティティ」 (世界思想社)2003 分担執筆“The emergence and development of Japanese school sport”, in “JAPAN SPORT AND SOCIETY:Tradition and Change in a Globalizing World”(Routledge)2006 <翻訳書> 分担翻訳「国際スポーツ社会学評論」(日本体育学会 体育社会学専門分科会)1977 分担翻訳「スポーツ文化・社会」(ベースボールマガジン社)1988 分担翻訳「スポーツと社会理論」(不昧堂出版)1991 <

	<p>主要論文> 「明治期における武士的・武士道の野球信条に関する文化社会学的研究」 (体育・スポーツ社会学研究)1985 “The Development of Basaball Organizations in Japan” (International Review for the Sociology of Sport)1987 「一般成人のスポーツ観に 関する研究」(体育・スポーツ社会学研究)1988 「スポーツ制度論に関する成果と課題」(体育・スポーツ社会学研究)1991 「体育教育における生涯体育論の再検討:E. H. エリクソンのアイデンティティ論のパーспекティブから」(教育学論説資料)1991 「日本の自然遊:湯浴文化の隠れた形」(スポーツ社会学研究)1995 「湯治の身体論的意義」(人体科学)1998 「高齢者の生きがいと自然遊に関する研究:ハイキング・登山実践者の事例から」 (スポーツ社会学研究)1999 「高齢者の温泉浴に関する研究:湯浅の身体論に準拠して」(体育学研究)1999 「糖尿病の克服に関する事例研究」(人体科学)2000 「中国におけるレジャー研究の分析枠組み」(中国関係論説資料)2000 「自然遊びにおける子どもの笑顔とその<身体>」(体育学研究)2003 「スポーツ身体論序説:ひとつの社会学的分析枠組みの提示」(スポーツ社会学研究)2004 「遊戯世界における子どもの身体:光るどろだんごづくりを事例に」(人体科学会)2004 「スポーツ身体論序説」(日本スポーツ社会学会)2004 <文部科学省科学研究費</p> <p>(キーワード)子どもの遊び、スポーツの歴史社会学、生涯スポーツ、高齢者の健康、温泉 体育学、教育学、社会学、哲学、民俗学</p>
担当科目	<p>(教養科目)身体活動 (月・2), 身体活動 (月・3), 身体活動 (水・2) (専門科目)初等保健体育科教育法研究[後期], 生涯スポーツの実現, 体育スポーツ社会学, 卒業研究(教育:4 単位)</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[著書・共著(筆頭)] 日下裕弘ほか, 改訂版)生涯スポーツの理論と実際, 大修館書店, Pp.252, 2010年

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(学外での委員等)

県南生涯学習センター 運営委員会副委員長[茨城県生涯学習課](副委員長)

常磐小学校 学校評議員[水戸市教育委員会]()

「山中友子隊体験村」アドバイザー[日立市教育委員会青少年課](委員長・アドバイザー)

水戸市スポーツ振興審議会委員長[水戸市](委員長)

(その他地域協力活動)

茨城県生涯学習センターなど生涯スポーツ、温泉と健康(年度不詳～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

数学教育教室

氏名 工藤 研二

教員履歴など

現職	講師
生年月	1949年12月
学歴・職歴	(データなし)
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)コミュニケーション論(水・2) (専門科目)総合演習, 算数科内容研究, 代数学C, 代数学D, 幾何学A, 幾何学B, 卒業研究(教育:4単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者DBにデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

人間環境教育教室	氏名 郡司 晴元
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1968年4月
学歴・職歴	1998年07月 京都大学大学院 博士後期課程 理学研究科 専攻 単位取得満期退学 財団法人日本モンキーセンター リサーチフェロー(1998年8月～2003年3月) 茨城大学教育学部 助教授(2004年4月～2007年3月) 茨城大学教育学部 准教授(2007年4月～)
学位	博士(理学)[京都大学]
受賞歴	なし
所属学会	子どもと自然学会 日本人類学会 日本理科教育学会 日本環境教育学会 日本霊長類学会
専門分野	人類学 環境教育
教育研究概要	1. 自然体験学習を中心とした環境教育・ESDについて実践も交えて教育・研究しています。2. 動物園・博物館・科学館などとの連携による効果的な教育について実践も交えて教育・研究しています。3. 霊長類の骨形態・骨塩量の加齢変化について研究しています。 (キーワード)学社連携 自然体験学習
担当科目	(教養科目)環境・政策系科目 (火・5), 環境・政策系科目 (集中) (専門科目)環境教育論【全教科】/環境教育論, 情報化社会の諸問題, 知識解析論, 環境科学総論, 環境教育演習, 生活の中の環境問題 (大学院科目)サステナビリティ学教育特論II, 自然科学総合研究, 理科授業設計, 理科教育学特論I(初等理科教育論), 理科教育学演習I, 理科教育学演習II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>[著書・共著(筆頭以外)]郡司晴元, 執筆部分タイトル:「大学生のネイチャーゲーム体験—生活科教育法—」、書名:『子どもと自然大事典』(子どもと自然学会大事典編集委員会編), 株式会社ルック, 担当頁 331-333, 2011年02月15日</p> <p>[著書・共著(筆頭以外)]池内了編著、第9著者(五十音順)、他14名, 「ふしぎ」を科学しよう 命はどのようにして生まれたの?, 株式会社かもがわ出版, 担当頁 58-61, 2010年12月15日</p> <p>[著書・共著(筆頭以外)]ICAS 編集、第14著者(五十音順)、他46名, 『茨城大学発・持続可能な未来へ』, 茨城新聞社, 担当頁 211-212, 2010年10月10日</p>

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(学外教育) [出前授業]「OBによる職業講話」茨城県立鉾田第一高等学校(茨城県鉾田市)2010年10月02日 (講演・シンポジウム等) 大学院教育を再考する～フィールド演習の実践から見る教育の理念～茨城大学地球変動適応科学研究機関、環境省「アジア環境人材育成イニシアティブ(ELIAS)」共催(茨城県水戸市)2010年11月24日 指定討論者 大学院教育改革プログラムシンポジウム「教師力をのばす」～地域教育資源の活用～(国内)茨城大学 大学院教育学研究科(茨城県水戸市)2010年10月06日 コーディネーター 平成22年度環境教育研修講座(国内)茨城県教育研修センター(茨城県笠間市)2010年08月09日 講師 講義・実習「環境教育プログラムの実践について」 (その他地域協力活動) 水戸検定実行委員会:出題協力している茨城大学側の事務局担当として実施に協力した。

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

科研費(基盤研究(B)) 自然体験学習の指導者養成システムに関する総合的研究(分担)130000 2010/04 2011/03 科研費(基盤研究(C)) モバイル端末とホームページを活用した「野外観察データ共有システム」の 開発(分担)20000 2010/04 2011/03 科研費(萌芽研究) ESDの視点による教科・領域横断的学習活動の構築(分担)50000 2010/04 2011/03

情報文化教室	氏名 小泉 晋弥
--------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1953 年 6 月
学歴・職歴	<p>1978 年 東京芸術大学大学院 修士課程 美術研究科 美術教育学専攻 いわき市立美術館学芸員(1984 年 4 月～1989 年 8 月) 郡山市教育委員会美術館建設準備室主査兼学芸員(1990 年 4 月～1991 年 3 月) 郡山市立美術館主任学芸員(1993 年 7 月～1996 年 3 月) 茨城大学教育学部助教授(1996 年 4 月～2000 年 3 月) 東北大学文学部非常勤講師(平成 14 年 3 月まで)(1997 年 4 月～2002 年 3 月) 東京芸術大学美術学部非常勤講師(現在に至る)(1999 年 4 月～) 茨城大学教授(現在に至る)(2000 年 4 月～) 愛知県立芸術大学非常勤講師(現在に至る)(2003 年 4 月～) 茨城大学附属中学校長(2011 年 4 月～)</p>
学位	修士(芸術学)
受賞歴	なし
所属学会	文化資源学会 美術史学会 美術教育学会
専門分野	日本近代美術史 博物館学 美術批評
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	<p>(教養科目)人間と文学・芸術(金・4), 人間・文化系科目 (火・5), 主題別ゼミナール(水・1)</p> <p>(専門科目)日本美術史 I, 博物館学 III, 日本美術史 II, 視聴覚教育メディア論/視聴覚教育メディア論(表現)/視聴覚教育メディア論(生活), 保育内容の研究(表現), 茨城の芸術・芸能, 造形美学/造形理論, 現代アート論/現代美術論, ルチメディア表現の理論及び演習, 表象文化論, 動画像編集(初級), メディア批評プロジェクト, メディア批評プロジェクト, 博物館実習 IIB, 動画像処理(初級), メディア批評プロジェクト I, メディア批評プロジェクト II, 地域活動プロジェクト I, 地域活動プロジェクト II, 現代文化批評, 視聴覚教育メディア論(生活), 博物館学 II(経営論), 博物館実習 I, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)美術文化総合研究, 美術教育授業設計, 日本美術史研究, 日本美術史演習</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[その他・単著] 小泉晋弥, 近代日本画の理想?天心と日本美術院がめざしたもの、武山、寛方の到達した場所, 花鳥人そして仏画へ?荒井寛方と木村武山展, 5-12, 2011年03月12日

[その他・単著] 小泉晋弥, ロダンと荻原守衛以後の彫刻, 没後100年 荻原守衛展?ロダンの情熱を継いだ人?, 15-23, 2011年02月5日

[その他・単著], プリニウス/犬/甲冑, 島田忠幸展 プリニウス 変貌する犬, 20-21, 2010年04月

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(学外での委員等)

日立市博物館美術品収集審査委員会[日立市教育委員会]()

宇都宮美術館美術作品等収集評価委員会[宇都宮市教育委員会]()

栃木県立美術館作品等収集評価委員会[栃木県教育委員会]()

水戸芸術館評議員[水戸市教育委員会]()

(兼業・兼職)

[非常勤講師]多摩美術大学 非常勤講師(2008年11月14日～2012年03月31日)

[その他]栃木県立美術館 美術資料選考評価委員(2007年12月15日～2011年12月14日)

[兼業]茨城県教育研修センター 講師(2007年07月26日～)

[非常勤講師]東京芸術大学美術学部 非常勤講師(2006年10月01日～2011年03月31日)

[非常勤講師]愛知県立芸術大学美術学部 非常勤講師(2004年04月01日～2011年03月31日)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者DBにデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

美術教育教室	氏名 向野 康江
--------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1959年10月
学歴・職歴	<p>1994年 筑波大学大学院 博士課程 芸術学研究科 芸術学専攻 修了</p> <p>武蔵野美術大学短期大学部通信教育部にて日本・東洋美術史の非常勤講師(1993年4月～1998年3月)</p> <p>茨城大学教育学部講師・同大学大学院教育学研究科授業担当教官(1995年4月～1996年9月)</p> <p>茨城大学助教授(1996年10月～)</p> <p>茨城高等工業専門学校にて非常勤講師を兼任(1997年4月～1998年3月)</p> <p>中国 華東師範大学へ海外研修上、外国人講師を兼任(1998年9月～1999年8月)</p> <p>中華人民共和国 華東師範大学芸術教育研究センター特招聘研究員(2000年9月～)</p> <p>茨城大学大学院教育学研究科指導教官(2004年10月～)</p>
学位	<p>博士(芸術学)[筑波大学]</p> <p>学術修士[筑波大学]</p> <p>教育学修士[上越教育大学]</p>
受賞歴	なし
所属学会	淡窓研究会 大学美術教育学会 教育史学会 日本教育史研究会 美術科教育学会
専門分野	思想史 史学一般 教科教育学 文化財科学 地域研究
教育研究概要	<p>勤務先である大学教育においては美術教育について教えている。研究については向野堅一(1868－1931)研究に主眼を置いている。</p> <p>(キーワード)近世教育史、大正期芸術教育、芸術教育思想史、美術教育史、児童画の歴史、記念館経営</p>
担当科目	<p>(教養科目)中国語Ⅱ(月・2), 中国語Ⅱ(木・4), コミュニケーション論(水・2)</p> <p>(専門科目)図画工作科教育法研究, 図画工作科教育法研究, 図画工作科教育法研究, 図画工作科教育法研究, 美術科教育法研究, 美術科内容研究, 工芸科教育法研究, 図画工作科内容研究, 美術科教育特別演習BI, 美術科教育特別演習BII, 卒業研究(教育:4単位)</p> <p>(大学院科目)美術文化総合研究, 美術教育授業設計, 美術教育演習Ⅱ, 美術教育</p>

研究 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[著書・]向野康江, 子どものための美術教育 学校での図画工作科教育と家庭での ART 教育, 弦書房, 2010 年 04 月 20 日

研究業績(2)学会発表など**研究業績(3)芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など**

(兼業・兼職)

[その他]直方市(市長) 博物資料研究委員(非常勤職員)(2007 年 11 月 01 日～2010 年 10 月 31 日)

(学協会活動・研究会活動)

大学美術教育学会大学美術教育学会国際交流委員会[国際交流委員](2005 年 04 月 01 日～)

淡窓研究会淡窓研究会事務局[編集員](2005 年 01 月 01 日～)

(報道出演・資料(DB 等) 提供)

[新聞]朝日新聞「」(2010 年 09 月 30 日)

[新聞]毎日新聞「」(2010 年 09 月 25 日)

[新聞]読売新聞「」(2010 年 09 月 18 日)

[新聞]西日本新聞「」(2010 年 09 月 18 日)

[新聞]西日本新聞「」(2010 年 09 月 18 日)

[新聞]西日本新聞「」(2010 年 09 月 16 日)

(その他地域協力活動)

直方市「向野堅一および向野コレクション(向野文庫を含む)研究」プロジェクトの開始(2007 年 11 月 01 日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(共同研究実績)

代表研究者: ()「中国人の玉認識アンケート調査について」[国際共同研究/未詳/](年度不詳～)

代表研究者: ()「玉作品を対象にした鑑賞教育教材による授業/千波小学校での実践報告」[国内共同研究/未詳/](年度不詳～)

代表研究者: ()「玉作品を対象にした鑑賞教育教材研究の開始」[国際共同研究/未詳/](年度不詳～)

代表研究者: () 「平成 21 年度 公開授業研究会 「自分づくり」を支える教育活動の創造(2 年次) -か
かわり合いの質を高める- 学習案集」[国内共同研究/未詳/](2010 年 01 月～)

代表研究者: () 「「自分づくり」を支える教育活動の創造(第 1 年次) -他とのかかわり合いを通して-」
[国内共同研究/未詳/](2009 年～)

代表研究者: () 「茨城大学教育学部附属中学校 かかわりが育む確かな学び(2 年次)かかわりを深める
手だての工夫」[/未詳/](2003 年 06 月～)

情報文化教室	氏名 小島 秀夫
--------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1950 年 1 月
学歴・職歴	1975 年 東京大学大学院 修士課程 教育学研究科 教育社会学専攻 修了 茨城大学助手 教育学部(1977 年 4 月～1979 年 3 月) 茨城大学講師 教育学部(1979 年 4 月～1985 年 6 月) 茨城大学助教授 教育学部(1985 年 7 月～1992 年 9 月) 茨城大学教授 教育学部(1992 年 10 月～)
学位	教育学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本教育社会学会 日本社会学会
専門分野	教育社会学
教育研究概要	教育社会学、社会階層論、社会調査法 (キーワード)教師の職業的社会化研究 調査方法論
担当科目	(教養科目)総合英語(学術) (専門科目)学校・教師の社会学/社会意識論/社会意識論, 統計学の基礎/統計学, 外書講読 I, 外書講読 II, 社会統計学(社会情報)/社会統計学(児童情報)/社会統計学(社会情報), 社会情報学演習 I(社会情報)/社会情報学演習 I(児童情報)/社会文化情報演習 I, 社会調査法, 地域社会論 (大学院科目)教育社会学特論, 教育社会学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

英語教育教室

氏名 小林 英美

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1967年10月
学歴・職歴	2001年 早稲田大学大学院 博士課程 教育学研究科 教科教育専攻 修了 法政大学付属第一高等学校・非常勤講師(1990年4月～1991年3月) 国士舘大学・非常勤講師(1993年4月～1995年3月) 早稲田大学教育学部助手(1994年4月～1996年3月) 茨城県立医療大学・非常勤講師(1995年4月～2003年3月) 東邦大学・非常勤講師(1996年4月～1997年3月) 日本学術振興会特別研究員(1997年4月～1999年3月) 学習院大学・非常勤講師(1999年4月～2003年3月) 東京国際大学・非常勤講師(2000年4月～2003年3月) 早稲田大学教育学部・非常勤講師(2000年4月～) 茨城大学教育学部・准教授(2003年4月～)
学位	文学士[早稲田大学] 教育学修士[早稲田大学] 学術博士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	イギリス・ロマン派学会 日本カレドニア学会 日本ジョンソン協会 日本英文学会 早稲田大学英語英文学会 欧米言語文化学会 美学会
専門分野	ヨーロッパ語系文学
教育研究概要	研究においては、18-19世紀イギリス文学における読者と作家・詩人の相互影響関係を、現存するデータを発掘・分析して、実証的に明らかにする歴史的文学研究を行っている。教育においては、英詩の魅力や音読を実践することで導く。音読は語学教育の重要な基礎の一つであり、音読して初めて英詩の本当の魅力が明らかになるからである。伝承童謡や有名児童文学を入門に用いることで関心を持たせ、最終的には文学史的に重要な英詩へと導く工夫をしている。また作品に関連する映像・音声教材も利用することによって、学生の理解が深まるようにしている。 (キーワード)イギリス文学、18世紀、19世紀、ロマン主義文学、ワーズワス、コウルリッジ、キーツ、オースティン、女性詩人、読者層研究、文学作品の18-19世紀英国作曲家による音楽受容、18-19世紀出版事情、予約購読出版、貸本店

担当科目	<p>(教養科目)総合英語(レベル3), コミュニケーション論 (水・2)</p> <p>(専門科目)言語と文化の諸相, 英米文学概論 I, 英米文学特講 I, 英米文学演習 I, 英米文学演習 II, 英米文学・文化から読む英語テキスト, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)言語と文化総合研究, 英語科授業設計, 英米文学特論 II(近代英米文学研究)</p>
------	--

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- [翻訳・監訳]ルシアン・ジェンキンズ著、小林英美・田中健次監修、松山響子翻訳、西洋音楽史 バロック以前の音楽, 学研パブリッシング, 2010 年 04 月 28 日
- [翻訳・監訳]クライヴ・アンガー＝ハミルトン著、小林英美・田中健次監修、市川純翻訳、西洋音楽史 バロックの音楽, 学研パブリッシング, 2010 年 04 月 28 日
- [翻訳・監訳]スティーヴン・ジョンソン著、小林英美・田中健次監修、平倉菜摘子翻訳、西洋音楽史 古典派の音楽, 学研パブリッシング, 2010 年 06 月 01 日
- [翻訳・監訳]デイヴィッド・マククリーリ著、小林英美・田中健次監修、田中由香・島袋賢介翻訳、西洋音楽史 ロマン派の音楽, 学研パブリッシング, 2010 年 06 月 01 日

研究業績(2)学会発表など

- [シンポジウム・口頭発表] 小林英美, 「予約購読者一覧にみる読者・支援者網の拡大:Helen Maria Williams の『詩集』(1786 年)の事例研究」, 「拡大する読者ネットワーク:文学嗜好の共有が作り出す 19 世紀文芸思潮」, 2010 年 12 月 12 日
- [研究発表・口頭発表] 小林英美, 18 世紀末女性詩人とその支援者—C.Smith と H.M.Williams の事例を並列して, 第 36 回イギリス・ロマン派学会全国大会, 2010 年 10 月 10 日
- [研究発表・口頭発表] 小林英美, スコットランド女性詩人とその支援者:ジャネット・リトルの事例, 日本カレドニア学会 2010 年度大会, 2010 年 09 月 18 日

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

- (兼業・兼職)
- [非常勤講師]早稲田大学教育学部 (2007 年 04 月 01 日～)
- (学外教育)
- [出前授業]「Nursery Rhymes を通して知るイギリス文化と歴史」2010
- (講演・シンポジウム等)
- シンポジウム「拡大する読者ネットワーク:文学嗜好の共有が作り出す 19 世紀文芸思潮」(国内)欧米言語文化学会(日本大学)司会・議長・コンビーナ・コーディネータ,パネリスト 2010 年 12 月 12 日司会と、イントロダクション、そして発題「予約購読者一覧にみる読者・支援者網の拡大:Helen Maria Williams の『詩集』(1786 年)の事例研究」

Christoph Bode 氏講演会。講演題目: "Subject and Nature in Modernity: The Case of William Wordsworth" (国内) イギリス・ロマン派学会(早稲田大学) 司会・議長・コンビーナ・コーディネータ 2010 年 11 月 11 日 ルードヴィッヒ・マキシミアン大学(ミュンヘン) 教授で、ドイツ・イギリス・ロマン派学会会長である Christoph Bode 氏の、早稲田大学での講演会の司会。

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「英国 18-19 世紀予約購読出版と文芸サークルが女性詩人支援に果たした役割」[科研費] 基盤研究 (C) 一般(代表) (2007 年 04 月 01 日～2011 年 03 月 31 日)

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1963年2月
学歴・職歴	(データなし) 茨城大学教育学部(2003年4月～)
学位	教育学修士[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	全国大学国語教育学会 全国大学書道学会 書学書道史学会 全国大学書写書道教育学会 全日本書写書道教育研究会 計量国語学会
専門分野	
教育研究概要	小中学校国語科書写における授業研究の方法や効果的な学習指導法に関する研究を実践的に行っている。 (キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と文学・芸術(木・3)/芸術【分野別科目】 (専門科目)書道 I, 初等国語科教育法研究, 初等国語科教育法研究, 初等国語科教育法研究, 初等国語科教育法研究, 書道科教育法研究 I, 教職研究, 初等書写内容研究, 初等書写内容研究, 書道 II, 書道 III, 書道 IV, 漢字書法研究, かな書法研究, 国語教育実践研究, 表象文化論, 子ども時間プロジェクト, 子ども時間プロジェクト I, 子ども時間プロジェクト II, 筆による表現, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)言語文化総合研究, 国語教育授業設計, 書道研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[著書・編集]青山浩之,阿辻哲次,飯島春美,押木秀樹,乙黒義夫,菅野智明,衣笠彰人,齋木久美,高橋正人,橋本恭一,和田俊彦,中学校国語科書写用教科書 新編新しい書写,東京書籍,2011年02月15日

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭)] 齋木久美,小瀧綾子,小学校書写学習の毛筆導入授業における学習指導法に関する実践報告,茨城大学教育実践研究,29,1?15,2010年11月

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

(芸術系の活動・建築作品等)

第9回中日韓文化人書藝展出品

平成22年度全国大学書道学会会員展出品

平成21年度全国大学書道学会会員展出品

(審査員)

第46回 JA 共済茨城県小・中学生書道コンクール

社会的活動、地域貢献など

(講演・シンポジウム等)

茨城大学図書館企画展 茨城初の女性教師 黒澤止幾子 記念講演会茨城大学附属図書館 (茨城大学附属図書館) 招待講演 2010年07月24日 講演題目「寺子屋の師匠としての止幾子の書について」

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「幼小連携をふまえた幼児期の書字に関する研究」[茨城大学教育学部附属教育実践総合センター 実践センター・学部附属連携研究費補助金](代表)(2010年08月01日～2011年02月28日)

「水戸藩ゆかりの書に関する調査研究プロジェクト」[五浦美術文化研究所 五浦美術文化研究所所員研究プロジェクト経費]五浦美術文化研究所所員研究プロジェクト(代表)(2010年07月01日～2011年03月31日)

英語教育教室	氏名 齋藤 英敏
--------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1966年7月
学歴・職歴	2000年 The Ohio State University, 博士課程 Foreign and Second Language Education 修了 茨城県立土浦湖北高等学校英語科教諭(1989年4月～1991年7月) Colorado State University, Department of Foreign Languages and Literatures, Part-time Instructor (Japanese)(1992年8月～1994年5月) 千葉大学外国語センター 非常勤講師(英語)(1998年4月～1999年3月) フェリス女学院大学 非常勤講師(英語)(1998年4月～1999年3月) 立教大学ランゲージセンター 嘱託講師(英語)(1999年4月～2000年3月) 北星学園大学経済学部 専任講師(2000年4月～2003年3月) 北星学園大学経済学部 助教授(2003年4月～2004年3月) 茨城大学教育学部英語教育講座 助教授(2004年4月～2006年3月) 茨城大学教育学部英語教育教室 准教授(2006年4月～)
学位	Ph.D
受賞歴	なし
所属学会	全国語学教育学会 大学英語教育学会 日本言語テスト学会 日英・英語教育学会 National Council on Measurement in Education
専門分野	外国語テスト、評価 外国語学習、習得 外国語指導 外国語教育
教育研究概要	(キーワード)外国語学習の評価、テスト、外国語学習、指導
担当科目	(教養科目)総合英語(レベル3), コミュニケーション論 (水・2) (専門科目)英語科教育法研究II, 英語科教育法特講, 英語科教科論II, 英語コミュニケーション, 英語コミュニケーションIX, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)学校教育基礎論, 言語と文化総合研究, 英語科授業設計, 英語科教育学特論II, 英語科教育学演習II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

齋藤英敏. (2010). インタラクティブフォーラムの評価の評価. 関東甲信越英語教育学会 第34回茨城つくば研究大会(筑波大学)8/22 Saito, H. (2010). Do test practice and keyword list help oral summary test performance? 日本言語テスト学会 第14回全国研究大会(豊橋技術科学大学)9/11 齋藤英敏. (2010). 実践的コミュニケーション能力の基礎の育成. 千葉県君津地区教育研究会英語部会. 講演. 8/18
--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(学協会活動・研究会活動) JALT Journal (全国語学教育学会) 査読委員(2009年04月～) Language Testing (Sage) 査読委員(2009年01月～)

JLTA（日本語テスト学会）広報委員（2007年09月～）
平成22年度（第四回）茨城県高等学校英語スピーチコンテスト 審査員茨城県教員研修センター
教員免許状更新講習講師（8/23-25）

海外出張・海外研修・内地研修など

（研究者 DB にデータがありません。）

科学研究費補助金などの受領

1. 科学研究費補助金(基盤C・平成21年-23年・課題番号 21530974)「日本語を活用した体験型小学校英語活動教員研修プログラムの開発」猪井新一(研究代表)
2. 科学研究費補助金(基盤C・平成22年-24年・課題番号 22520550)「中学校英語授業での代替評価の効果」齋藤英敏(研究代表)

教育保健教室

氏名 斉藤 ふくみ

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1958年10月
学歴・職歴	2006年03月 広島大学大学院 博士後期課程 保健学研究科 保健学専攻 修了 熊本大学養護教諭特別別科(2000年9月～2008年3月)
学位	博士(保健学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本健康相談活動学会 日本学校保健学会 日本学校健康相談学会 日本養護教諭教育学会
専門分野	養護学、養護実践学、健康教育 教科教育学
教育研究概要	<p>本研究は、平成17年度A大学学生29名、B大学学生29名、C大学学生10名の養護実習記録をテキスト・マイニング手法を用いて内容分析を行った結果、学生の学びの言語構成が明らかになり、各々の大学の養護実習での学生の学びの特徴を捉えることが出来た。それと同時に3大学に共通の語句が抽出され、養成機関が異なっても養護実習での学生の学びは保証されていると考えられた。また3大学を総合してクラスター解析を行った結果、養護実習で学習する事項が語句として抽出され、学生の学びを客観的に捉えられたと思われる。このことから、本研究で得られた所見は養護実習評価項目を作成する際の参考資料になりうると思われる。また、各大学の学生の意識と特徴を集約することができたことにより、養護教諭養成機関の背景の違いによるカリキュラムの改善の指標として活用できると思われる。</p> <p>(キーワード)養護教諭、学校保健学、養護学、健康教育、養護実践、養護活動</p>
担当科目	<p>(教養科目)身体・行動系科目 (火・5)</p> <p>(専門科目)養護学概論/養護学概論 I, 養護学概論 II, 養護活動論, 養護活動実習 I, 養護活動実習 I, 健康相談活動/健康相談活動 I(健康・心理コース), 健康相談活動 II(養教), 卒業研究(教育:4単位)</p> <p>(大学院科目)養護学総合研究, 養護教諭論特論</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭)] 斉藤ふくみ, 木下正江, 松永(金田)恵, 森よし江, 中学生の悩みとその対処行動および学習との関連について, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), **59**, 193-203, 2010年

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭)] 斉藤ふくみ, 三寫香里, 金田(松永)恵, 木下正江, 森よし江, 幼

稚園保健室コーナーの参与観察－園児の動きの分析を中心に－，茨城大学教育学部附属幼稚園研究紀要，25，101-111，2010年

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(共同研究実績)

代表研究者：()「養護実践力の育成を目指す養護教諭養成カリキュラムの検討(第1報) —「養護概説」担当者による分析—」(概要:本研究は、養護教諭一種免許状の課程認定を受けている大学を対象として、カリキュラム等に関する資料の収集を行い、「養護概説」等の現状と課題を捉えることを目的とした。37大学37学部より資料を回収し、シラバス等の分析を行った。その結果以下の諸点を捉えた。1. 対象大学のうちわけは、教育系が9大学(24.3%)、看護系が15大学(40.6%)、学際系(生活・栄養・体育・健康等)が13大学(35.1%)であった。2. 「養護概説」の科目名は約6割が「養護概説」であった。開講時期は3年次が14大学(37.8%)、2年次が13大学(35.1%)と多かった。3. シラバスは、「A:概論+職務型」「B:概論型」「C:職務型」「D:学部特徴型」の4つのタイプに分類され、A型は22大学(59.5%)、B型は8大学(21.6%)、C型は3大学(8.1%)、D型は4大学(10.8%)であった。4. シラバスを教大協養護部門のモデル・コア・カリキュラムに照合させた結果、対象大学のシラバスの構成は、「D:養護実践の内容と方法」が53.9%と最も高く、次いで「A:教育職員としての養護教諭の基本原則」が33.1%が高かった。5. カリキュラムにおける「養護概説」と「養護実習」の位置づけをみると、「養護概説」の学習後に「養護実習」が実施される関係性が認められた。以上の結果から、現状の「養護概説」は万全であるとはいえず、授業内容の検討とそれに伴う単位数の検討が必要であることが示された。養護実践力の育成を期すためには、養護実践に関わる内容をどのように取り扱うかが課題である。)

[The targets are 9 universities of education (24.3%), 15 universities of nursing (40.6%) and 13 other interdisciplinary universities (domestic science, nutritional science and physical and health sciences) (35.1%). 2./未詳/] (60% has the subject title “YOGO OUTLINE”. 14 universities provide its lecture on the subject during the third year level while 13 universities provide during the second year level. 3.年～)

情報文化教室	氏名 齋藤 芳徳
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1962年2月
学歴・職歴	(データなし) 川崎医療福祉大学医療福祉学部・専任講師(2000年4月～2004年3月) 川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部・助教授(2004年4月～2006年9月) 茨城大学教育学部・助教授(2006年10月～2007年3月) 茨城大学教育学部・准教授(2007年4月～2011年3月) 茨城大学教育学部・教授(2011年4月～)
学位	博士(工学)[京都大学] 修士(地域政策)[福島大学]
受賞歴	第7回インテリアデザインコンペ 2010/優秀賞
所属学会	日本建築学会 日本リハビリテーション工学協会 日本福祉のまちづくり学会
専門分野	都市計画・建築計画 リハビリテーション科学・福祉工学
教育研究概要	生活環境のユニバーサルデザインの研究 プロダクト(生活支援工学, プロダクトデザイン, リハビリテーション工学) 建築(建築計画学, 建築デザイン) (キーワード) 高齢者, 介護施設, 車いす, 入浴介護, 福祉用具, バリアフリー, ユニバーサルデザイン
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目 (集中) (専門科目)図法及び製図/図学演習(生活デザイン)/図学演習(情報文化), 設計製図II, 設計製図III, 建築法規, ユニバーサルデザイン演習, 人間工学, 地域活動プロジェクトI, 地域活動プロジェクトII, インテリアデザイン演習, 卒業研究(教育:4単位), デザイン研究II(大学院), 工芸・デザイン研究(大学院), 美術文化総合研究(大学院・分担), デザイン演習II(大学院), 美術教育授業設計(大学院・分担)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[著書・共著(筆頭以外)] 齋藤芳徳, 他 22 名, 生活空間の体験ワークブッカーテーマ別・建築人間工学からの環境デザイン, 彰国社, 108-109, 114-119, 2010 年 04 月 10 日

研究業績(2)学会発表など

[研究発表・口頭発表] 齋藤芳徳・山口健太郎・三浦研, 介護施設における個別入浴介護を支える環境の検討, 日本建築学会学術講演梗概集, 2010 年 09 月

[研究発表・口頭発表] 田中孝・山口健太郎・三浦研・齋藤芳徳, 動作解析から見た完全開放型歩行器の歩行特性に関する研究, 日本建築学会学術講演梗概集, 2010年09月

[研究発表・口頭発表] 齋藤芳徳, 特別養護老人ホームにおける集団入浴と個別入浴の介護環境比較, リハ工学カンファレンス講演論文集, 2010年08月

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[非常勤講師] 茨城キリスト教大学 非常勤講師(2008年04月01日～)

[非常勤講師] 川崎医療福祉大学大学院 非常勤講師(2006年10月01日～)

(講演・シンポジウム等)

ハピネスあだちオープン講座特別養護老人ホームハピネスあだち(東京都足立区) 司会・議長・コーディネータ・コーディネータ, パネリスト 2010年11月 パネリスト「高齢期の環境づくり-生活補助具デザイナーの立場から」

第37回国際福祉機器展(国内) 全国社会福祉協議会(東京都江東区) パネリスト 2010年10月 ワークショップ講師「施設が求める3つの事実-リフォーム・衛生・安定運営」

2010年 SIG 姿勢保持講習会(国内) 日本リハビリテーション工学協会 SIG 姿勢保持(宮城県仙台市) 招待講演, 企画・運営 2010年08月 企画・運営・司会・講師「介護施設現場での姿勢保持の取り組み」

(学協会活動・研究会活動)

日本建築学会建築計画委員会建築人間工学小委員会[委員](2004年08月～)

日本リハビリテーション工学協会 SIG 姿勢保持[世話人](2001年08月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「介護施設の小規模化に伴う人権を尊重した個別入浴介護を支える環境の検討」[科研費] 基盤研究(C)一般(代表)(2009年04月～2011年03月)

「文房具のデザイン」[茨城大学共同研究経費](代表)(2010年05月～2011年03月)

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1947年11月
学歴・職歴	<p>1976年 大阪市立大学大学院文学研究科 博士課程 文学研究科 史学専攻 単位取得満期退学</p> <p>大阪府立渋谷高等学校 社会科教諭(1976年4月～1981年8月)</p> <p>東京大学史料編纂所非常勤職員(1984年4月～1995年9月)</p> <p>相模女子大学学芸学部非常勤講師(1991年10月～2004年9月)</p> <p>立教大学文学部非常勤講師(1994年4月～1994年9月)</p> <p>東京学芸大学教育学部非常勤講師(1994年9月～2000年9月)</p> <p>成蹊大学文学部非常勤講師(1996年4月～2003年9月)</p> <p>立教大学大学院文学研究科史学専攻非常勤講師(1999年4月～2004年9月)</p> <p>慶應義塾大学文学部非常勤講師(2001年4月～2003年3月)</p> <p>放送大学非常勤講師(2003年4月～2005年3月)</p> <p>茨城大学教育学部教授(2004年10月～)</p>
学位	<p>文学修士[大阪市立大学]</p> <p>文学博士[大阪市立大学]</p>
受賞歴	なし
所属学会	歴史学研究会 日本史研究会 大阪歴史学会 大阪市立大学日本史学会
専門分野	
教育研究概要	<p>専攻は日本中世史。主に、中世の荘園や村落について研究してきた。近年は、情報伝達のしくみ、夢に関する中世人の認識のあり方などに関心がある。今後は、在地社会の日常的な意識について考えていきたい。</p> <p>(キーワード)</p>
担当科目	<p>(教養科目)人間と歴史(金・4)/歴史学【分野別科目】</p> <p>(専門科目)日本文化史特講II/日本古代中世史II/日本史特講I, 茨城の歴史と文化(教科又は教職), 基礎日本史, 日本史概説I, 日本史概説II, 日本史演習(4単位), 卒業研究(教育:4単位)</p> <p>(大学院科目)社会・文化総合研究, 社会科授業設計, 日本史特論, 日本史演習</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(共同研究実績)

代表研究者: ()「夢語りの場の生成」[国内共同研究/100 万円/4 人](年度不詳～)

技術教育教室	氏名 榊 守
--------	--------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1961 年 4 月
学歴・職歴	1987 年 豊橋技術科学大学大学院 修士課程 工学研究科 電気・電子工学専攻 修了 釧路工業高等専門学校 電気工学科 助手(1987 年 4 月～1989 年 3 月) 釧路工業高等専門学校 電気工学科 講師(1989 年 4 月～1993 年 3 月) 豊橋技術科学大学 電気・電子工学系 講師(1994 年 4 月～1996 年 3 月) 釧路工業高等専門学校 電気工学科 助教授(1996 年 4 月～2000 年 3 月) 茨城大学教育学部 技術教育 助教授(2000 年 4 月～)
学位	博士(工学)[豊橋技術科学大学]
受賞歴	なし
所属学会	応用物理学会 表面技術協会
専門分野	グロー放電・スパーク放電 視覚障害者用学習支援教具の研究
教育研究概要	教育学部で基礎電気などの電気・電子関連科目の講義・実習を担当。研究分野:アークやグロー放電の基礎研究および視覚障害者用学習支援装置の研究 (キーワード)
担当科目	(教養科目)コミュニケーション論 (水・2), 物理学【実験基礎】 (専門科目)技術科指導法(電気実習)/電気の基礎技術, 基礎電気, 電気の応用技術, 電気工学, 電気工学演習, 家庭電気・機械, 情報技術演習 I, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)技術と生活総合研究, 技術科授業設計, 電気工学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

[研究発表・口頭発表] 佐々木敦・佐藤英樹・榊守 他, 碍子絶縁特性の予測における海塩汚染の影響, 平成 22 年電気学会電力・エネルギー部門大会, 2010 年 09 月 03 日

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(その他地域協力活動)

茨城県立盲学校関東甲信越地区視覚障害教育研究会 助言者および講習担当(2009年11月20日～)

ひたちなか市市民大学講師「身近な物理学」(2009年06月20日～2010年09月05日)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

情報文化教室	氏名 佐々木 忠之
--------	-----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1958年1月
学歴・職歴	1984年 北海道大学大学院 修士課程 工学研究科 生体工学専攻 国立身体障害者リハビリテーションセンター 研究所 福祉機器開発部福祉機器 開発室 研究員(1984年10月～1990年3月) 茨城大学助教授 教育学部情報教育講座(1990年4月～2004年9月) 茨城大学教授 教育学部情報文化教室(2004年10月～)
学位	工学修士
受賞歴	なし
所属学会	バイオメカニズム学会 人間工学会 日本ME学会 日本ロボット学会 日本機械学 会 日本特殊教育学会 日本視覚学会 日本音響学会 計測自動制御学会 電子 情報通信学会
専門分野	感覚情報工学 福祉工学
教育研究概要	福祉工学、感覚情報工学 (キーワード)
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目(集中) (専門科目)情報処理の基礎技術I, 情報処理の応用技術/マイクロコンピュータ・プロ gramming入門, 感覚の科学, 静止画像処理(初級), 静止画像処理(初級), 地域活 動プロジェクトI, 地域活動プロジェクトII, 卒業研究(教育:4単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭以外)] 小峰優子, 佐々木忠之, 数字記憶課題における音環境の影響, 茨城大学教育学部紀要. 自然科学, 60, 131-136, 2011年

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(その他地域協力活動)
水戸養護学校研修会講師(2010年08月12日～2010年08月12日)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

音楽教育教室

氏名 佐藤 篤

教員履歴など

現職	教授
生年月	1949年5月
学歴・職歴	1974年 東京芸術大学大学院 修士課程 音楽研究科 ピアノ専攻 修了
学位	芸術学修士[東京芸術大学]
受賞歴	なし
所属学会	全日本ピアノ指導員協会 日本ピアノ教育連盟 日本演奏連盟 茨城演奏家連盟
専門分野	芸術,音楽 ピアノ
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール (月・5) (専門科目)ピアノ(必修・伴奏を含む), ピアノ, ピアノ, ピアノ, ピアノ, ピアノ, ソルフェージュI, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)音楽文化総合研究, 音楽教育授業設計, 器楽研究, 器楽演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

家政教育教室	氏名 佐藤 裕紀子
--------	-----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1968年2月
学歴・職歴	2004年03月 お茶の水女子大学大学院 博士後期課程 人間文化研究科 人間発達学専攻 単位取得満期退学
学位	博士(学術)[お茶の水女子大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本家政学会 日本家政学会家族関係学部会 日本家政学会生活経営学部会 日本家族社会学会 日本家庭科教育学会 日本家政学会家政学原論部会
専門分野	生活科学一般
教育研究概要	(キーワード)家族関係、家政・家庭科教育、ライフスタイル、
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目 (火・5) (専門科目)初等家庭科教育法研究, 中等家庭科教育法研究, 中等家庭科内容研究, 家庭科教科論, 初等家庭科内容研究, 消費情報論/消費情報論(社会情報), 家事労働論, 現代家族論, 家庭経営学演習, 卒業研究(教育:4単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>[著書・単著]佐藤裕紀子, 大正期における新中間層主婦の時間意識の形成, 風間書房, 2011年02月</p> <p>[大学・研究所等紀要・単著] 佐藤裕紀子, 多様な学習活動との連携をはかった家庭科の指導の検討—附属中学校「弁当の日」を手掛かりに—, 茨城大学教育実践研究, 29, 101-109, 2010年09月</p> <p>[学術誌論文・単著] 佐藤裕紀子, 家庭科教科書にみる家庭生活理念および生活行動指針の変遷と国家政策, 教科書フォーラム, 7, pp.32-42, 2010年07月</p>
--

研究業績(2)学会発表など

<p>[研究発表・口頭発表] 渡邊千恵子・永田晴子・佐藤裕紀子・中西雪夫・井上清美・室雅子, 聞きとり調査にみる父子家庭の現状と生活支援の課題, 日本家政学会家族関係学部会第30回セミナー, 2010年10月10日</p> <p>[シンポジウム・口頭発表] 佐藤裕紀子, 家族関係学の成果と課題～家族と家族・個人の生活諸条件に関する研究を中心に～, 日本家政学会家族関係学部会第30回セミナー, 2010年10月09日</p>

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(学外での委員等)

消費者支援功労者表彰選定委員会[] (選定委員)

水戸市少子対策検討委員会[水戸市長 加藤浩一] (委員)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「道德教育との連携をはかった家庭科の実践的な家族学習に関する研究」[茨城大学教育学部附属教育実践総合センター 平成 22 年度 学部附属連携研究費補助金]学部附属連携研究(代表)(2010 年 07 月 01 日～2011 年 03 月 31 日)

「大正期における新中間層主婦の時間意識の形成」[科研費]その他(代表)(2010 年 06 月 16 日～2011 年 03 月 31 日)

情報文化教室	氏名 島田 裕之
--------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1957 年 4 月
学歴・職歴	1988 年 東京芸術大学大学院 修士課程 美術研究科 形成デザイン専攻 修了 茨城県取手市立第二中学校教諭(1980 年 4 月～1984 年 3 月) 茨城県取手市立戸頭中学校教諭(1984 年 4 月～1986 年 3 月) 東京学館総合技術高等学校工芸科非常勤講師(1988 年 4 月～1990 年 3 月) 桐生短期大学生生活デザイン科専任講師(1990 年 4 月～1993 年 3 月) 茨城大学講師 教育学部(1993 年 4 月～1995 年 3 月) 茨城大学助教授 教育学部(1995 年 4 月～2004 年 9 月) 茨城大学教授 教育学部 (現在に至る)(2004 年 10 月～)
学位	芸術学修士
受賞歴	なし
所属学会	大学美術教育学会 日本デザイン学会
専門分野	視覚デザイン
教育研究概要	イラストレーションによる視覚伝達デザインの研究と制作 (キーワード) 平面デザイン(イラストレーション、コンピュータ・グラフィック、広告、ポスター)、映像(映画、アニメーション)
担当科目	(教養科目)人間と文学・芸術(金・4)/芸術【分野別科目】、コミュニケーション論(集中) (専門科目)総合演習, 図画工作科内容研究, 図画工作科内容研究, デザイン基礎/視覚コミュニケーション演習, デザイン I/デザイン史演習, デザイン II/絵本制作演習, デザイン表現演習 I, デザイン表現演習 II, 静止画像処理(中級), 情報文化広報プロジェクト, 情報文化広報プロジェクト, 映像工房プロジェクト, 映像工房プロジェクト, 子ども時間プロジェクト, IllustratorでDTP(初級), 情報文化広報プロジェクトI, 情報文化広報プロジェクトII, 映像工房プロジェクトI, 映像工房プロジェクトII, 子ども時間プロジェクトI, 子ども時間プロジェクトII, 静止画像処理(中級), 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)美術文化総合研究, 美術教育授業設計, デザイン研究, デザイン演習, 工芸・デザイン研究, 工芸・デザイン演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

(芸術系の活動・建築作品等)

個展:UTAKI・群耀図

個展:UTAKI・Selection2007-2010

(審査員)

茨城県水質保全協会ロゴマーク選考委員

いばらきロケ大賞審査員

茨城県芸術祭映像コンクール

社会的活動、地域貢献など

(学外での委員等)

茨城デザイン振興協議会[茨城デザイン振興協議会](顧問)

茨城県芸術祭映像コンクール[茨城県芸術祭実行委員](審査員)

いばらきロケ大賞[いばらきフィルムコミッション](審査員)

茨城県水質保全協会ロゴマーク選考委員会[茨城県水質保全協会](選考委員)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

美術教育教室	氏名 島 剛
--------	--------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1963年7月
学歴・職歴	1990年 東京芸術大学大学院 博士課程 美術研究科 彫刻専攻 中退 東京芸術大学 美術学部彫刻科講師(非常勤)(1995年4月～1996年3月) 茨城大学 講師 教育学部(1996年4月～2000年3月) 茨城大学 助教授 教育学部(2000年4月～)
学位	修士(芸術)[東京芸術大学]
受賞歴	なし
所属学会	大学美術教育学会
専門分野	彫刻
教育研究概要	(キーワード) 彫刻の制作研究
担当科目	(教養科目) 人間と文学・芸術(金・4)/芸術【分野別科目】 (専門科目) 保育内容の研究(表現), デッサンの基礎/表現の基礎, デッサン I/造形実技 I, デッサン II/造形実技 II, 図画工作科内容研究, 彫刻基礎/立体表現演習 I, 彫刻 I, 彫刻 II/立体表現演習 III, 彫刻表現演習 I, 彫刻表現演習 II/塑像特別演習 II, 塑造特別演習 II, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 地域教育資源フィールドスタディ, 授業展開ケーススタディ, 美術文化総合研究, 美術教育授業設計, 彫刻研究, 彫刻演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職) [兼業]茨城県教育研修センター 講師(2009年08月07日～) [兼業]茨城県教育研修センター 講師(2007年07月04日～)

[兼業]大阪教育大学 講師(2007年01月26日～)

[兼業]茨城県教育研修センター 講師(2006年07月～)

[出前授業]光洋高校 講師(2006年05月～)

[兼業]桜の牧高校 講師(2005年11月～)

(学外教育)

[公開講座]「平成22年度 中学生からの美術アカデミー」2010

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1970 年 9 月
学歴・職歴	1999 年 東京学芸大学大学院 博士課程 連合学校教育学研究科 発達支援専攻 茨城大学助教授教育学部(2005 年 10 月～2007 年 3 月) ドイツ連邦共和国ユスタス・リービヒ(ギーゼン)大学 客員研究員(2004 年 2 月～ 2005 年 2 月) 茨城大学講師教育学部(2000 年 4 月～2005 年 9 月) 茨城大学助手教育学部(1998 年 7 月～2000 年 3 月) 日本学術振興会 特別研究員(1998 年 4 月～1998 年 6 月)
学位	教育学修士[茨城大学] 教育学博士[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	International Society for Brain Electromagnetic Topography 日本 LD 学会 日本特 殊教育学会 日本生理心理学会 日本脳電磁図トポグラフィー研究会 日本臨床神 経生理学会 認知神経科学会
専門分野	認知神経科学 障害児教育 実験系心理学
教育研究概要	(キーワード)脳科学 特別支援教育
担当科目	(教養科目)人間と心(金・4) (専門科目)特別支援教育基礎演習, 知的障害児の生理, 障害児生理演習 II, 障害 児生理機能評価法, 障害学総合研究, 障害児生理学特論 I/障害児生理学特論 I (発達障害学), 障害児生理学演習 I, 障害児生理心理学/障害児生理機能評価法/ 障害児生理心理学, 障害児の保健/知的障害児の生理, 障害児生理学演習 II, 感 覚障害児の教育, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)障害学総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- [大学・研究所等紀要・共著(筆頭)] 勝二博亮, 羽二生明子, 視線パターンからみた自閉症スペクトラム
児の顔認識過程, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), **60**, 131-141, 2011 年 03 月
- [学術誌論文・共著(筆頭以外)] 藤田清代, 勝二博亮, 松本敏治, 中学生の英単語読み能力と日本語
読み速度との関連ーphonics 学習を通してー, LD 研究, **20**, 1, 76-88, 2011 年 02 月 25 日

[学術誌論文・共著(筆頭以外)] 青木真純, 岡崎慎治, 勝二博亮, 前川久男, 事象関連電位からみた成人および小児におけるコンフリクト検出過程—Rock-Paper-Scissors 課題を用いて—, 臨床神経生理学, **39**, 1, 1-9, 2011年02月

[学術誌論文・共著(筆頭以外)] 水谷勉, 尾崎久記, 勝二博亮, 篠田晴男, 脳血流からみたGo-Nogo課題における標的呈示確率変更にもなう運動制御変化, 臨床神経生理学, **38**, 131-142, 2010年06月01日

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[兼業]茨城県教育委員会 専門家会議委員(2010年11月～)

[兼業]茨城大学 講師(教員免許更新制)(2010年08月～2010年12月)

[兼業]NPO 全国ことばを育む会・茨城県ことばを育む親の会 教育相談(2010年08月19日～)

[兼業]茨城県教育委員会 講師(教育教員免許法認定講習)病弱児の心理・生理・病理(2010年07月29日～)

[兼業]茨城県教育委員会 講師(教育教員免許法認定講習)重度重複障害(2010年07月28日～)

[兼業]茨城県特別支援教育推進連盟・茨城県立水戸飯富養護学校 講師(2009年10月06日～)

[兼業]茨城県教育委員会 講師(教育教員免許法認定講習)病弱児の心理・生理・病理(2009年08月21日～)

[兼業]茨城県教育委員会 講師(教育教員免許法認定講習)重度重複障害(2009年08月19日～)

[兼業]NPO 全国ことばを育む会・茨城県ことばを育む親の会 講師(2009年08月06日～)

[兼業]大洗教育研究会(大洗町立南中学校) 講師(2009年08月05日～)

[兼業]茨城県立内原養護学校 講師(2009年01月23日～)

[兼業]茨城県教育研究会特別支援教育研究部 講師(2008年12月08日～)

[兼業]茨城大学 講師(教員免許更新制予備講習)(2008年08月18日～)

[兼業]茨城県教育研究会 講師(茨城県中央地区特別支援教育研修会)(2008年08月12日～)

[兼業]茨城県教育委員会 講師(教育教員免許法認定講習)病弱児の心理・生理・病理(2008年08月08日～)

[兼業]茨城県教育委員会 講師(教育教員免許法認定講習)重度重複障害(2008年08月04日～)

[兼業]茨城県教育研究連盟 助言者(2007年10月13日～)

[兼業]茨城県教育研修センター 講師(寄宿舎指導員研修講座)(2007年07月26日～)

[兼業]那珂市教育委員会 特別支援教育アドバイザー(2007年04月01日～)

[兼業]茨城県教育委員会 専門家会議委員(2007年04月01日～)

[兼業]茨城県教育研修センター スーパーバイザー(教育相談に関する臨床研修)(2006年12月13日～)

[兼業]茨城県教育研究連盟 助言者(2006年10月14日～)

[兼業]茨城県教育研修センター 講師(新任特殊学級・通級指導教室担当者研修講座)(2006年10月04日～)

[兼業]茨城県立大子養護学校 講師(2006年10月03日～)

[兼業]茨城県立土浦養護学校 ボランティア講座講師(2006年09月02日～)

[兼業]茨城県教育研修センター 講師(寄宿舎指導員研修講座)(2006年07月25日～)

[兼業]茨城県教育委員会 専門家会議委員(2006年04月01日～)

[兼業]那珂市教育委員会 特別支援教育アドバイザー(2006年04月01日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「自動車運転中の脳活動に関する研究－運転適正にNIRSから迫る－」[三井住友海上福祉財団 研究助成](代表)(2007年12月01日～)

「自閉症児に理解しやすい音声指示のあり方の解明」[科研費]基盤研究(B)一般(分担)(2007年04月01日～)

(共同研究実績)

代表研究者: () 「書字の獲得とその困難さに関する実証的研究」[国内共同研究/未詳/] (年度不詳～)

国語教育教室	氏名 昌子 佳広
--------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1965 年 10 月
学歴・職歴	1998 年 03 月 島根大学大学院 修士課程 教育学研究科 教科教育専攻国語教育専修 修了 島根県公立小学校教諭(1988 年 4 月～1991 年 3 月) 島根大学教育学部附属小学校教諭(1991 年 4 月～2001 年 3 月) 茨城大学教育学部講師(2001 年 4 月～) 茨城大学教育学部助教授(2004 年 10 月～)
学位	教育学修士[島根大学]
受賞歴	なし
所属学会	全国大学国語教育学会 日本国語教育学会 日本読書学会 表現学会
専門分野	地方における国語教育実践史の研究
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と文学・芸術(金・4)/文学【分野別科目】 (専門科目)総合演習, 初等国語科教育法研究, 初等国語科教育法研究, 生活科教育法研究, 国語科教育法特講 II, 国語科教育法演習 II, 国語科教科論, 読書と豊かな人間性, 初等国語科内容研究, 生活科内容研究, 生活科内容研究, 国語教育実践研究, 教職のためのパブリックスピーキング, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)言語文化総合研究, 国語教育授業設計, 国語科教育学特論 II, 国語科教育学演習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

附属教育実践総合センター

氏名 正保 春彦

教員履歴など

現職	教授
生年月	1958年11月
学歴・職歴	1988年 筑波大学大学院 博士課程 心理学研究科 心理学専攻 筑波大学心理学系助手(1988年6月～1990年3月) 明海大学外国語学部専任講師(1990年4月～1995年3月) 明海大学外国語学部助教授(1995年4月～2000年9月) 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター助教授(2000年10月～2009年9月) 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター教授(2009年10月～)
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本カウンセリング学会 日本人間性心理学会 日本心理臨床学会 日本描画テスト療法学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	集団心理療法(構成的グループエンカウンター、ロールプレイング、インプロヴィゼーション)、カウンセリング (キーワード)臨床心理学、グループアプローチ、構成的グループ・エンカウンター、ロールプレイング、サイコドラマ、インプロ(インプロヴィゼーション)
担当科目	(教養科目)人間と心(木・3)/心理学【分野別科目】 (専門科目)カウンセリング特講, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)臨床心理基礎実習 I, 臨床心理基礎実習 II, グループアプローチ特論, 臨床心理実習 I, 臨床心理実習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[非常勤講師]筑波大学 非常勤講師(2005年04月01日～)

[非常勤講師]茨城県立結城第二高校 非常勤講師(2010年04月01日～2012年03月31日)

(学協会活動・研究会活動)

学校で使えるグループアプローチ研究会[代表](2005年04月01日～)

(その他地域協力活動)

茨城いのちの電話研修委員(年度不詳～)

筑波大学附属病院患者会実施協力(年度不詳～)

社会福祉法人同仁会研修会講師(2007年02月～)

水戸市教育委員会相談員研修会講師(2006年～)

水戸家庭裁判所調査官研修会講師(2006年～)

日立市教育委員会研修会講師(2006年08月～)

茨城県教育委員会水戸教育事務所明るい学校作り指導者研修会実施協力(2006年05月～)

水戸家庭裁判所親子合宿実施支援協力(2006年04月01日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教室	氏名 杉本 憲子
--------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1973 年 7 月
学歴・職歴	2001 年 名古屋大学大学院 博士課程 教育発達科学研究科 教育科学専攻 単位取得満期退学
学位	修士(教育学)[名古屋大学]
受賞歴	なし
所属学会	中部教育学会 日本教育方法学会 日本生活科・総合的学習教育学会
専門分野	教育方法学
教育研究概要	(キーワード)教育方法、授業研究
担当科目	(教養科目)人間・文化系科目 (金・3) (専門科目)学習指導の方法, 教育の方法と技術, 教育の方法と技術, 総合演習, 教育臨床の視点から実践をみる, 学習指導演習, 学習指導特講, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)地域教育資源フィールドスタディ, 授業展開ケーススタディ, 教授学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[大学・研究所等紀要・単著] 杉本憲子, 授業における子どもの思考過程の考察—子どもの読みの深まりに着目して—, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 60, 167-177, 2011 年 03 月

研究業績(2)学会発表など

[研究発表・口頭発表] 杉本憲子, 授業における集団的な思考の過程に関する一考察, 日本教育方法学会第 46 回大会, 2010 年 10 月 10 日

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(学外教育)
[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「特別活動の今日的意義と課題・特別活動の実践の充実に向けて」2010
[茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「教育政策の動向についての理解」2010

(講演・シンポジウム等)

授業研究に関する校内研修会(松江市立八雲小学校)(国内)2010年08月24日校内研修会講師、講話「授業分析の方法にもとづく授業研究について」

つくば市教育研究会学級経営部研修会(国内)つくば市教育研究会学級経営部2010年08月04日講演「学級経営と授業を考える～子ども理解にもとづく授業・学級づくり～」

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「授業における児童の関係認識の発展に関する実証的研究」[科研費]若手研究(B)(代表)(2008年04月01日～)

人間環境教育教室	氏名 清木 徹
----------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1946年8月
学歴・職歴	1970年 広島大学 工学部 卒業 広島県公害研究所(現保健環境センター)(1971年4月～2004年3月) 茨城大学教育学部(2004年4月～)
学位	博士[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	<p>専門分野は水質環境工学、生態工学で、閉鎖性水域の富栄養化による汚濁機構の解析やその修復技術に関する研究を行っている。具体的な内容としては、瀬戸内海の底質汚染および広島湾の汚濁機構の解析や干潟の浄化機能に関する研究である。主な著書や論文は以下の通りである。(著書) 1. 水環境学会編(1999)日本の水環境行政—その歴史と科学的背景。第10章 瀬戸内海の水質保全対策、pp134-148, ぎょうせい、東京。 2. 水環境学会編(2000)日本の水環境6, 中国・四国編、干潟の生態と機能、pp15-32, 技報堂、東京。 3. M. Okada and S. A. Peterson 編(2000) Water pollution control policy and management : The Japanese experience; Countermeasures against water pollution in the Seto Inland Sea, pp132-146, GYOSEI, Tokyo. (論文) 1. 清木 徹(1980) 海域の底泥における有機物の分解モデルに関する最近の知見、広島県環境センター研究報告、1, 93-102. 2. 清木 徹、伊達 悦二、井澤 博文(1985) 広島湾におけるセディメント・トラップ捕集物から推定した水中懸濁物の沈降フラックス、水質汚濁研究、8, 304-313. 3. T. Seiki, H. Izawa and E. Date(1989) Benthic nutrient remineralization and oxygen consumption in coastal area of Hiroshima Bay. Water Res., 23, 219-228. 4. 伊達 悦二、清木 徹、井澤 博文、星野 響(1989) 広島湾における炭素、窒素、リンの循環、水質汚濁研究、12, 567-574. 5. 井澤 博文、清木 徹、伊達 悦二(1990) 大口径パイプを用いた簡易不攪乱柱状採泥器の試作、水質汚濁 13, 320-323. 6. T. Seiki, E. Date and H. Izawa(1991) Eutrophication in Hiroshima Bay. Mar. Pollut. Bull., 23, 95-99. 7. T. Seiki, E. Date and H. Izawa(1991) Decomposition characteristics of particulate organic matter in Hiroshima Bay. J. Oceanogr. Soc. Japan, 47, 207-220. 8. T. Seiki, H. Izawa, E. Date and H. Sunahara(1994) Sediment oxygen demand in Hiroshima</p>

	<p>Bay. Water Res., 28,385-393. 9. Y. S. Lee, T. Seiki, T. Mukai, K. Takimoto and M. Okada (1996) Limiting Nutrients of phytoplankton community in Hiroshima Bay, Japan. Water Res., 30,1490-1494. 10. 李 正奎、西嶋 渉、向井 徹雄、滝本 和人、清木 徹、平岡 喜代典、岡田 光正 (1998)自然および人工干潟の有機物浄化機能の定量化と広島湾の浄化に果たす役割、水環境学会誌, 21, 149-156. 11. 清木 徹、平岡 喜代典、李 正奎、西嶋 渉、向井 徹雄、滝本 和人、岡田 光正 (1998) 広島湾における干潟の水質浄化機能に関する研究 ―有機物の分解特性について― 水環境学会誌、21, 421-428. 12. J. G. Lee, W. Nishijima, T. Mukai, K. Takimoto, T. Seiki, K. Hiraoka, and M. Okada (1998) Factors to determine the functions and structures in natural and constructed tidal flats. Water Res., 32, 2601-2606. 13. 清木 徹、駒井 幸雄、小山 武信、永渕 修、日野 康良、村上 和仁 (1998) 瀬戸内海における汚濁負荷量と水質の変遷、水環境学会誌、21,780-788. 14. 清木 徹、岡田 光正 (1999) 前浜干潟の水質環境浄化能、水環境学会誌、22, 527-532. 15. T. Seiki, E. Date, J. G. Lee, W. Nishijima, T. Mukai, K. Takimoto and M. Okada (1999) The significance of tidal flats for environmental preservation, Medcoast99 – EMECS99 joint conference, vol.1, 269-282. 16. 清木 徹、伊達 悦二、岡田 光正 (2001) 広島湾における干潟の浄化機能、水産海洋研究、65, 176-179. 17. 山本 民次、石田 愛美、清木 徹 (2002) 太田川河川水中のリンおよび窒素濃度の長期変動 ―植物プランクトン種の変化を引き起こす主要因として―、水産海洋研究、66, 102-109.</p>
	(キーワード)水環境工学、生態工学
担当科目	<p>(教養科目)環境・政策系科目 (火・5) (専門科目)地球環境論, 汚染化学論(情報文化共通)/汚染化学論, 環境科学総論, 水環境論, 環境分析実験, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)自然科学総合研究, 理科授業設計, 地域自然環境特論, 地域自然環境演習</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(学協会活動・研究会活動)

中国経済産業局閉鎖性水域の海域別調査(瀬戸内海)検討委員会[検討委員](2006年04月01日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

人間環境教育教室	氏名 関友作
----------	--------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1964年12月
学歴・職歴	1996年 東京工業大学大学院 博士課程 総合理工学研究科 システム科学専攻
学位	博士(学術)[東京工業大学]
受賞歴	なし
所属学会	テクニカル コミュニケーター協会 教育システム情報学会 日本教育工学会 日本科学教育学会 日本認知科学会
専門分野	教育工学 科学教育
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)文明・技術系科目 (火・5) (専門科目)情報処理の基礎技術 II, 情報編集法/情報編集法(人間環境), 情報の収集と活用, データ解析法, 文章作成法 II, 卒業研究(教育:4単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭)] 関友作, 伊藤孝, 地球科学情報の市民への広報に関する事例研究-2: ニューゼaland・ウェリントンにおける活断層・地震情報の広報, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 60, 273-282, 2011年03月31日

研究業績(2)学会発表など

[研究発表・口頭発表] 関友作, 伊藤孝, 地球科学関連情報の市民への広報に関する研究: ニューゼaland・ウェリントンの事例, 日本地学教育学会 全国大会, 2010年08月22日

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(学協会活動・研究会活動)
日本教育工学会日本教育工学会 編集委員会[特任編集委員](2010年03月01日～)
日本教育工学会日本教育工学会 研究会委員会[委員](2009年07月01日～2011年06月30日)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「多様化した大学教育活動の分析と持続可能社会を目指した総合的教育戦略の検討」[科研費]萌芽研究(代表)(2010年04月01日～2012年03月31日)

教員履歴など

現職	教授
生年月	1948年5月
学歴・職歴	1979年 大阪大学大学院 博士課程 理学研究科 数学専攻 修了 茨城大学大学教育学部教授(1992年4月～) 茨城大学大学教育研究開発センター長(2002年5月～2005年3月) 茨城大学学長特別補佐(2005年4月～2006年3月) 自然系基礎教育専門部会長(2006年4月～2009年3月)
学位	理学博士[大阪大学] 理学修士[大阪大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本数学会
専門分野	偏微分方程式
教育研究概要	<p>. 教育について 1979～95年頃は、教育学部の教員養成部門において、数学教員の養成教育に携わってきた。その後(1996)、非教員養成部門(0免課程)の発足とともに、その課程の担当に移動し、現在に至っている。移動後は具体的な現象を扱う授業担当が多くなった。1994年教育学研究科(修士課程)の数学教育専修が発足して以来、その解析学 の指導教授となって現在に至っている。2000年より、(茨城大学の)理工学研究科の博士後期課程(情報システム科学専攻)にも指導教授として参画している。2001年以後は、全学の教養教育の運営に携わっており、2001年はその運営組織(大学教育研究開発センター)の副センター長、2002～04年にはセンター長(教育学部と兼任)についていた。その間、「質の保証」を目指した教育改革を推進した。特に、2005年度より、工学部初年次生を対象として、下位グループ引き上げを目指した理系基礎教育の教育改革プロジェクト(大学教育研究開発センターの取り組み)の統括者となり、微積分、物理学等の基礎教育について、新しいやり方を工学部等の教養教育カリキュラムに導入した。</p> <p>2. 研究について 全体として偏微分方程式に関する研究を行っている。特に、具体的な数理物理学の問題を研究しており、その最も主要なものはLax-Phillips型の散乱論に関するものである。1980～90年頃は、波動方程式を対象として、散乱核の情報から散乱物体の情報を得ようという逆問題を研究していた。その中で最も大きな成果は、物体が凸であることの特徴付けなどを行ったことである。その後、弾性方程式に対してLax-Phillips型の散乱問題を考え、未整備であった基礎事項をつくとともに、逆問題において弾性方程式固有の現</p>

	<p>象があることを明らかにした。この方面の研究は現在も続けており、Raylei 波などの表面波に焦点をあてた散乱問題を考察している。最新の結果として、表面波を抽出するような散乱核の表現式を得ている。上記の逆問題との関連で、パラメータをもつ振動積分の分析を行った。これは、いわゆる stationary phase method で扱われる振動積分を、漸近展開を通さずに解析したものであり、これ自身で独立して意味のある結果である。さらに、この逆問題との関係で取り組んだテーマとして、漸近解の構成がある。一般的な弾性方程式に対して、具体的に漸近解を構成したりしている。</p>
担当科目	<p>(キーワード) 偏微分方程式、数理物理学、散乱逆問題</p> <p>(専門科目) 保育内容の研究(環境), 応用線形代数学/最適状態の解析法, 応用解析学 I/環境科学への数学, 科学技術と社会(情報文化)(旧情報社会)/科学技術と社会(児童情報)/科学技術と社会(情報文化)(旧情報社会)/科学技術と社会, 生活の中の環境問題, 組織の合意, 環境科学総論, 複雑系の適応行動, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目) 数学総合研究, 数学科教育授業設計, 解析学特論 I, 解析学演習 I</p>

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「弾性波の表示法の開発と基本性質の究明(New Representation of Elastic Waves and Investigation of their Fundamental Properties)」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2009年04月01日～2012年03月31日)

教育保健教室	氏名 瀧澤 利行
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1962年9月
学歴・職歴	1992年 東京大学大学院 博士課程 教育学研究科 健康教育学専攻 修了 日本学術振興会特別研究委員(1990年4月～1992年3月) 茨城大学教育学部助手(1995年4月～1996年3月) 茨城大学教育学部助教授(1996年4月～2002年3月) 茨城大学教育学部教授(2002年4月～)
学位	博士(教育学)[東京大学] 博士(医学)[大阪大学] 教育学修士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本医史学会 日本衛生学会 日本教育学会 日本公衆衛生学会 日本生活指導学会 日本学校保健学会 日本健康教育学会 日本在宅ケア学会 日本教育保健学会 日本高齢者虐待防止学会
専門分野	健康文化論 健康思想史 健康教育学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)コミュニケーション論(水・2) (専門科目)小児・思春期保健学, 衛生学, 公衆衛生学, 保健福祉論, 保健学演習, 学校保健概論(養護教諭), 精神保健/メンタルヘルス, 健康文化論, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)人間システム基礎論II, 養護学総合研究, 教育保健経営特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>[総説・解説・報告等・単著] 瀧澤利行, 学校における健康危機管理の組織と対策, 保健の科学, 53, 2, 2011年02月01日</p> <p>[学術誌論文・共著(筆頭以外)] 坂井建雄, 澤井直, 瀧澤利行, 福島統, 島田和幸, 我が国の医学教育・医師資格付与制度の歴史的変遷と医学校の発展過程, 医学教育, 41, 5, 337-346, 2010年10月25日</p> <p>[学術誌論文・単著] 瀧澤利行, 在宅ケア研究における研究倫理, 日本在宅ケア学会誌, 14, 1, 26-30, 2010年09月1日</p>
--

[総説・解説・報告等・単著] 瀧澤利行, 学校保健安全法, 保健の科学, **52**, 9, 629-633, 2010年09月1日

[総説・解説・報告等・単著] 瀧澤利行, 学校保健の新展開, 保健の科学, **52**, 8, 563-567, 2010年08月1日

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[兼業]放送大学 客員教授(2004年04月01日～)

(報道出演・資料(DB等)提供)

[テレビ]歴史は眠らない 日本人の健康 第3回 飢餓と飽食の時代「日本人の健康についての歴史的概観をテーマとした番組の第3回。健康優良児表彰事業に関するインタビューを受けた。」(2010年10月19日)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

教育保健教室	氏名 竹下 誠一郎
--------	-----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 7 月
学歴・職歴	1996 年 埼玉医科大学(医学博士)大学院 博士課程 専攻 修了 防衛医科大学校病院小児科助手(1991 年 8 月～1998 年 9 月) 防衛医科大学校病院小児科講師(1998 年 10 月～2003 年 3 月) 静岡県立大学短大部第一看護学科教授(2003 年 4 月～2005 年 3 月) 茨城大学教育学部教授(2005 年 4 月～)
学位	医学博士[埼玉医科大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本小児科学会、日本感染症学会、日本小児循環器病学会、日本川崎病研究会、 日本学校保健学会、日本小児保健学会
専門分野	小児科学、感染症学、循環器病学、学校保健学、小児保健学
教育研究概要	(キーワード)小児の生活習慣病、慢性疾患の管理、学校保健、川崎病、感染症
担当科目	(教養科目)身体・行動系科目 (火・5) (専門科目)健康管理学/健康管理学(人間環境)/健康管理学(人間環境)/健康管理学(人間環境), 救急処置法/運動障害救急法, 精神医学, 臨床医学概論, 内科系臨床医学・看護学, 外科系臨床医学・看護学, 母性・小児系臨床医学・看護学, 感覚器系臨床医学・看護学, 臨床医学・看護学臨床実習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)養護学総合研究, 教育保健医学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[学術誌論文・共著(筆頭以外)] 長谷川照晃、宮川八平、瀧澤利行、竹下誠一郎、山根爽一、金田富雄、桑澤芳春、飛島順子、小林誠, 新型インフルエンザに対する行動計画の作成と今後の課題について, CAMPUS HEALTH, 48, 67-72, 2011 年 03 月

研究業績(2)学会発表など

[研究発表・口頭発表] 佐々木千裕、小宅奈津子、吉田尊雅、森山伸子、永井庸次、竹下誠一郎, 当院(日立製作所ひたちなか総合病院)における川崎病112例の検討, 第96回日本小児科学会茨城地方会, 2010 年 11 月 28 日

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[非常勤講師] 埼玉県立大学 非常勤講師(小児科学概論) (2007年10月01日～)

[その他] 日立製作所水戸総合病院 非常勤医師(小児科) (2005年07月01日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教室	氏名 田代 尚弘
--------	----------

教員履歴など

現 職	副学長
生年月	1947 年 1 月
学歴・職歴	1975 年 広島大学大学院 博士課程 教育学研究科 教育哲学専攻 単位取得満期 退学
学位	教育学修士[広島大学] 教育学博士[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	ディルタイ学会 教育哲学会 教育思想史学会 日本教育学会
専門分野	教育学
教育研究概要	(キーワード)ドイツの教育思想史研究、教育哲学
担当科目	(専門科目)道徳と価値の教育, 道徳と価値の教育 (大学院科目)教育哲学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(共同研究実績) 代表研究者: ()「ナチズム期の教育と戦争責任」[国内共同研究/未詳/](2004 年～)

人間環境教育教室	氏名 巽 申直
----------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1948年12月
学歴・職歴	1973年 東京教育大学大学院 修士課程 体育学研究科 運動学専攻 茨城大学教養部講師に採用(1973年4月～) 茨城大学教養部助教授に昇任(1980年4月～) 茨城大学教養部教授に昇任(1987年4月～) 茨城大学教育学部教授(1996年4月～)
学位	体育学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本体力医学会 日本武道学会
専門分野	体育学
教育研究概要	(キーワード)身体教育学、武道論、剣道
担当科目	(教養科目)身体活動(木・3), 身体活動(木・4) (専門科目)初等保健体育科教育法研究, スポーツ指導法/武道/武道/スポーツ指導法, コーチング論I, 武道方法論, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)体育科学総合研究, 保健体育授業設計, 運動方法学特論, 運動方法学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭)] 巽申直、富樫泰一、林雅弘、岩瀬学、岡嶋恒、剣道正面打ちにおける手のうちの作用力:基本打ちと実践的な打ちの比較, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 第60, 199-206, 2011年

研究業績(2)学会発表など

[研究発表・ポスター] 岩瀬学、巽申直、渡邊由陽、竹森重, 加速度計を用いた剣道技の動作解析, 日本武道学会第43回大会, 2010年09月02日

[研究発表・ポスター] 渡邊由陽、竹森重、巽申直、作道正夫、岡嶋恒, 剣道高段者の打撃中における身体各部位の時系列解析, 日本武道学会第43回大会, 2010年09月02日

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(学外での委員等)

茨城県スポーツ振興審議会[茨城県教育委員会](委員長)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

音楽教育教室	氏名 田中 健次
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1954年3月
学歴・職歴	1980年 国立音楽大学大学院 修士課程 音楽研究科 音楽教育学専攻 修了 カシオ計算機株式会社営業開発本部電子楽器企画部(1980年4月～1982年3月) 日本ハモンドオルガン株式会社 音楽教育プログラム企画(契約)(1983年4月～1988年3月) 株式会社サウンドスタッフプロデューサー(1985年4月～1995年3月) 佐賀大学教育学部助教授(1995年4月～1996年9月) 佐賀大学文化教育学教授(2003年より茨城大学併任)(1996年10月～2003年3月) 茨城大学教育学部教授(2002年10月～)
学位	博士(文学)[大阪大学大学院 文学研究科] 芸術学修士[国立音楽大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	国際コンピュータ ミュージック学会(International Society of Computer Music) 国際音楽教育学会(International society of Music Education)(ISME) 日本電子音楽産業協会 日本音楽学会 日本音楽教育学会 東洋音楽学会
専門分野	音楽教育学 伝承文化研究
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)コミュニケーション論(水・2), 主題別ゼミナール(月・5) (専門科目)初等音楽科教育法研究, 保育内容の研究(表現), 音楽科教育法研究I, 音楽科教育法研究II, 茨城の芸術・芸能 (大学院科目)音楽文化総合研究, 音楽教育授業設計, 音楽科教育研究法, 音楽科教育学特論I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>[著書・共著(筆頭以外)]八木正一、山田潤次、山中文、三国和子、川村有美、神月朋子、『音楽授業がぐーんと盛り上がるお話のネタ80』, 学事出版, 138-139,142-160, 2010年11月10日</p> <p>[著書・共著(筆頭以外)]田中健次他, 『ピアノに頼らない音楽授業』, 明治図書, 122-126,127-133, 2010年05月</p>

- [総説・解説・報告等・単著] 田中健次, 連載「耳は考える」校歌ーこの独特なる文化ー, 和歌山保険医新聞, 第二面, 2011年02月15日
- [総説・解説・報告等・単著] 田中健次, 連載「耳は考える」昨今教育事情, 和歌山保険医新聞, 第二面, 2011年01月15日
- [総説・解説・報告等・単著] 田中健次, 「解体ー日本の伝統音楽ー」, 季刊『音楽文化の創造』, **59**, 50-53, 2011年01月01日
- [総説・解説・報告等・単著] 田中健次, 「連載教材発見! 伝統音楽の指導のためにー伝統とはなにかー」, 季刊『音楽鑑賞教育』, **4**, 98-101, 2011年01月01日
- [総説・解説・報告等・単著] 田中健次, 連載「耳は考える」伝統とはなにか, 和歌山保険医新聞, 第二面, 2010年12月15日
- [総説・解説・報告等・] 田中健次, 「校歌からみえるもの」, 『常陽藝文ー特集校歌の描く世界ー』, **2010**, 10月号, 6-9, 2010年12月1日
- [総説・解説・報告等・単著] 田中健次, 連載「耳は考える」家元が伝えるものー弟子を育てるー, 和歌山保険医新聞, 第二面, 2010年11月15日
- [総説・解説・報告等・単著] 田中健次, 連載「耳は考える」家元が伝えるものー個性とはー, 和歌山保険医新聞, 第二面, 2010年10月15日
- [総説・解説・報告等・単著] 田中健次, 「連載教材発見! 日本の伝統芸能を伝承するもの」, 季刊『音楽鑑賞教育』, **3**, 68-71, 2010年10月01日
- [総説・解説・報告等・単著] 田中健次, 連載「耳は考える」真剣勝負の授業ー社会人の学びー, 和歌山保険医新聞, 第二面, 2010年09月15日
- [総説・解説・報告等・単著] 田中健次, 連載「耳は考える」アジアの学校事情, 和歌山保険医新聞, 第二面, 2010年08月15日
- [総説・解説・報告等・単著] 田中健次, 連載「耳は考える」自然な音楽療法, 和歌山保険医新聞, 第二面, 2010年07月15日
- [総説・解説・報告等・単著] 田中健次, (特集子どもと音楽の世界)「子どもたちに聴こえない歌ー放送・発売禁止歌を考える」, 月刊『小児歯科臨床』, **15**, 7, 43-51, 2010年07月01日
- [総説・解説・報告等・単著] 田中健次, 「連載:教材発見! 奥深い民謡の世界-鑑賞のための予備知識-」, 季刊『音楽鑑賞教育』, **2**, 68-71, 2010年07月01日
- [総説・解説・報告等・単著] 田中健次, 連載「耳は考える」聴こえない歌韓国の禁止歌, 和歌山保険医新聞, 第二面, 2010年06月15日
- [総説・解説・報告等・単著] 田中健次, 連載「耳は考える」聴こえない歌戦後の禁止歌, 和歌山保険医新聞, 第二面, 2010年05月15日
- [総説・解説・報告等・単著] 田中健次, 「連載教材発見! 日本音楽の指導は難しい?ー特性を逆手に取った鑑賞方法ー」, 季刊『音楽鑑賞教育』, **3**, 80-83, 2010年04月01日
- [総説・解説・報告等・単著] 田中健次, 連載「耳は考える」聴こえない歌戦前の禁止歌, 和歌山保険医新聞, 第二面, 2010年04月15日

研究業績(2)学会発表など

[招待講演・口頭発表] 田中健次, 電子楽器開発にみられる技の伝承, 楽器におけるわざ学の伝承とグローバル化, 2010年05月01日

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(学外での委員等)

財団法人音楽文化創造 生涯学習委員会[財団法人音楽文化創造](委員)

(兼業・兼職)

[その他]財団法人水戸市国際交流協会 講演講師(2011年03月06日～2011年03月06日)

[兼業]早稲田大学エクステンションセンター オープンカレッジ講師(2011年01月08日～2011年02月19日)

[公開講座]北茨城市市民大学 講師(1回二時間×5回)(2010年12月～2010年12月25日)

[非常勤講師]早稲田大学エクステンションセンター オープンカレッジ講師(2010年11月06日～2011年02月19日)

[その他]琉球大学教育学部 平成22年度「授業力向上プログラムGP-21世紀おきなわ子ども教育フォーラム」外部評価委員(2010年05月29日～)

[兼業]放送大学 非常勤講師(2007年04月01日～)

[非常勤講師]放送大学 大学院特別講師(2006年04月01日～)

[非常勤講師]国立音楽大学 非常勤講師(2006年04月01日～)

(学外教育)

[その他]「音楽教育推進協議会主催「平成22年度・前期音楽科特別講座 名古屋会場」にて特別講座(パネルディスカッション)「今、授業を考える」コーディネータ担当(08月05日:名古屋音楽大学)」
2010

[その他]「平成22年度・前期音楽科特別講座 福岡会場」にて「基調提言『今、求められる 考える音楽授業』」とそれを受けてのパネルディスカッションパネリストを担当(08月07日福岡ヤマハホール)」
2010

[その他]「音楽教育部会研修会講師「新学習指導要領と音楽授業のあり方」(友部第二中学校)」
2010

[その他]「平成22年度5年次研修講座(中学校・高等学校音楽)」講師 テーマ「音楽の授業づくり」
2010

[その他]「平成23年度教育工学学会全国大会丹波大会事前研修 ICTを活用した音楽教育のあり方」(9月27日)2010

(講演・シンポジウム等)

水戸市国際交流協会主催「講演会」水戸市国際交流協会(水戸市)招待講演 2011年03月06日講演

会講師、講演タイトル「日本音楽はアジア文化のるつぼ」

「平成 23 年度教育工学学会全国大会丹波大会事前研修」-「テーマ ICT を活用した音楽教育のあり方」(国内)兵庫県丹波市音楽教育研究会(丹波市)その他 2010 年 09 月 27 日公開授業助言、及び音楽教育における ICT 活用のあり方に関する講演

京都教育大学田中多佳子研究室科学研究費研究会(国内)招待講演 2010 年 05 月 01 日提言「楽器におけるわざ学の伝承とグローバルゼーション」にて「電子楽器開発におけるわざの伝承」

(その他地域協力活動)

茨城県教育研修センター平成 21 年度 5 年次講座(小・中・高等学校、音楽)講師 講義内容「音楽の授業づくり」(2010 年 09 月 16 日～2010 年 16 日)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(共同研究実績)

代表研究者: () 「音と癒しに関する研究動向の調査」[企業からの受託研究/100 万円/](年度不詳～)

代表研究者: () 「音楽科教育に有効性をもたらすコンピュータスペックの開発」[25 万円/](年度不詳～)

代表研究者: () 「筑後川流域における「音文化」の基礎研究」[企業からの受託研究/100 万円/](年度不詳～)

音楽教育教室

氏名 谷川 佳幸

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1964年8月
学歴・職歴	1995年03月 東京芸術大学大学院 修士課程 音楽研究科 声楽専攻 修了
学位	修士[東京芸術大学]
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	芸術音楽、声楽
教育研究概要	(キーワード)オペラ、声楽
担当科目	(教養科目)人間と文学・芸術(木・3), 人間・文化系科目 (火・5), 主題別ゼミナール (月・5) (専門科目)初等音楽科内容研究, 独唱, 独唱, 独唱, 独唱, 独唱, 独唱, 合唱, ソルフェージュII, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)地域教育資源フィールドスタディ, 授業展開ケーススタディ, 音楽文化総合研究, 音楽教育授業設計, 声楽研究, 声楽演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

(芸術系の活動・建築作品等)
オルフ 「コンチェルト・ディ・ヴォーチ」
クリスマスコンサート(町田)
クリスマスコンサート(池袋)
クリスマスコンサート(日立)
カヴァヱリ 歌劇「ラ・カリスト」
マスカニーニ 歌劇「友人フリッツ」
モーツァルト 歌劇「フィガロの結婚」
二期会アフタヌーンコンサート

谷川佳幸コンサート in 町田
ドニゼッティ 歌劇「愛の妙薬」
新宿三井ビル ランチタイムコンサート

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

美術教育教室

氏名 寺本 輝正

教員履歴など

現職	教授
生年月	1949年8月
学歴・職歴	1979年 東京芸術大学大学院 修士課程 美術研究科 漆芸専攻 修了
学位	芸術学修士
受賞歴	なし
所属学会	世界漆文化会議 大学美術教育学会 日本文化財漆協会 茨城工芸会
専門分野	美術教育
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目) 図画工作科内容研究, 工芸基礎/デザイン素材研究, 工芸 I/生活用品デザイン演習 I/生活用品デザイン演習 I, 工芸 II/生活用品デザイン演習 II, 工芸表現演習 I, 工芸表現演習 II, 生活資源プロジェクト I, 生活資源プロジェクト II, ベーシックデザイン, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 美術文化総合研究, 美術教育授業設計, 木材工芸研究, 工芸・デザイン研究, 工芸・デザイン演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

教員履歴など

現職	教授
生年月	1951年5月
学歴・職歴	1978年 東京教育大学大学院 修士課程 教育学研究科 実験心理学専攻 修了 国立特殊教育総合研究所分室研究員(1979年10月～1992年9月) 国立特殊教育総合研究所分室主任研究官(1992年10月～1999年3月) 国立特殊教育総合研究所分室長(1999年4月～2004年3月) 茨城大学教育学部教授(2004年4月～) 放送大学客員教授(2006年4月～2011年3月)
学位	教育学修士[東京教育大学] 博士(心理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本心理学会 日本発達心理学会 日本自閉症スペクトラム学会 日本特殊教育学会 日本臨床発達心理士会 日本生理心理学会 日本教育心理学会
専門分野	特別支援教育 実験心理学 臨床心理学 教育心理学
教育研究概要	<p>教育活動としては、教育学部学校教員養成課程の特別支援教育コース、養護学校教育コース、特別支援教育特別専攻科、大学院教育学研究科障害児教育専攻にかかわる心理学の分野の教員として、「障害児発達臨床学」、「発達障害児教育概論」、「障害児心理療法」、「障害児心理学研究法」、「障害児心理演習」、「障害児心理学特論」、「障害児心理学演習」等を担当し、これらのコース・専攻の学生・院生の論文指導にあたっている。研究活動としては、発達心理学・臨床心理学・認知神経科学を中心に、生物－心理－社会の統合的アプローチから、自閉症スペクトラムの探究に取り組むとともに、特別支援教育の在り方・内容・方法について研究している。具体的には、1)自閉症スペクトラムにおける感覚・感情・表情認知などに関する研究、2)心の理論(他者の考えを推測する能力)に関する研究、3)アセスメント技法の開発、4)コミュニケーション支援、5)社会性の発達(特に対人関係と自己統制力の発達と育成)、6)大脳の左右半球機能差の研究などを展開している。</p> <p>(キーワード)自閉症スペクトラム、発達障害、臨床発達心理学、認知神経科学、生物－心理－社会アプローチ、大脳の左右半球機能差、社会性の発達、心の理論</p>
担当科目	(教養科目)人間と心(金・4) (専門科目)障害児心理演習 II, 障害児発達臨床学, 感覚障害児の教育, 発達障害

	児教育概論, 障害学総合研究, 障害児心理学特論 II/障害児心理学特論 II(障害児臨床心理学), 障害児心理学演習 II, 障害児心理学特別研究 II, 障害児心理療法/発達障害児教育概論, 特別支援教育研究法, 障害児心理学演習 II, 障害児発達臨床学/障害児臨床学, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)障害学総合研究
--	--

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>[著書・共著(筆頭以外)] 東條吉邦, 臨床発達心理学の基礎(本郷一夫・金谷京子編) 発達障害, ミネルヴァ書房, 40-49, 2011 年 02 月 25 日</p> <p>[学術誌論文・共著(筆頭以外)] Akechi, H., Senju, A., Kikuchi, Y., Tojo, Y., Osanai, H., & Hasegawa, T., The effect of gaze direction on the processing of facial expressions in children with autism spectrum disorder: An ERP study., <i>Neuropsychologia</i>, 48, 2841-2851, 2010 年 08 月</p> <p>[学術誌論文・共著(筆頭以外)] Senju, A., Southgate, V., Miura, Y., Matsui, T., Hasegawa, T., Tojo, Y., Osanai, H., & Csibra, G., Absence of spontaneous action anticipation by false belief attribution in children with autism spectrum disorder., <i>Development and Psychopathology</i>, 22, 353-360, 2010 年 04 月 28 日</p> <p>[大学・研究所等紀要・共著(筆頭以外)] 加茂 聡・東條吉邦, 発達障害と不登校の関連と支援に関する現状と展望, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 59, 137-160, 2010 年 05 月</p>

研究業績(2)学会発表など

<p>[研究発表・ポスター] 菊池由葵子・明地洋典・東條吉邦・長内博雄・長谷川寿一, 自閉症児・定型発達児における顔からの注意の解放 —サッケード関連電位による検討—, 日本発達心理学会第 22 回大会, 2011 年 03 月 27 日</p> <p>[研究発表・ポスター] 明地洋典・菊池由葵子・東條吉邦・長内博雄・長谷川寿一, 自閉症児は視線を参照できるか? —アイトラッカーによる検討—(3), 日本発達心理学会第 22 回大会, 2011 年 03 月 26 日</p> <p>[研究発表・ポスター] 椎名幸由紀・館美穂子・東條吉邦, 受動タイプの自閉症児へのコミュニケーション支援, 日本特殊教育学会第 48 回大会, 2010 年 09 月 19 日</p> <p>[研究発表・ポスター] 飛田京樹・岡本功・斎藤あすか・松村多美恵・東條吉邦, PECS 支援後におけるコミュニケーション行動の変容, 日本特殊教育学会第 48 回大会, 2010 年 09 月 19 日</p> <p>[研究発表・ポスター] 岡本功・椎名幸由紀・宇野久美子・東條吉邦, 自閉症スペクトラム児のトータルコミュニケーション(2), 日本特殊教育学会第 48 回大会, 2010 年 09 月 19 日</p>
--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

<p>(兼業・兼職)</p> <p>[兼業]放送大学茨城学習センター 客員教授(2006 年 04 月 01 日～2011 年 03 月 31 日)</p>
--

[非常勤講師]放送大学 非常勤講師(2009年08月01日～2011年09月30日)

[兼業]茨城県教育委員会 茨城県特別支援教育支援体制整備事業専門家会議副委員長(2006年04月～2011年03月31日)

[兼業]水戸市教育委員会 水戸市障害児就学指導委員(2006年04月～2012年03月31日)

[非常勤講師]障害者職業総合センター 研修会講師(2004年04月～2011年03月)

(学外教育)

[公開講座]「茨城大学公開講座・実践心理教育相談講座「発達障害児と特別支援教育」」2010

[自治体での社会教育]「茨城県平成22年度教育職員免許法認定講習「LD等教育総論」」2010

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者DBにデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「自閉症児の音声受容特性に関する基礎研究-会話スキルの向上を目指して」[科研費]基盤研究(B)一般(分担)(2009年04月01日～2013年03月31日)

「特別支援教育における脳科学の活用に関する総合的研究」[科研費]基盤研究(A)一般(分担)(2008年04月01日～2012年03月31日)

「自閉症児の社会的認知に関する実験心理学的研究」[科研費]基盤研究(B)一般(分担)(2009年04月01日～2011年03月31日)

人間環境教育教室	氏名 富樫 泰一
----------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1957年4月
学歴・職歴	1983年 筑波大学大学院 修士課程 体育研究科 健康教育学専攻 修了 学校法人清真学園高等学校非常勤講師(1983年4月～1984年3月) 筑波大学研究協力部研究協力課(体育科学系担当)(1985年4月～1988年3月) 茨城大学教養部講師(1988年4月～1989年3月) 茨城大学教養部助教授(1989年4月～1996年3月) 茨城大学教育学部助教授(1996年4月～2002年12月)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本バイオメカニクス学会 日本体育学会
専門分野	スポーツ科学 応用健康科学
教育研究概要	教育活動(スポーツ医学外科領域、バイオメカニクス、健康スポーツ科目、水泳、スキー、水辺野外運動) 研究活動(水泳・水中運動の流体力学的研究) (キーワード)
担当科目	(教養科目)身体活動(金・3), 身体活動(金・1) (専門科目)初等保健体育科教育法研究, スポーツ指導法IV/水泳/アクアフィットネス, 現代人の健康(教科又は教職)/現代人の健康(人間環境), 野外運動, スキー/スポーツ指導法, 救急処置法/運動障害救急法, 基礎情報処理(高教科:工業)/情報通信ネットワーク演習/基礎情報処理(情報文化)/基礎情報処理(情報文化), スポーツ指導法, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)体育科学総合研究, 保健体育授業設計, バイオメカニクス特論, 形態学演習, 学校保健管理演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>[著書・編集]梅澤香貴, 片倉善文, 上平尚, 富樫泰一, 富永好文, 速水修, 吉田英一, 財団法人全日本スキー連盟教育本部, 日本スキー教程安全編, スキージャーナル株式会社, 2010年12月1日</p> <p>[大学・研究所等紀要・共著(筆頭以外)] 巽 申直, 富樫 泰一, 林 雅宏, 岩瀬 学, 岡嶋 恒, 剣道正面打ちにおける手のうちの作用力: 基本打ちと実践的な打ちの比較, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 60, 199-206, 2011年03月31日</p>
--

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

(審査員)

財団法人全日本スキー連盟公認スキーパトロール検定会(岐阜県・ほおのき平スキー場)

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[出前授業]茨城県教育庁 学校体育実技指導協力者派遣事業(2008年07月23日～)

[非常勤講師]筑波大学大学院人間総合科学研究科 非常勤講師(専門科目・水中安全管理実習)

(2007年10月01日～2012年03月31日)

[兼業]了徳寺大学教養教育センター 非常勤講師(体育実技・水泳)(2007年04月01日～2012年03月30日)

[非常勤講師]駿河台大学スポーツ教育センター 非常勤講師(健康スポーツ科目)(2005年04月01日～2012年03月31日)

[非常勤講師]筑波大学体育専門学郡 非常勤講師(専門基礎科目・水泳実習(臨海))(1988年04月01日～2011年07月31日)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(共同研究実績)

代表研究者:市川 浩(国立スポーツ科学センター)「センサを利用したトレーニングアシストシステムの開発(分担)」[国内共同研究/未詳/](2010年09月～2011年03月)

理科教育教室	氏名 永尾 敬一
--------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1973 年 9 月
学歴・職歴	2002 年 東京大学大学院 博士課程 総合文化研究科 広域科学専攻 相関基礎科学系 修了 高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 協力研究員(2002 年 4 月～2003 年 1 月) 高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 研究機関研究員(2003 年 1 月～2005 年 3 月) 茨城大学 教育学部 理科教育教室 助教授(2005 年 4 月～2007 年 3 月) 茨城大学 教育学部 理科教育教室 准教授(2007 年 4 月～)
学位	学術修士[東京大学] 学術博士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本物理学会
専門分野	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)コミュニケーション論 (水・2) (専門科目)初等理科内容研究, 基礎物理学, 電磁気学, 物理学演習 I (大学院科目)自然科学総合研究, 理科授業設計, 物理学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>[学術誌論文・共著(筆頭)] Keiichi Nagao, Holger Bech Nielsen, Automatic Hermiticity, Progress of Theoretical Physics, 125, 3, 633-640, 2011 年 03 月</p> <p>[国際会議論文・共著(筆頭以外)] H.B.Nielsen, N.S.Mankoc Borstnik, K.Nagao, G.Moultaka, Complex Action Functioning as Cutoff and De Broglie-Bohm Particle, Proceedings to the 13th Workshop 'What Comes Beyond the Standard Models' Bled, July 12 - 22, 2010, 211-216, 2010 年 12 月</p>
--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

--

科学研究費補助金などの受領

--

社会科学教育教室

氏名 中野 雅紀

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1963 年 5 月
学歴・職歴	1997 年 中央大学大学院 博士課程 法学研究科 公法専攻
学位	法学修士 法学修士
受賞歴	なし
所属学会	ドイツ憲法判例研究会 憲法理論研究会 憲法裁判研究会 日本公法学会 日本比較法研究所
専門分野	日本国憲法
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目) 社会と法(月・4), 日本国憲法【教養】(水・1)/日本国憲法【分野別科目】/日本国憲法【分野別科目】/日本国憲法, 日本国憲法【教養】(水・1)/日本国憲法【分野別科目】/日本国憲法 (専門科目) 憲法と社会生活, 基礎政経, 法学概論, 情報社会及び情報倫理/情報と倫理

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

情報文化教室	氏名 中村 直美
--------	----------

教員履歴など

現 職	講 師
生年月	1948年1月
学歴・職歴	1974年 東北大学大学院 博士課程 理学研究科 生物学専攻 中退 茨城大学教育学部教務職員(1975年1月～1999年3月) 茨城大学教育学部講師(1999年4月～)
学位	理学博士[東北大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育工学会 日本植物分類学会 日本植物学会 日本科学教育学会 種生物学会
専門分野	植物分類 科学教育 教育工学
教育研究概要	(キーワード)茨城県の花のフロラ、生物教育、教科書の中の生物、デジタル検索、植物関連ソフト
担当科目	(教養科目)情報処理概論(火・2), コミュニケーション論(集中), 主題別ゼミナール(金・1) (専門科目)保育内容の研究(環境), データベース入門/データベース演習, プログラミング入門, 課題図書講読 I【旧情報文化課程】, 課題図書講読 II【旧情報文化課程】, 課題図書講読 III【旧情報文化課程】, 課題図書講読 IV【旧情報文化課程】, 子どもと自然 I/子どもと自然, 子どもと自然 II, 課題図書講読 III【旧情報文化課程】, 課題図書講読 IV【旧情報文化課程】, 課題図書講読 I, 課題図書講読 II, 課題図書講読 III, 生活資源プロジェクト I, 生活資源プロジェクト II, 折り紙から考える生物, 卒業研究(教育:4単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(学外での委員等)

茨城県自然環境保全審議会[茨城県]()

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

英語教育教室

氏名 竝木 崇康

教員履歴など

現職	教授
生年月	1950年1月
学歴・職歴	1976年03月 東京教育大学大学院 博士課程 文学研究科 英語学専攻 中退 教育学部助手(1976年4月～1978年3月) 教育学部講師(1978年4月～1984年9月) フルブライト若手研究員として、アメリカのマサチューセッツ州立大学アマースト校に出張、言語学特に英語形態論の研究に従事(1982年8月～1983年8月) 教育学部助教授(1984年10月～1995年3月) 大学院教育学研究科助教授(1990年4月～1995年3月) 教育学部教授 大学院教育学研究科教授(1995年4月～) 文部省在外研究員としてアメリカのマサチューセッツ州立大学アマースト校に出張、言語学特に英語と日本語の形態論の研究に従事(1997年3月～1998年1月)
学位	文学修士[東京教育大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	The Linguistic Society of America 大塚英文学会 日本英語学会 Morphology and Lexicon Forum
専門分野	語形成 語彙 形態論 英語学 日本語学
教育研究概要	(キーワード) 語形成、形態論、語彙論、複合語、語の構造、複合語の意味解釈
担当科目	(教養科目) 総合英語(学術), 主題別ゼミナール (水・1) (専門科目) 英語学概論 I, 英語学概論 II, 英文法, 英語学演習 I, 英語学演習 II, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 言語と文化総合研究, 英語科授業設計, 英語学特論 I(生成文法理論研究), 英語学演習 I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[学術誌論文・単著] Takayasu Namiki, Morphological variation in Japanese compounds: The case of hoodai and the notion of "compound-specific submeaning", *Lingua*, **120**, 10, 2367-2387, 2010年09月

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[非常勤講師] 東京大学大学院人文社会系研究科 非常勤講師(2010年09月13日～2010年09月17日)

[非常勤講師] 茨城キリスト教大学 非常勤講師(1998年04月01日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「日本語を活用した体験型小学校英語活動教員研修プログラムの開発」[科研費]基盤研究(C)一般(分担)(2009年04月01日～2011年03月31日)

(共同研究実績)

代表研究者: () 「自然言語処理の高度化に向けて」[国内共同研究/未詳/](年度不詳～)

代表研究者: () 「言語習得理論にもとづく英文法総合研究」[国内共同研究/未詳/](年度不詳～)

代表研究者: 影山太郎(人間文化研究機構 国立国語研究所長)「日本語レキシコンの文法的・意味的・形態的特性(分担)」[国内共同研究/未詳/](2010年04月～)

家政教育教室	氏名 西川 陽子
--------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1969 年 4 月
学歴・職歴	1998 年 お茶の水女子大学大学院 博士課程 人間文化研究科 人間環境学専攻 (食物科学) 修了 お茶の水女子大学大学院人間環境学 助手(1998 年 4 月～2001 年 3 月) ースウェスタンリザーブ大学, Dr.Monnier 研究室(アメリカ合衆国,オハイオ州, クーブラント) 博士 研究員(2001 年 4 月～2002 年 3 月) 茨城大学 教育学部 家政教育 助教授(2002 年 4 月～)
学位	学術博士[お茶の水女子大学]
受賞歴	なし
所属学会	社)日本農芸化学会 日本ビタミン学会 (社)日本家政学会 日本調理科学会
専門分野	食品科学 科学教育 食生活学
教育研究概要	・アスコルビン酸の in vitro における分解反応機構の解明 ・生体内メイラード反応に おけるアスコルビン酸の作用機序の解明 ・糖尿病時におけるアスコルビン酸の代謝 について ・食習慣が及ぼす健康への影響と食教育のあり方 (キーワード)アスコルビン酸, 食品化学, 食教育
担当科目	(教養科目)コミュニケーション論 (水・2) (専門科目)中等家庭科内容研究, 食生活と健康【全教科】, 初等家庭科内容研究, 栄養学/栄養学《食物学》/栄養学/栄養学/栄養学/栄養学, 食物科学入門, 食品衛 生管理学, 食生活論, 食物学演習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)地域教育資源フィールドスタディ, 授業展開ケーススタディ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭)] 星さやか, 西川陽子, 小学生の着実な調理技能習得に向けての
教育方法の検討 ― 包丁技能を中心に ―, 茨城大学教育実践研究, **29**, 111-120, 2010 年 12 月
01 日

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭)] 西川 陽子, 栗林 愛美, 加工法の異なるリンゴジュースにおける
保蔵中のアスコルビン酸動態について, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), **60**, 87-96, 2011 年 03 月

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(学外での委員等)

いばらきデザインセレクション[茨城県庁商工労働部産業技術課](審査委員)

茨城キリスト教大学倫理審査委員会[茨城キリスト教大学](委員)

(兼業・兼職)

[非常勤講師]茨城キリスト教大学 講師(2007年04月01日～)

[その他]茨城キリスト教大学 倫理審査委員会委員(2006年07月01日～)

(学外教育)

[自治体での社会教育]「平成22年度 農商工連携等人材育成事業研修」2010

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「食教育を現在の学校教育に定着させるための教育方法の検討」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)

(2008年04月01日～2011年03月31日)

(共同研究実績)

代表研究者: () 「・流通及び保蔵中における食品中ビタミンCの動態に関する研究」[その他/未詳/0人](年度不詳～)

数学教育教室

氏名 根本 博

教員履歴など

現職	教授
生年月	1950年10月
学歴・職歴	1981年03月 筑波大学大学院 博士後期課程 教育学研究科 数学教育学専攻 修了 文部科学省(旧文部省)(1991年4月～2006年3月)
学位	教育学修士[東京教育大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	日本数学教育学会 科学教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	現今の社会における子どもたちの数学学習の状況と変化を見定め、未来社会に生きる子どもの知力を確かなものとする数学教育の在り方について述べている。 (キーワード) 数学教育学 数学科教育課程論 認知科学
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール (火・1) (専門科目) 総合演習, 算数科教育法研究, 算数科教育法研究, 算数科教育法特講 II, 数学科教育法研究 I, 数学科教育法研究 II, 数学科教育法演習 I, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 地域教育資源フィールドスタディ, 授業展開ケーススタディ, 数学総合研究, 数学科教育授業設計, 数学科教育学特論 I, 数学科教育学演習 I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

情報文化教室	氏名 野崎 英明
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1960年7月
学歴・職歴	1985年 東北大学大学院 修士課程 工学研究科 機械工学第二専攻 修了
学位	工学修士[東北大学] 博士(工学)[茨城大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本機械学会 日本産業技術教育学会 日本金属学会 日本鉄鋼協会
専門分野	機械材料・材料力学 教科教育学
教育研究概要	(1) 不均質材料のマイクロメカニクス 複合材料のフィラーや金属中の析出物等の不均質物の形状が周辺の応力分布, および材料の全体特性に及ぼす影響について理論的・数値的に解析する。(2) 中学校技術科教材に関する研究
	(キーワード)
担当科目	(教養科目) 情報処理概論 (木・5) (専門科目) 製図Ⅱ, 基礎金属加工, 金属加工の基礎技術, 金属加工の応用技術, 金属加工学, 金属加工演習, 情報技術の基礎, 構造力学, シミュレーション技法, 建築材料学基礎, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 技術と生活総合研究, 技術科授業設計, 金属工学特論

研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭)] 野崎英明, 本橋諭, 上野耕史, 竹野英敏, 「はりの曲げ」を理解するための教材の提案とその理論的検証, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 60, 63-72, 2011年03月

研究業績(2) 学会発表など

野崎英明, 本橋諭, 「はりの曲げ」を理解するための教材の開発, 日本産業技術教育学会第22回関東支部大会(群馬)講演論文集, 61-62, 2010年11月

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[兼業] 東京書籍株式会社 教科書編集委員 (2010年04月01日～2011年03月31日)

(学協会活動・研究会活動)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

国語教育教室	氏名 橋浦 洋志
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1949年11月
学歴・職歴	1976年 東北大学大学院 修士課程 文学研究科 日本近代文学専攻 修了
学位	修士(文学)[東北大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本文芸研究会 日本現代詩研究者国際ネットワーク 日本近代文学会
専門分野	日本近代文学
教育研究概要	特に「北村透谷」「夏目漱石」「芥川龍之介」を中心に、方法の問題と詩精神との関わりについて考察すると同時に、近現代詩についての批評活動を行う。 (キーワード)小説及び詩の方法の問題を作品構造の分析を中心に考察する。
担当科目	(教養科目)コミュニケーション論 (水・2) (専門科目)保育内容の研究(言葉), 初等国語科内容研究, 初等国語科内容研究, 国文学史, 近・現代散文研究 I, 近・現代散文研究 II, 近・現代韻文演習 I, 児童文学研究法 I(中教科:国語)/児童文学研究法 I(児童情報), 児童文学研究法 II(中教科:国語)/児童文学研究法 II(児童情報), 国語教育実践研究, 現代文化批評, 教職のためのパブリックスピーキング, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)地域教育資源フィールドスタディ, 授業展開ケーススタディ, 言語文化総合研究, 国語教育授業設計, 近代文学特論, 現代文学研究 II(詩歌)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[大学・研究所等紀要・単著] 橋浦洋志, 「女・性」の収奪—近代日本の詩学—, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術), 60, 1-12, 2011年03月31日

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[兼業]全労済 小学生作品コンクール・作文の部 審査委員長(茨城県)(2007年01月～)

[兼業]全労済 小学生作品コンクール・作文の部 審査委員長(茨城県)(2006年01月～)

[出前授業]茨城県立佐竹高等学校 (2005年03月15日～)

[その他]全労済 小学生作品コンクール・作文の部 審査委員長(茨城県)(2005年01月～)
(報道出演・資料(DB等)提供)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇批評」(2011年03月20日)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇批評」(2011年03月06日)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇批評」(2011年02月20日)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇」(2011年02月06日)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇」(2011年01月23日)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇批評」(2011年01月01日)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇批評」(2010年12月19日)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇批評」(2010年12月07日)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇批評」(2010年11月21日)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇批評」(2010年11月07日)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇批評」(2010年10月24日)

[新聞]茨委新聞「茨城詩壇批評」(2010年10月10日)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇批評」(2010年09月26日)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇批評」(2010年09月12日)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇批評」(2010年08月29日)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇批評」(2010年08月15日)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇批評」(2010年08月01日)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇批評」(2010年07月18日)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇批評」(2010年07月04日)

[新聞]茨城新聞「」(2010年06月06日)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇批評」(2010年05月23日)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇批評」(2010年05月09日)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇不評」(2010年04月25日)

[新聞]茨城新聞「茨城詩壇批評」(2010年04月11日)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「モバイル端末とホームページを活用した「野外観察データ共有システム」の開発」[科研費]基盤研究
(C)一般(代表)(2009年04月01日～2011年03月31日)

社会科教育教室

氏名 早川 唯弘

教員履歴など

現職	特任教授
生年月	1944年10月
学歴・職歴	1974年 東京教育大学大学院 博士課程 理学研究科 地理学専攻
学位	理学博士 理学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本地形学連合 日本地理学会 日本火山学会 日本第四紀学会 茨城地理学会
専門分野	自然地理学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)自然地理学I/地形学I, 自然地理学II, 地誌学IV, 地理学研究法, 自然地理学演習(4単位), 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)社会・文化総合研究, 社会科授業設計, 地誌学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1961年11月
学歴・職歴	1987年 早稲田大学大学院 修士課程 文学研究科 心理学専攻 修了
学位	修士(文学)
受賞歴	なし
所属学会	日本リハビリテーション工学協会 日本教育心理学会 日本理科教育学会 日本発達心理学会 日本社会臨床学会
専門分野	社会福祉 社会臨床論
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目) 情報処理概論 (火・2), 主題別ゼミナール (金・1), 情報文化基礎演習 (集中) (専門科目) サウンド処理 (初級), 情報文化広報プロジェクト, 情報文化広報プロジェクト, 映像工房プロジェクト, 映像工房プロジェクト, 子ども時間プロジェクト, 課題図書講読 I【旧情報文化課程】, 課題図書講読 II【旧情報文化課程】, 課題図書講読 III【旧情報文化課程】, 課題図書講読 IV【旧情報文化課程】, 特別演習 I, 特別演習 II, 児童情報研究法 I/統計の初歩, 社会臨床演習 II-a/社会臨床演習 I, 社会臨床演習 II-b/社会臨床演習 II, 課題図書講読 III【旧情報文化課程】, 課題図書講読 IV【旧情報文化課程】, サウンド処理 (初級), ウェブ制作 (初級), ウェブ制作 (初級), 課題図書講読 I, 課題図書講読 II, 課題図書講読 III, 情報文化広報プロジェクト I, 情報文化広報プロジェクト II, 映像工房プロジェクト I, 映像工房プロジェクト II, 子ども時間プロジェクト I, 子ども時間プロジェクト II, 特別演習 I, 特別演習 II, 卒業研究 (教育: 4単位)

研究業績 (1) 論文・著書・翻訳など

[大学・研究所等紀要・単著] 林延哉, 立絵紙芝居制作のための覚書, 茨城大学教育学部紀要 (人文・社会科学・芸術), **60**, 99-110, 2011年

[大学・研究所等紀要・単著] 林延哉, 若年化する名探偵, 茨城大学教育学部紀要 (人文・社会科学・芸術), **95**, 2010年

[学術誌論文・単著] 林延哉, 『野いちご』に希望はあるか?山下恒男、エリクソンとともにあらためて『野いちご』を観る?, 社会臨床雑誌, **18**, 2, 132-143, 2010年10月17日

[その他・単著] 林延哉, 『関係の原像を描く』を読む, ゆきわたり (子供問題研究会機関誌), 423, 19-23, 2010年07月20日

[学術誌論文・単著] 林延哉, 「企業社会と心理学」におけるロジャーズ批判を検討する, 社会臨床雑誌, **18**, 1, 66-88, 2010年04月4日

[その他・単著] 林延哉, 非日常的な時空間の中で演出される当たり前な関係?『あおべウオ? ッズ』?, 社会臨床雑誌, **18**, 1, 138-141, 2010年04月4日

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(その他地域協力活動)

千葉県立中央博物館千葉県立中央博物館作成の野草カードのウェブ化への協力。(年度不詳～)
誉田養徳園オレンジリボン啓発イベントへの協力(2011)

海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

教育保健教室	氏名 廣原 紀恵
--------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1957年6月
学歴・職歴	2000年03月 茨城大学大学院 修士課程 教育学研究科 専攻 修了 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門看護学講座(2008年4月～2011年3月) 茨城大学教育学部(2011年4月～)
学位	教育学修士[茨城大学]
受賞歴	「第8回大会優秀研究論文」2010年3月(発育発達学会)
所属学会	日本学校保健学会 日本思春期学会 日本養護教諭教育学会 中国・四国学校保健学会 中国・四国小児保健学会 日本人類学会 日本公衆衛生学会 日本小児保健学会 日本教育カウンセリング学会 日本発育発達学会 日本看護研究学会
専門分野	学校看護学 学校保健
教育研究概要	学童期・思春期の発育発達過程に関する研究 学校看護学の教育方法に関する研究 (キーワード) 身長 体重 座高 学校看護 救急処置
担当科目	学校看護学概論 学校救急看護 学校救急看護実習 学校看護学実習 学校救急看護演習Ⅰ 学校救急看護演習Ⅱ 学校救急看護学特論 学校救急看護学演習 臨床医学・看護学実習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>[著書・共著(筆頭以外)]津島ひろ江、荒木田美香子、池添志乃、藤本比登美、廣原紀恵、他12名、学校における養護活動の展開、ふくろう出版、2010年04月3日</p> <p>[学術誌論文・共著(筆頭以外)]Kikuko Okuda, Maiko Manabe, Ogura Kazuya, Toshie Hirohara and Yoshiko Gogi、Relationship between knowledge of diabetes and eating habits among high school students in Japan, Journal of Shikoku Public Health Society, 56, , 71-78, 2011年02月</p> <p>[学術誌論文・共著(筆頭)]廣原 紀恵、男子高校生の性意識調査について、国際ナショナル Nursing Care Research, 9,1, 115-124, 2010年</p> <p>廣原紀恵 本橋紀子、男子高校生のパソコン又は携帯電話によるインターネットと電子メールの利用について -A 県の工業高校生における調査より-、四国公衆衛生学会雑誌, 56, 1, 151-157 , 2011年02月4日</p> <p>[学術誌論文・共著(筆頭以外)]郷木 義子,奥田 紀久子,廣原 紀恵,藪内 亜紀,知的障害のある子ども</p>

もを持つ母親の思い— これまでの生活と将来への思いを中心に, インターナショナル Nursing Care Research, 9, 4, 63-72, 2010 年

奥田 紀久子, 古川 薫, 廣原 紀恵, 郷木 義子, 幼少時期の傷病時に家族から受けた手当での記憶と知識について, インターナショナル Nursing Care Research, 10, 1, 93~100, 2011 年.

森脇智秋, 廣原 紀恵, 郷木 義子, 中学校における性教育内容に関する検討 -助産師に求める性教育内容- インターナショナル Nursing Care 9, 3, 63-72 2010

大久保智恵, 廣原 紀恵, 奥田 紀久子, 郷木 義子, 秀島千晴, 児童・生徒の健康問題の変化と養護教諭の役割-A 県の養護教諭対象調査より- 教育保健研究, 16, 1, 71-76 2010

廣原 紀恵, 奥田 紀久子, 郷木 義子, 看護系大学生と養護教諭要請短期大学生の養護教諭イメージと養護教諭の職務内容に関する認識 教育保健研究, 16, 1, 21-29

廣原 紀恵, 男子高校生の性意識調査について インターナショナル Nursing Care Research, 9, 1, 115-124

[学術誌論文・共著(筆頭以外)]

研究業績(2)学会発表など

安原 由子, 岩佐 幸恵, 關戸 啓子, 谷岡 哲也, 奥田 紀久子, 廣原 紀恵, 芝崎 恵, 岡久 玲子, 岸田 佐智: 基礎看護学臨地実習前後の看護学生のストレス変化, 日本看護研究学会中国・四国地方会 第24回学術集会抄録集, 85 頁, 2011 年 3 月.

二宮 恒夫, 芝崎 恵, 谷 洋江, 橋本 浩子, 郷木 義子, 廣原 紀恵, 板東 孝枝, 奥田 紀久子, 岸田 佐智: 高校生の授業参加と理解度, 授業評価, 平成 22 年度全学 FD 大学教育カンファレンス in 徳島. 2011.1.21., 2011 年 1 月.

棟方 百熊, 中瀬 勝則, 奥田 紀久子, 廣原 紀恵, 青木 圭子, 中村 真由美, 藤井 智恵子, 大塚 明廣, 山田 進一, 佐藤 純子, 近藤 和也, 郷木 義子: 高校生の喫煙に関する認識に対する家族の影響, 第 5 回日本禁煙科学学会学術総会, 2010 年 11 月.

奥田 紀久子, 青木 圭子, 中村 真由美, 棟方 百熊, 藤井 智恵子, 廣原 紀恵, 大塚 明廣, 中瀬 勝則, 山田 進一, 佐藤 純子, 近藤 和也, 郷木 義子: 徳島県の小・中・高等学校等における防煙教育および防煙対策の実態, 第 5 回日本禁煙科学学会学術総会, 2010 年 11 月.

廣原 紀恵, 奥田 紀久子, 青木 圭子, 中村 真由美, 山田 進一, 中瀬 勝則, 郷木 義子, 藤井 智恵子, 棟方 百熊, 近藤 和也: 小学生への防煙教育の効果及び家族の喫煙に関する実態調査, 第 5 回日本禁煙科学学会学術総会, 2010 年 11 月.

奥田 紀久子, 郷木 義子, 棟方 百熊, 廣原 紀恵, 西岡 かおり: 大学生の性行動と「STD 予防行動に関与する意識」及び「信頼感」との関連, 学校保健学会, 2010 年 11 月.

郷木 義子, 奥田 紀久子, 廣原 紀恵: 大学生の性行動及び性感染症に関する知識の実態と自尊感情との関連, 学校保健学会, , 2010 年 11 月.

廣原紀恵, 服部恒明, 佐竹隆 女子の身体プロポーションの年齢的变化に関する縦断的研究 学校保健学会, , 2010 年 11 月.

廣原 紀恵, 奥田 紀久子, 郷木 義子 : 高校生男女のやせ願望とダイエットについて, 第 6 回中国四国思春期学会, 2010 年 7 月.

森脇 智秋, 郷木 義子, 廣原 紀恵 : 中学生が助産師に求める性教育に関する内容検討, 第 6 回中国四国思春期学会, 2010 年 7 月.

佐竹 隆, 廣原 紀恵, 服部 恒明 : 身体プロポーションの年齢的变化, 日本発育発達学会, 2010 年 3 月.

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

音楽教育教室	氏名 藤田 文子
--------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1957 年 9 月
学歴・職歴	1995 年 筑波大学大学院 博士課程 教育研究科 教育基礎学専攻 単位取得満期退学
学位	博士[常磐大学]
受賞歴	なし
所属学会	教育史学会 教育哲学会 教育実践学会 日本教育学会 日本教育方法学会 日本音楽教育学会 音楽教育史学会
専門分野	音楽科教育 教育学
教育研究概要	(キーワード)フレーベルの音楽教育思想、小・中学校の音楽科教育、教員養成大学における音楽科教育の授業研究、フレーベルの教育思想
担当科目	(教養科目)人間と文学・芸術/合唱 (金・4), 主題別ゼミナール (月・5) (専門科目)初等音楽科教育法研究, 初等音楽科教育法研究, 音楽科教育法研究 III, 初等音楽科内容研究, 独唱, 独唱, 独唱, 独唱, 音楽教育特別演習 III, 音楽教育特別演習 IV (大学院科目)音楽文化総合研究, 音楽教育授業設計, 音楽科教育学演習, 音楽科教育学特論 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>[大学・研究所等紀要・共著(筆頭以外)]三次摂子, 藤田文子, 小学校における地域教材を生かした歌唱活動の調査研究 ―野口雨情を中心に―, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 60, 41-52, 2011 年 03 月 31 日</p> <p>[大学・研究所等紀要・共著(筆頭以外)]三次摂子, 藤田文子, コーネリウス・L・リードのベル・カント唱法の音楽科教育導入に関する考察, 茨城大学教育実践研究, 29, 59-69, 2010 年 11 月</p>

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[その他] 県教連 助言者(2006年10月～)

[兼業] 常磐大学 非常勤講師(2005年04月03日～)

(学協会活動・研究会活動)

茨城大学教育学部附属小学校平成23年度 公開授業研究会[共同研究者](2011年01月28日～2011年01月28日)

茨城大学教育学部附属中学校平成22年度 第2回公開授業研究会[共同研究者](2010年12月08日～2010年12月08日)

教育実践学会常任理事(2006年10月～)

教育実践学会理事(2001年06月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(共同研究実績)

代表研究者: () 「「市民革命と近代公教育の成立に関する基礎的研究」(概要: 松島鈞(大正大学教授)を代表者に、市民革命と近代公教育の成立に関する基礎的研究を行った。「F. フレーベルの運動遊戯と「幼稚園禁令」を平成元・2年度科学研究費補助金一般研究(B)研究成果報告書に掲載した。)[未詳/](1991年03月～)

附属教育実践総合センター

氏名 本田 敏明

教員履歴など

現職	教授
生年月	1951年4月
学歴・職歴	1981年 広島大学大学院 博士課程 教育学研究科 教育方法学専攻
学位	教育学修士
受賞歴	なし
所属学会	情報科教育学会 教育システム情報学会 日本教育工学会 日本教育方法学会
専門分野	教育方法学 教育工学
教育研究概要	(キーワード)教育工学 情報教育 教育方法 教授学 ラーニングエコロジー e-ペダゴジー
担当科目	(教養科目)情報処理概論 (木・5) (専門科目)情報科教育法 II, コンピュータプレゼンテーション技法, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)教授学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(学協会活動・研究会活動)

日本情報教育開発協議会 e-Pedagogy 委員会[副会長・e-Pedagogy 委員会委員長](2003年04月01日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

理科教育教室	氏名 牧野 泰彦
--------	----------

教員履歴など

現 職	特任教授
生年月	1945 年 2 月
学歴・職歴	1974 年 東京教育大学大学院 博士課程 理学研究科 地質学鉱物学専攻 修了
学位	理学博士[東京教育大学] 理学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本堆積学会 国際堆積学協会(International Association of Sedimentologists) アメリカ堆積学会(Society for Sedimentary Geology) 日本地質学会 アメリカ地質学会 (Geological Society of America) 日本地学教育学会
専門分野	地質学, 堆積学
教育研究概要	<p>研究目的は, 野外調査を基礎にして、現世のさまざまな環境下における堆積物の性質、堆積作用および地層の形成過程に関する研究活動を行っています。具体的な調査対象は, 現世の河川では, 那珂川, 久慈川およびその支流里川, 台地を刻んでいる河川, さらに静岡県安倍川など, 大洗や阿字ヶ浦の海浜, 干潟では有明海や諫早湾の干潟, 房総半島一の宮川の河口干潟などが挙げられる。</p> <p>(キーワード)さまざまな自然環境における微地形や堆積作用を調査し、地層の形成過程を検討する。茨城県下の河川を中心に河川地形やその堆積作用を解析する。</p>
担当科目	<p>(教養科目)コミュニケーション論 (水・2), 主題別ゼミナール (水・1)</p> <p>(専門科目)初等理科内容研究, 基礎地学, 地質学, 地学演習, 地学実験A, 地学野外実習, 環境科学総論, 卒業研究(教育:4単位)</p> <p>(大学院科目)自然科学総合研究, 理科授業設計, 地学特論, 地学特別実験</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

国語教育教室	氏名 増子 和男
--------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1953 年 10 月
学歴・職歴	<p>1978 年 03 月 早稲田大学大学院 博士前期課程 文学研究科 中国文学専攻 修了 早稲田大学 第一文学部 非常勤講師(1989 年 4 月～1991 年 3 月) 鶴見大学 文学部 非常勤講師(1990 年 4 月～1991 年 3 月) 梅光女学院大学 文学部 専任講師(1991 年 4 月～1995 年 3 月) 九州国際大学 経済学部 非常勤講師兼任(1994 年 4 月～1999 年 3 月) 梅光女学院大学 文学部 助教授(1995 年 4 月～2001 年 3 月) 梅光学院大学 大学院文学研究科 講師兼任(2001 年 4 月～2002 年 3 月) 梅光学院大学 文学部教授(2001 年 4 月～2008 年 3 月) 東亜大学 総合人間・文化学部 非常勤講師兼任(2002 年 4 月～2004 年 3 月) 梅光学院大学 大学院文学研究科 教授併任(2002 年 4 月～2008 年 3 月) 山口大学 非常勤講師兼任(2007 年 4 月～2008 年 3 月) 台湾輔仁大学 大学院講師兼任(集中講義)(2008 年 2 月～2008 年 2 月) 茨城大学 教育学部教授(2008 年 4 月～) 早稲田大学 文学学術院(大学院文学研究科・文化構想学部)非常勤講師兼任 (2011 年 4 月～)</p>
学位	文学修士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本中国学会 全国漢文教育学会 和漢比較文学会 中唐文学会 早稲田大学中国文学会 中国詩文研究会 中国古典学会 日本詩経学会 日本聞一多学会
専門分野	各国文学・文学論
教育研究概要	<p>文言で書かれた小説に現れた用語の来源と、用語に対してそれらの小説が執筆された当時の人々が共有した思いを探っている。また、関わりの深い日中両国の怪異譚を比較することによって、その受容と変容、その背景となった人々の思いを探っている。</p> <p>(キーワード)六朝志怪、唐代伝奇、日中怪異譚比較</p>
担当科目	<p>(教養科目)人間と文学・芸術(金・4)/文学【分野別科目】 (専門科目)漢文学基礎, 漢文学概論, 漢文学演習 I, 漢文学演習 II, 漢文学研究法 I, 漢文学研究法 II, 国語教育実践研究, 卒業研究(教育:4 単位)</p>

(大学院科目)言語文化総合研究, 国語教育授業設計, 漢文学特論, 漢文学研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[学術誌論文・単著] 増子 和男, 獺怪異譚の盛衰をめぐって(中), 中国詩文論叢, 29, 113-121,
2010年12月31日

[国際会議論文・単著] 増子 和男, 獺怪異譚を語り継ぐ者—泉鏡花を中心として—, 2010 和漢比較
文学研究会 論文集 国立台湾大学日本語文学系・和漢比較文学会, 1, 1, 143-147, 2010年10月

研究業績(2)学会発表など

[研究発表・口頭発表] 増子 和男, 獺怪異譚を語り継ぐ者—泉鏡花を中心として—, 和漢比較文学
会・国立台湾大学共催特別例会(特別研究発表会), 2010年09月03日

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

理科教育教室	氏名 松川 覚
--------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1969年11月
学歴・職歴	1997年 東京工業大学大学院 博士課程 理工学研究科 化学工学専攻 千葉大学 助手(1997年4月～2001年3月) 茨城大学教育学部 助教授(2001年4月～)
学位	博士(工学)[東京工業大学]
受賞歴	なし
所属学会	アメリカ化学会 日本化学会 有機合成化学協会 理科教育学会
専門分野	有機化学 科学教育 環境科学 教科教育学
教育研究概要	教育学部における化学分野の研究を主として行っています。合成有機化学をはじめとする基礎化学研究・大学化学教育における新しい取り組み・初等・中等化学教育における新規な教材開発等、教育学部ユニークの化学研究を目指している。 (キーワード)有機合成化学 化学教育 科学教育
担当科目	(教養科目)身近な化学(火・4), 化学【実験基礎】, 主題別ゼミナール(水・1) (専門科目)化学実験指導法, 初等理科内容研究, 初等理科内容研究, 無機化学, 基礎化学(中教科:理科)/基礎化学(環境コース), 有機化学, 環境化学, 有機化学演習, 化学演習, 化学実験I, 化学実験II, 環境科学総論, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)地域教育資源フィールドスタディ, 授業展開ケーススタディ, 自然科学総合研究, 理科授業設計, 化学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

人間環境教育教室	氏名 松坂 晃
----------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1953年4月
学歴・職歴	1979年 筑波大学大学院 修士課程 体育研究科 健康教育学専攻 修了 筑波大学体育科学系文部技官(1979年4月～1984年3月) 茨城大学教養部講師(1986年4月～1987年3月) 茨城大学教養部助教授(1987年4月～1996年3月) 茨城大学教育学部助教授(1996年4月～2000年3月) 茨城大学教育学部教授(2000年4月～)
学位	体育学修士
受賞歴	なし
所属学会	American College of Sports Medicine North American Society of Pediatric Exercise Medicine 日本体力医学会 日本体育学会 日本栄養改善学会 日本肥満学会
専門分野	応用健康科学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)身体活動 (月・2), 身体活動 (水・1), コミュニケーション論 (水・2) (専門科目)総合演習, 初等保健体育科教育法研究, 現代人の健康(教科又は教職)/現代人の健康(人間環境), 運動生理学, 運動処方論, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)養護学総合研究, 健康生理学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

障害児教育教室	氏名 松村 多美恵
---------	-----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1947年11月
学歴・職歴	1975年 東京教育大学大学院 博士課程 教育学研究科 特殊教育専攻 単位取得満期退学 茨城大学教育学部講師(1975年4月～1981年3月) 茨城大学教育学部助教授(1981年4月～1986年9月) 茨城大学教育学部教授(1986年10月～) 放送大学客員教授(2001年4月～2006年3月) 茨城大学教育学部附属養護学校校長(2003年4月～2006年3月)
学位	教育学博士[東京教育大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本LD学会 日本心理学会 日本教育心理学会 日本特殊教育学会 日本発達心理学会
専門分野	特別支援教育 教育心理学
教育研究概要	知的障害児の認知能力 (キーワード)知的障害児、認知的能力、記憶、言語
担当科目	(教養科目)人間と心(金・4), コミュニケーション論 (水・2) (専門科目)知的障害児の心理, 障害児心理演習 I, 障害児心理診断法, 障害児心理学特論 I/障害児心理学特論 I(障害児認知心理学), 障害児心理学演習 I, 障害児心理学特別研究 I, 知的障害児の心理学/知的障害児の心理, 障害児心理学演習 I, 障害児心理診断法, 感覚障害児の教育, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)障害学総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭以外)] 檜山幸恵、松村多美恵, 特別支援学校のセンター的機能における地域支援 ―I県を中心として―, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 59, 119-135, 2011年03月

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭以外)] 鈴木恵理、松村多美恵, 知的障害児における描写能力の発達, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 59, 109-117, 2011年03月

研究業績(2)学会発表など

[研究発表・口頭発表] 飛田京樹・岡本功・斎藤あすか・松村多美恵・東條吉邦, ECS支援後におけるコミュニケーション行動の変容, 日本特殊教育学会第48回大会, 2010年09月19日

[研究発表・ポスター] 豊田響子・岡本功・館美穂子・松村多美恵, @Sムーブメントが自閉症児のコミュニケーションに及ぼす影響, 日本特殊教育学会第48回大会, 2010年09月19日

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(学外での委員等)

茨城県障害者施策推進協議会委員[]()

科学研究費委員会専門委員[]()

茨城県立勝田養護学校学校評議員[]()

茨城県立友部病院事故調査委員会委員[]()

水戸市障害者施策推進協議会委員[]()

水戸市中心身障害児療育指導委員会[]()

(兼業・兼職)

[兼業]茨城県教育委員会(10年経験者研修講座)(2010年08月23日～2010年08月23日)

[兼業]茨城県教育委員会(教育職員免許法認定講習)(2010年08月11日～2010年08月11日)

(学協会活動・研究会活動)

地域の発達障害児支援検討会(2005年08月30日～)

(その他地域協力活動)

地域の幼稚園・学校教員発達障害児の支援方法検討会(2005年08月30日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者DBにデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

音楽教育教室

氏名 松本 日之春

教員履歴など

現 職	特任教授
生年月	1945 年 11 月
学歴・職歴	(データなし)
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

人間環境教育教室	氏名 丸山 広人
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1972 年 4 月
学歴・職歴	2003 年 東京大学大学院 博士課程 教育学研究科 専攻 単位取得満期退学 東京大学大学院教育学研究科助手(2003 年 4 月～2005 年 6 月) 茨城大学教育学部助教授(2005 年 7 月～)
学位	修士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本コミュニティ心理学会 日本学生相談学会 日本心理臨床学会 日本教育心理学会
専門分野	教育心理学 臨床心理学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と心(金・4) (専門科目)人間教育の心理学(教職共通)/人間教育の心理学[人環用教職], 人間教育の心理学(教職共通), 総合演習, 心理特別演習 I, 心理特別演習 II, コミュニティー心理学(環境コース)/コミュニティ心理学(心理コース), 健康心理学, 心理学史, 心理学実験, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)教育心理学特論, 学校心理学研究法特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭以外)] 相田清美・丸山広人, 中学校教師は生徒の悩みをどのように聴くのか:生徒の対人関係上の問題を中心に, 茨城大学教育学部紀要, 60 , 119-134, 2011 年
[大学・研究所等紀要・共著(筆頭以外)] 深谷佳子, 丸山広人, 教育困難校におけるグループ・ワークに関するアクションリサーチ:第一次予防の観点から, 茨城大学教育実践研究, 29 , 255-269, 2010 年

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

[兼業]茨城県教育委員会 講師(2007年11月19日～)
[出前授業]茨城県立緑岡高等学校 講師(2007年11月19日～)
[兼業]茨城県教育研究連盟 助言者(2007年10月13日～)
[出前授業]茨城県立鉾田第二高等学校 講師(2007年09月19日～)
[兼業]茨城県笠間市立稲田小学校 講師(2007年08月09日～)
(学外教育)
[公開講座]「カウンセリング講座(初級)」2010
[自治体での社会教育]「茨城県立水戸第二高等学校(出前授業)」2010
[出前授業]「茨城県立日立第一高等学校(出前授業)」2010
[自治体での社会教育]「茨城県警少年課研修会講師」2010
[出前授業]「茨城いのちの電話研修講師」2010
[自治体での社会教育]「坂東市就学指導委員会実技研修会講師」2010
[自治体での社会教育]「笠間市立稲田小学校教員研修会講師」2010
[自治体での社会教育]「茨城町適応指導教室研修会講師」2010
[出前授業]「茨城県立鉾田第一高等学校(出前授業)」2010

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教室	氏名 三輪 壽二
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1961年10月
学歴・職歴	1991年 千葉大学大学院 修士課程 教育学研究科 学校教育専攻 修了
学位	修士(教育学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本カウンセリング学会 日本学校健康相談学会 日本教育心理学会 日本社会臨床学会
専門分野	教育相談、臨床心理学、社会臨床論
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と心(金・4) (専門科目)学校教育相談, 学校教育相談, 子どもの理解と対応, 臨床心理学(心理コース用/免許つかえる), 心理臨床診断法, 心理臨床援助法実習 I, 心理臨床援助法実習 II, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)地域教育資源フィールドスタディ, 授業展開ケーススタディ, 教育臨床心理特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

<p>(学外での委員等)</p> <p>平成22年度水戸市教育相談担当者研修会[水戸市教育委員会](講師)</p> <p>水戸市教科用図書審議会委員[水戸市教育委員会]()</p> <p>(その他地域協力活動)</p> <p>社団法人いはらき思春期保健協会協会副理事長(2010年04月01日～)</p> <p>社団法人いはらき思春期保健協会協会幹事、協会主催講座の講師など(2006年04月01日～)</p>
--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

学校教育教室	氏名 村野井 均
--------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1953年12月
学歴・職歴	1984年 筑波大学大学院 博士課程 心理学研究科 専攻 単位取得満期退学 弘前学院大学一般教育部 講師(1984年4月～1987年3月) 弘前学院大学一般教育部 助教授(1987年4月～1988年3月) 福井大学教育学部 助教授(1988年4月～1999年3月) 福井大学教育地域科学部 助教授(1999年4月～2004年3月) 国立大学法人福井大学教育地域科学部 助教授(2004年4月～2004年12月) 国立大学法人福井大学教育地域科学部 教授(2005年1月～2005年9月) 国立大学法人茨城大学教育学部 教授(2005年10月～)
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本心理学会 日本教育メディア学会 日本教育工学会 日本教育心理学会 日本発達心理学会
専門分野	発達心理学 教育心理学 教育工学 社会心理学
教育研究概要	子どものテレビ理解 児童・生徒による映像制作 子どもの作った映像作品の放送 (キーワード)メディア・リテラシー テレビ 映像制作 学校と地域の連携 放送
担当科目	(教養科目)人間・文化系科目 (火・5) (専門科目)発達の理解 II/子どもの生活世界/発達の理解B, メディア・リテラシーI, 現代社会の人間関係(人間・共通), 発達心理学, 心理学文献講読 II, 生涯学習とメディア, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)学校教育総合研究, 発達心理学特論, 発達心理学演習, 発達臨床心理学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[著書・共著(筆頭)]村野井均, メディアリテラシー , 東大出版会, 「発達心理学」 無藤隆・子安増男編 -4章, 2011年03月

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

(審査員)

日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員[公開可能になるまで、ここに保存する。]

社会的活動、地域貢献など

(学外での委員等)

茨城県教育研究連盟検討委員会[]()

水戸市総合研究所運営委員会[水戸市教育委員会](委員)

茨城県教育研究連盟[] (幹事)

(兼業・兼職)

[非常勤講師]福井大学教育地域科学部 非常勤講師(2010年10月01日～2011年03月31日)

[非常勤講師]群馬大学社会情報学研究科 非常勤講師(2010年10月01日～2011年03月31日)

[兼業]NHK放送文化研究所 Reviewer(2010年04月01日～2012年03月31日)

[出前授業]茨城県立 伊奈高等学校 講師(2009年11月16日～)

[非常勤講師]福島県立 白河高等学校 講師(2009年10月31日～)

[非常勤講師]茨城県立 石岡高等学校 講師(2009年10月09日～)

[出前授業]学校法人尚志学園 尚志高等学校(福島県郡山市) 講師(2009年10月03日～)

[兼業]青少年媒介素教育参考 日本媒介素教育家邀担任本网 (2009年04月01日～2012年03月31日)

[出前授業]青森県青森東高等学校 講師(2007年11月15日～)

[その他]水戸市教育委員会 講師(2007年03月16日～)

(学外教育)

[出前授業]「テレビ理解の心理学」2010

[出前授業]「テレビ理解の心理学」2010

(学協会活動・研究会活動)

日本教育メディア学会「博物館情報・メディア論」編集委員[編集委員](2010年12月04日～2012年03月31日)

日本教育メディア学会日本教育メディア学会編集委員長[編集委員会委員長](2009年10月01日～2010年09月30日)

(報道出演・資料(DB等)提供)

[テレビ]「所さんの目がテン」(日本テレビ)「パーソナルスペースについて解説した」(2010年04月17日)

(その他地域協力活動)

茨城県立清松高等学校ディベート審査委員(2010年03月15日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「平田オリザ氏学術講演会への支援」[茨城大学 茨城大学学術研究推進経費](代表)(2011年01月17日～2011年02月26日)

「SDの視点による教科・領域横断的学習活動の構築」[科研費]萌芽研究(分担)(2010年04月04日～2013年03月31日)

「多様化した大学教育活動の分析と持続可能社会を目指した総合的教育戦略の検討」[科研費]萌芽研究(分担)(2010年04月01日～2012年03月31日)

「教員免許更新講習を安定的に運営するための資料整備」[茨城大学 茨城大学教育改善経費]茨城大学教育改善経費(代表)(2010年04月01日～2011年03月31日)

「SDの視点による子どもの生活環境と学習ニーズに関する基礎的研究」[科研費]基盤研究(C)一般(分担)(2009年04月01日～2012年03月31日)

「中日媒介素教育比研究(Comparative Study on Media Literacy Education in China and Japan)」[中国媒大学 洲媒研究中心科研目申](分担)(2009年01月01日～2010年12月30日)

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 7 月
学歴・職歴	1984 年 奈良女子大学大学院 修士課程 文学研究科 地理学専攻 修了 お茶の水女子大学附属中学校(1984 年 4 月～1990 年 3 月) 茨城大学教育学部／人文学部非常勤講師(1992 年 12 月～2004 年 3 月) 常磐大学人間科学部非常勤講師(1993 年 4 月～2004 年 3 月) 流通経済大学経済学部非常勤講師(1998 年 4 月～2005 年 3 月) 茨城大学教育学部助教授(2004 年 4 月～) 茨城大学教育学部教授(2009 年 10 月～)
学位	文学修士[奈良女子大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本社会科教育学会 日本地理教育学会 日本地理学会 人文地理学会 茨城地理学会 お茶の水地理学会
専門分野	教科教育学 地理学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)社会・国際系科目 (金・3), 主題別ゼミナール (金・2) (専門科目)中等社会科教育法研究, 社会科教育法特講 II, 社会科教育法演習 II, 社会科教科論, 地理歴史科教育法研究 I, 社会科教育学入門 (大学院科目)地域教育資源フィールドスタディ, 授業展開ケーススタディ, 社会・文化総合研究, 社会科授業設計, 社会科教育特論 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- [大学・研究所等紀要・単著] 村山朝子, 地理読本『ニルスの不思議な旅』の成り立ち, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術), 60, 21-41, 2011 年
- [総説・解説・報告等・共著(筆頭以外)] 池俊介, 村山朝子, 課題研究 地理学習で諸地域をどうあつかうかー新しい地誌学習の内容と方法, 社会科教育研究, 112, 64-65, 2011 年
- [その他・単著] 村山朝子, 社会科における地理教育の意義と役割, 日本地理学会発表要旨集, 79, 24, 2011 年 03 月
- [その他・その他] 村山朝子, 書評:山口幸男著『地理思想と地理教育論』, 社会科教育研究, 111, 55-56, 2010 年 12 月

[学術誌論文・共著(筆頭)] 村山朝子, 中川浩一, 大正期における国定小学地理教科書の展開, 茨城地理, 11, 35-48, 2010年08月

研究業績(2)学会発表など

[シンポジウム・口頭発表] 村山朝子, 社会科における地理教育の意義と役割, 日本地理学会春季学術大会, 2011年03月30日

[研究発表・口頭発表] 村山朝子, 近代国家形成期における地理教育の役割, 茨城地理学会第10回大会, 2010年08月21日

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「ESDの視点による教科・領域横断的学習の構築」[科研費]その他(分担)(2010年04月01日～2013年03月31日)

「世界地誌学習の再構築に関する理論的・実践的研究」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2010年04月01日～2013年03月31日)

学校教育教室	氏名 望月 厚志
--------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1953 年 12 月
学歴・職歴	1987 年 立教大学大学院 博士課程 文学研究科 教育学専攻 単位取得満期退学 川村学園女子大学教育学部社会教育学科専任講師(1991 年 4 月～1995 年 3 月) 川村学園女子大学教育学部社会教育学科助教授(1995 年 4 月～2001 年 9 月) 川村学園女子大学教育学部社会教育学科教授(2001 年 10 月～2003 年 3 月) 常葉学園大学教育学部生涯学習学科教授(2003 年 4 月～2005 年 3 月) 茨城大学教育学部教授(2005 年 4 月～)
学位	文学修士[立教大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本生涯教育学会, 日本教師教育学会, 日本教育社会学会, 日本教育制度学会, 日本教育学会, 関東教育学会, 日本キャリアデザイン学会, 日本キャリア教育学会
専門分野	生涯学習, 社会教育, 教師教育 教育学
教育研究概要	. 教育活動 1. 授業関係 学部:教育実践と教師, 社会教育演習, 社会教育実習, 生涯学習論, 社会教育, 総合演習, 主題別ゼミナール, 卒業研究(卒業論文)指導, 教育実習指導, 総合科目(人間と社会), 担当。大学院:生涯教育論特論, 生涯教 育論演習, 学校教育総合研究, 特別課題研究(修士論文)指導, 担当。 2. 学生指 導 2005 年度入学生学年担任, 委託生指導, 全学就職センター相談員。 3. 学外関 係 社会教育主事講習(文部科学省), 栄養教諭認定講習(茨城県教育委員会), 10 年経験者研修講座(茨城県教育研修センター), 社会教育基礎講習(茨城県教育委 員会・茨城大学), 茨城県教育研究連盟研究集会(茨城県教育研究連盟), 高校で の大学模擬授業, 担当。 . 研究活動 「教師の生涯学習に関する調査研究」(研究 業績一覧を参照)。「教師のキャリア・デザイン」及び「キャリア教育」の研究。「学校 評議員」制度の機能確立のための地域・学校連携システムの開発(科学研究費補助 金研究)の研究。 (キーワード)
担当科目	(教養科目)コミュニケーション論 (水・2), 人間・文化系科目 (火・5), 人間・文化系 科目 (水・4) (専門科目)教育実践と教師(教職共通), 教育実践と教師(教職共通)/教育実践と 教師[人環用教職], 社会教育, 生涯学習論(教職共通)/生涯学習論(情報・人間),

教師のキャリア・デザイン, 社会教育実習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)学校教育総合研究, 生涯教育論特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

学校臨床心理専攻	氏名 守屋 英子
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1952年10月
学歴・職歴	1988年 京都大学大学院 博士後期課程 教育学研究科 専攻 単位取得満期退学 京都府八幡市母子通所訓練教室(1976年4月～1980年3月) 奈良子鹿園相談部(1977年4月～1980年3月) 江戸川区教育研究所教育相談室(1981年2月～1993年3月) 琉球大学教育学部非常勤講師(1994年4月～1996年9月) 沖縄リハビリテーション福祉学園非常勤講師(1994年10月～1997年3月) いずみ病院(沖縄県・高江洲義英院長)(1994年12月～1997年3月) 茨城県スクールカウンセラー(非常勤)(1997年4月～) 福田カウンセリングルーム・福田クリニック(つくば市・福田恒也院長)(1998年1月～) 金町慈友クリニック(葛飾区・待鳥浩司院長)(2005年2月～2006年3月) 茨城大学大学院教育学研究科学校臨床心理学専攻(2006年4月～)
学位	教育学修士[京都大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	日本心理臨床学会 日本描画テスト・描画療法学会 日本箱庭療法学会 日本芸術療法学会 日本遊戯療法学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	臨床心理学(芸術療法、遊戯療法、子どもの問題行動に関連しての親・教師への援助、思春期から成人までの心理療法) (キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と心(木・3)/心理学【分野別科目】 (大学院科目)臨床心理学特論I, 心理療法特論, 臨床心理査定演習I, 臨床心理基礎実習I, 臨床心理基礎実習II, 臨床心理実習I, 臨床心理実習II, 箱庭療法特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[大学・研究所等紀要・単著]守屋英子, 教育現場での臨床心理実習における一つの視点 ―キャンパスエイド活動から得られた成果と課題―, 心理臨床研究, 3, 2011年03月01日

研究業績(2)学会発表など


[研究発表・ポスター]枝井栄利子、守屋英子, 思春期における自立の支えとなるもの ―マンガ、アニ

メ、ゲーム等に“ハマる”という観点から一、日本質的心理学会 第7回全国大会, 2010年11月27日

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(学外での委員等)

茨城県カウンセリングアドバイザー[茨城県教育委員会] 

茨城県自殺対策委員会[茨城県保健福祉部障害福祉課](自殺対策委員)

茨城県立水戸南高等学校 学校評議員会[茨城県立水戸南高等学校](学校評議員)

(兼業・兼職)

[兼業]笠間市立佐城小学校 事例検討会講師(2010年12月22日～2011年01月28日)

[兼業]石岡市立東小学校 事例検討会講師(2010年12月15日～2011年01月25日)

[兼業]水戸家庭裁判所 研修会講師(2010年12月03日～2010年12月03日)

[兼業]茨城県石岡市立小幡小学校 講演会講師(2010年12月01日～2010年12月01日)

[兼業]茨城県石岡地区教育相談の会 研修会講師(2010年11月19日～2010年11月19日)

[兼業]茨城県高等学校長協会県南地区校長会 研修会講師(2010年11月18日～2010年11月18日)

[兼業]笠間市教育委員会 研修会講師(2010年11月17日～2010年11月30日)

[兼業]茨城県教育委員会 協議会講師(2010年10月19日～2010年10月19日)

[兼業]小美玉市立たまり中学校 講演会講師(2010年09月30日～2010年09月30日)

[兼業]茨城県町教育委員会 事例検討会講師(2010年09月24日～2010年09月24日)

[兼業]茨城県警察本部少年課 研修会講師(2010年08月19日～2010年08月19日)

[兼業]常陸大宮市教育委員会 研修会講師(2010年08月18日～2010年08月18日)

[兼業]茨城県教育研修センター 0年経験者研修講座(養護教諭)講師(2010年07月09日～2010年07月09日)

[兼業]土浦市教育委員会 研修講座助言者(2010年06月29日～2010年10月07日)

[兼業]茨城県教育委員会 スクールカウンセラー(2010年04月06日～2011年03月18日)

[兼業]福田カウンセリングルーム 臨床心理士(2010年04月01日～2011年03月31日)

(学協会活動・研究会活動)

茨城県臨床心理士会茨城県臨床心理士会スクールカウンセラー専門部会[専門部会長・スクールカウンセラーコーディネーター](2010年04月01日～2012年03月31日)

茨城県臨床心理士会[事務局](2008年05月19日～2010年05月30日)

(その他地域協力活動)

茨城県立結城第二高校大学生・大学院生をキャンパスエイドとして結城第二高校に派遣。月1回のミーティングで学生達の指導を行う。また高校で行われるキャンパスエイド研究協議会に参加。年度末に地域教育臨床研究会を開催し、活動報告を行う。(2010年04月01日～2011年03月31日)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

数学教育教室	氏名 柳田 伸顯
--------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1947 年 4 月
学歴・職歴	1978 年 東京工業大学大学院 博士課程 理学系研究科 数学専攻
学位	博士(理学)
受賞歴	なし
所属学会	日本数学会
専門分野	代数的位相幾何学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)算数科内容研究, 代数学の基礎 I, 代数学の基礎 II, 代数学A, 代数学 B, 確率統計概論, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)数学総合研究, 数学科教育授業設計, 代数学特論, 代数学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

理科教育教室	氏名 矢島 裕介
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1953年8月
学歴・職歴	1982年 東京大学大学院 博士課程 理学系研究科 相関理化学専攻 修了 日立製作所(株)(1982年4月～2003年3月) ブラウンホーファー応用固体物理学研究所客員研究員(1988年2月～1989年1月) 茨城大学教育学部教授(2003年4月～)
学位	理学博士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	応用物理学会 日本物理教育学会
専門分野	物性
教育研究概要	物理学 (キーワード)
担当科目	(専門科目)物理学実験指導法, 物理学実験 I, 初等理科内容研究, 初等理科実験観察内容研究, 熱学概論, 物理学演習 I, 物理学演習 A, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)自然科学総合研究, 理科授業設計, 物理学特別実験

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭以外)] 萩谷昭洋, 矢島裕介, 真空概念の指導法の研究, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), 60, 19-33, 2011年03月31日
[大学・研究所等紀要・単著] Yusuke Yajima, A Comprehensive Account of the Laws of Classical Thermodynamics : Pursuit of Optimally Empirical Approach, Bulletin of the College of Education Ibaraki University (Natural Sciences), 60, 13-18, 2011年03月31日

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職) [非常勤講師] 土浦協同病院附属看護専門学校 講師(2010年04月01日～2011年03月31日)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(共同研究実績)

技術教育教室

氏名 安田 健一

教員履歴など

現職	教授
生年月	1948年3月
学歴・職歴	1971年 早稲田大学 理工学部 卒業 日立製作所(1971年4月～2002年6月)
学位	工学博士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本塑性加工学会, 日本機械学会, 日本鉄鋼協会, 日本産業技術教育学会
専門分野	圧延
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)文明・技術系科目 (金・3) (専門科目)ものづくり体験, 製図I, 基礎機械工学, 機械の基礎技術, 機械の応用技術, 機械工学, 機械工学演習, 家庭電気・機械, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)地域教育資源フィールドスタディ, 授業展開ケーススタディ, 技術と生活総合研究, 技術科授業設計, 機械工学特論, 機械工学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

木田健太, 安田健一:へらしぼり加工を利用した中学生の塑性加工に対する認識を深める教材の開発, 茨城大学教育学紀要(教育科学)59(2010)

研究業績(2)学会発表など

安田健一, 中野雅利, 角翔太郎, 宇佐美渉:エネルギー変換教材「風船エンジンカー」の開発, 日本産業技術教育学会第53回全国大会, a24-4, 19

木田健太, 安田健一:中学生の塑性加工に対する認識を深める教材の開発—第1報—へらしぼり加工の教材化の可能性についての検討—, 日本産業技術教育学会第53回全国大会, b2A-3, 62

木田健太, 安田健一:中学生の塑性加工に対する認識を深める教材の開発—第2報—へらしぼり加工の動作映像を交えた授業構想—, 日本産業技術教育学会第22回関東支部大会, 63-64

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

県民大学講座「ボール紙で楽しむ大人の“ものづくり”」講師

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

人間環境教育教室	氏名 山根 爽一
----------	----------

教員履歴など

現 職	特任教授
生年月	1946 年 2 月
学歴・職歴	1975 年 03 月 北海道大学大学院 博士課程 理学研究科 動物学専攻 単位取得満期退学 茨城大学講師(教育学部)(1975 年 4 月～1982 年 3 月) 茨城大学助教授(教育学部)(1982 年 4 月～1996 年 6 月) 茨城大学教授(教育学部)(1996 年 7 月～2011 年 3 月)
学位	工学博士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	国際社会性昆虫学会(International Union for the Study of Social Insects) 日本動物行動学会 日本昆虫学会 日本生態学会 熱帯生態学会
専門分野	昆虫社会学 生物多様性/分類
教育研究概要	<p>教育＞ 教育学部:主に環境コースにおいて生物関連の分野の講義、実験、演習、実習などを担当している。「環境生物学」「動物の多様性」「動物学」「初等理科内容研究」「生物学実験」「生物学野外実習」「総合演習」「生物学演習」など。大学院教育学研究科:理科専修で「生物学特論」「生物学特別実験」「特別課題研究」を担当している。大学院理工学研究科:環境機能科学専攻で「動物行動学特論」「環境機能科学特別研究」「環境機能科学特別演習」などを担当している。＜研究＞ 昆虫生態学。特に社会性カリバチ類(アシナガバチ、スズメバチ)における社会行動の進化を研究している。中でも、ハチの生活の場である巣の構造や営巣習性を比較研究している。また、熱帯・亜熱帯に生息するハリナシバチ類の行動、特に女王の産卵行動を種間、グループ間で比較する。</p> <p>(キーワード)社会性昆虫、社会行動の進化、社会性カリバチ、スズメバチ、アシナガバチ、造巣習性、巣の建築技術、巣温、動物の多様性、生態系保全、昆虫分類</p>
担当科目	<p>(教養科目)身体・行動系科目</p> <p>(専門科目)保育内容の研究(環境分野), 初等理科内容研究, 環境生物学, 動物の多様性, 動物学, 動物学演習, 生物学実験, 生物学野外実習, 総合演習, 環境特別演習 I, 環境特別演習 II, 環境科学総論, 生物学実験指導法, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)自然科学総合研究, 理科授業設計, 生物学特論, 生物学特別実験,</p>

	特別課題研究
--	--------

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

1. Kuwahara, T., Sô. Yamane, I-H. Sung, S. Poonchaisri & Y. Nishikawa 2011 (March). Chemical characteristics of the proteinaceous material in the nests of six polistine species (Hymenoptera; Vespidae). Sociobiology, 57(3): 537-553.

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

日本昆虫学会 会長(2009年01月01日～2010年12月31日)

日本昆虫科学連合 副代表(2010年7月01日～2012年06月30日)

[兼業]茨城県自然博物館 助言者会議助言者(2006年10月01日～2011年03月31日)

[兼業]茨城県自然博物館「研究報告」総括査読委員(2007年10月01日～2011年03月31日)

[兼業]茨城県教育委員会高校教育課 平成22年度茨城県高等学校入学者選抜方法協議会委員(2010年06月01日～2010年06月23日)

[兼業]水戸市教育委員会 水戸市小中学校適正配置検討委員会委員(2010年03月23日～2010年6月30日)

[兼業]土浦市教育委員会 平成22年度土浦市教育行政点検評価委員会委員(2010年06月15日～2011年3月31日)

[兼業]日本原子力研究開発機構 大洗わくわく科学館運営委員会会長(2010年06月1日～2011年3月31日)

[兼業]茨城県高等学校教育研究会 第36回 中学・高校生物研究発表大会講師(2011年11月27日)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者DBにデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

理科教育教室	氏名 山本 勝博
--------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1948年11月
学歴・職歴	2003年 兵庫教育大学大学院連合学校 博士課程 教育学研究科 学校教育学専攻 大阪府立高等学校講師(1971年4月～1971年9月) 大阪府立高等学校教諭(1971年10月～1992年3月) 大阪府科学教育センター・主任研究員(1992年4月～1993年3月) 大阪府教育センター・主任研究員(1993年4月～2005年3月) 大阪府教育センター・主任研究員(化学リーダー)(2005年4月～2006年3月) 教授(2006年4月～)
学位	博士(学校教育学) 修士(工学)[兵庫教育大学大学院連合学校]
受賞歴	なし
所属学会	大阪府高等学校理化教育研究会 日本化学会 日本理科教育学会 日本科学教育学会
専門分野	科学教育
教育研究概要	環境教育に活用できる水環境調査(茨城県の河川や湧水等) 地域素材を活用した教材開発(陶芸や紙すき、染色等伝統産業に関わったもの) 最新の科学技術を取り入れた教材開発(色素増感太陽電池の環境教育への活用) 内容が豊富で理解しやすい理科実験教材、教具の開発(結晶育成装置の製作) (キーワード)理科教育、化学教育、環境教育、水環境科学
担当科目	(教養科目)環境・政策系科目 (火・5) (専門科目)初等理科教育法研究, 初等理科教育法研究, 保育内容の研究(環境), 中等理科教育法研究, 中等理科内容研究, 理科教科論, 理科教育演習 I, 理科教育演習 B, 卒業研究(教育:4単位), 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)自然科学総合研究, 理科授業設計, 理科教育学特論 I(初等理科教育論), 理科教育学演習 I, 理科教育学特論 II(理科教育原理), 理科教育学演習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など
(その他地域協力活動) 茨城大学教育学部附属小学校附属小学校の授業研究会において共同研究者として、事前打ち合わせおよび発表当日の指導助言を行う予定である。今年度は、平成 19 年 6 月 7 日(木)五島浩一教諭、佐藤義明教諭および平成 20 年 2 月 1 日(金)石川豊教諭を担当する。(2007 年 04 月 01 日～) 茨城県教育研究連盟研究集会茨城県教育研究連盟研究集会の発表会(理科部会)における指導助言を行った。2006 年 10 月 14 日(土)、2007 年 10 月 13 日(土)実施した。(2006 年 04 月 01 日～) 茨城大学教育学部附属中学校附属中学校の理科授業の公開研究会において共同研究者として、発表内容や発表論文に関する指導を行い、発表当日は指導助言を行った。2006 年度、2007 年度と実施している。(2006 年 04 月 01 日～) 茨城大学教育学部附属幼稚園附属幼稚園の親子の体験活動である、「どきどき体験ー草木染めー」を 2006 年度から実施している。参加者は、2006 年度は 70 名、2007 年度は 150 名であった。(2006 年 04 月 01 日～)

海外出張・海外研修・内地研修など
(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

家政教育教室

氏名 山本 紀久子

教員履歴など

現職	教授
生年月	1947年2月
学歴・職歴	1971年 東京学芸大学大学院 修士課程 教育学研究科 専攻 修了
学位	教育学修士[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本子ども社会学会 日本家庭科教育学会 日本家政学会 日本教科教育学会 日本教育学会 日本教育実践学会 日本教育方法学会 日本消費者教育学会 日 本生活経済学会 日本精神神経学会 日本精神衛生学会
専門分野	教科教育学 消費者教育
教育研究概要	教材開発、消費者教育、指導技法
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目 (火・5) (専門科目)総合演習, 初等家庭科教育法研究, 初等家庭科教育法研究, 家庭科教 育法演習 I, 家庭科教育法演習 II, 初等家庭科内容研究, 初等家庭科内容研究, 卒 業研究(教育:4単位) (大学院科目)地域教育資源フィールドスタディ, 授業展開ケーススタディ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭以外)] 山田好子、山本紀久子、女子学生の家庭における電子レンジ等に関する研究, 小田原女子短期大学研究紀要, 41, 66-73, 2011年03月

[大学・研究所等紀要・共著(筆頭)] 山本紀久子、山田好子, 小学校家庭科教科書における安全に関する記載分析, 茨城大学実践研究, 29, 77-90, 2010年11月

[総説・解説・報告等・単著] 山本紀久子, 平成20年告示小学校学習指導要領(家庭)とその解説における製品安全に関する記述分析, 生活安全ジャーナル, 10, 58-64, 2010年10月

[学術誌論文・共著(筆頭)] 山本紀久子、山田好子、早野木の美, 消費生活製品についての消費者安全教育, 消費者教育, 30, 189-197, 2010年09月30日

[総説・解説・報告等・単著] 山本紀久子, 「消費者教育体系シート(安全)に対する学習内容と製品安全に関する教科書の記載分析, 生活安全ジャーナル, 9, 55-60, 2010年05月

研究業績(2)学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

(学外での委員等) 神奈川県消費生活審議委員[]() (講演・シンポジウム等) 学習公開・初等教育研修会(国内)筑波大学附属小学校(社)初等教育研究会(東京都文京区)招待 講演 2011年02月18日「魅せる教材を創る」の講師として、講演をする。 金融教育を考えるフォーラム(国内)北海道教育大学、北洋銀行(北海道札幌市 KKRホテル札幌) 招待講演 2010年10月23日「独り立ちを自覚できる場の工夫のワークショップ」の講師として (報道出演・資料(DB等)提供) [新聞]日本教育新聞「新学習指導要領対応 明日の授業を創る―研究者とともに―「魅せる」教材の 工夫を」(2011年02月28日)
--

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

--

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1967年6月
学歴・職歴	1993年 筑波大学大学院 修士課程 体育研究科 体育方法学専攻
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本スポーツ教育学会 日本体育学会 日本体育授業研究会 日本体育科教育学会
専門分野	体育科教育学、身体教育学
教育研究概要	小・中・高等学校における体育カリキュラムや体育指導に関する研究を行うとともに、体育教員養成の研究を行う。 (キーワード) 体育教師教育 授業研究 体育カリキュラム 指導法
担当科目	(教養科目) 身体活動 (金・1), 身体活動 (金・2), 主題別ゼミナール (水・1) (専門科目) 体育科教育法研究[後期], 体育科教育法研究[後期], 保育内容の研究 (健康), 保育内容の研究(表現), 保健体育科教育法研究 I, スポーツ指導法 V/サッカー/スポーツ指導法 V/サッカー/サッカー, 体育科内容研究, ボールゲーム方法論 I/ボールゲーム方法論 I, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 学校教育基礎論, 体育科学総合研究, 保健体育授業設計, 体育教育特論, 保健体育授業論演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- [著書・監修] 清水紀宏, 森勇示, 吉野聡, たのしい体育 6年, 大日本図書, 1-53, 2010年04月
- [著書・監修] 清水紀宏, 森勇示, 吉野聡, たのしい体育 5年, 大日本図書, 1-53, 2010年04月
- [著書・監修] 清水紀宏, 森勇示, 吉野聡, たのしい体育 4年, 大日本図書, 1-53, 2010年04月
- [著書・監修] 清水紀宏, 森勇示, 吉野聡, たのしい体育 3年, 大日本図書, 1-53, 2010年04月
- [著書・監修] 清水紀宏, 森勇示, 吉野聡, たのしいたいいく 2年, 大日本図書, 1-53, 2010年04月
- [著書・監修] 清水紀宏, 森勇示, 吉野聡, たのしいたいいく 1年, 大日本図書, 1-53, 2010年04月
- [著書・共著(筆頭以外)] 高橋健夫+岡出美則+友添秀則+岩田靖編著, 新版 体育科教育学入門, 大修館書店, 82-88, 2010年04月10日
- [その他・単著] 吉野聡, 参考資料の生かし方, 一小学校体育、中学校保健体育一, 指導と評価, **57**, 9, 30-32, 2011年
- [その他・共著(筆頭)] 吉野聡・高橋健夫, 進化する中学校体育 合理的な体力の高め方がわかる・でき

る体づくり運動の授業, 体育科教育, 58, 2, 71-72, 2010 年

[その他・単著]吉野聡, チームパシュート方式による長距離走の授業づくり, 体育科教育, 58, 12, 42-45, 2010 年

[その他・共著(筆頭)]吉野聡, 高橋健夫, 優れた授業分析に学ぶ学習規律の指導, 体育科教育, 58, 4, 2010 年

研究業績(2)学会発表など

[研究発表・ポスター], , , 2010 年 10 月 26 日

[研究発表・口頭発表]吉野聡, チームパシュート方式による長距離走の授業づくり, 日本体育授業研究, 2010 年 08 月 09 日

研究業績(3)芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(兼業・兼職)

(学協会活動・研究会活動)

日本スポーツ教育学会 日本スポーツ教育学会理事・国際交流委員会[国際交流委員長](2009 年 04 月 01 日～)

日本体育授業研究会 日本体育授業研究会編集委員会[理事・編集委員](2007 年 08 月 06 日～)

海外出張・海外研修・内地研修など

韓国スポーツ教育学会(8 月 25 日～28 日)

科学研究費補助金などの受領

保健体育教室	氏名 渡邊 將司
--------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1978年5月
学歴・職歴	2006年03月 筑波大学大学院 博士課程 人間総合科学研究科 体育科学専攻 修了 浅井学園大学 短期大学部 人間総合学科スポーツ科学系 (2006年4月～2007年3月) 北翔大学 短期大学部 こども学科(2007年4月～2009年3月) 茨城大学 教育学部 保健体育教室(2009年4月～)
学位	博士(体育科学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	American College of Sports Medicine 日本トレーニング科学会 日本体力医学会 日本成長学会 日本発育発達学会 National Strength and Conditioning Association
専門分野	スポーツ科学 身体教育学
教育研究概要	(キーワード)発育発達学、形態学、トレーニング科学
担当科目	(教養科目)身体活動 (月・4), 身体活動 (水・2), 身体活動 (金・3) (専門科目)初等保健体育科教育法研究, 測定評価, 発育学 (大学院科目)地域教育資源フィールドスタディ, 授業展開ケーススタディ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>[著書・共著(筆頭以外)]監修 日本体育協会, アクティブ・チャイルド 60min., サンライフ企画, 134-135, 2010年04月16日</p> <p>[大学・研究所等紀要・共著(筆頭以外)] 花井篤子, 渡邊將司, 北方圏地域住民を対象とした運動処方 - 異なる運動種目および運動頻度が北方圏生活基礎体力に及ぼす影響 -, 北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター年報, 1, 17-21, 2010年</p> <p>[大学・研究所等紀要・共著(筆頭以外)] 引原有輝, 渡邊將司, 森田啓, 体力レベルならびにスポーツクラブ所属の有無からみた中学生・高校生の意欲関心と生活習慣, 千葉工業大学研究報告, 人文編, 47, 39-46, 2010年</p> <p>[大学・研究所等紀要・共著(筆頭以外)] 花井篤子, 渡邊將司, 短期大学部生の生活基礎体力評価, 北翔大学短期大学部研究紀要, 48, 31-36, 2010年</p>

研究業績(2)学会発表など

[研究発表・口頭発表] 渡邊將司, 小学1年生の成人身長を予測する, 日本成長学会, 2010年11月
[研究発表・ポスター] , , , 2010年06月

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

社会的活動、地域貢献など

(講演・シンポジウム等)

茨城県スポーツ指導者研修会(県北地区)(国内)2011年02月26日 講義・実技「体幹トレーニングとコンディショニング」

鹿行地区体育指導委員協議会研修会(国内)2011年02月20日 講演・実技「プライオメトリックトレーニング」

「ストレッチ・テーピング講習会」(東海村)(国内)2011年01月05日 東海村でスポーツ指導者として活動する方々へのストレッチとテーピングの理論・実技講習

茨城県スポーツ指導者研修会(県南地区)(国内)2010年11月14日 講演「下肢の傷害とその予防」

健康教育講座(日立第一高等学校)(国内)その他 2010年11月04日 プライオメトリックトレーニング

鹿嶋市部活研修講座「師範塾」(国内)2010年05月 保健体育を専門にしていない中学校教員に対する体育・スポーツ理論講習

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1965 年 3 月
学歴・職歴	1994 年 筑波大学大学院 博士課程 心理学研究科 心理学専攻 単位取得満期退学 茨城大学教育学部講師(1995 年 1 月～1999 年 9 月) 茨城大学教育学部助教授(1999 年 10 月～2007 年 3 月) 茨城大学教育学部准教授(2007 年 4 月～2011 年 9 月) 茨城大学教育学部教授(2011 年 10 月～)
学位	修士(心理学)[筑波大学] 博士(心理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育心理学会 日本カウンセリング学会 日本発達心理学会
専門分野	教育・社会系心理学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と心(金・4) (専門科目)発達の理解 I/子どもと発達/発達の理解A, 心理学研究法 I, 心理学研究法 II, 心理学統計法, 心理学文献講読 I, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)人間関係特論, 学校教育心理学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

[著書・単著]渡部玲二郎, たのしく学べる乳幼児の心理(改訂版), 福村出版, 197-211 頁, 2010 年 10 月

研究業績(2)学会発表など**研究業績(3)芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など**

(学外での委員等)

社団法人茨城県看護協会講師[社団法人茨城県看護協会](実習指導者講習会講師)

(兼業・兼職)

[非常勤講師]筑波大学人間学群 (1998年04月01日～)

[非常勤講師]茨城北西看護専門学校 (2010年04月01日～)

(学協会活動・研究会活動)

日本カウンセリング学会日本カウンセリング学会常任編集委員[常任編集委員](2008年04月01日～2014年03月31日)

日本教育心理学会日本教育心理学会編集委員[編集委員](2008年01月01日～2013年12月31日)

(その他地域協力活動)

茨城県立水海道第一高等学校(連携協定あり)出前授業(2010年11月04日～2010年11月04日)

茨城県立下妻第二高等学校(連携協定あり)出前授業(2010年10月20日～2010年10月20日)

海外出張・海外研修・内地研修など

(研究者 DB にデータがありません。)

科学研究費補助金などの受領

(競争的資金・外部資金)

「関係性攻撃と心理社会的適応との関連についての生涯発達心理学的研究」[科研費]基盤研究(B)一般(分担)(2010年04月01日～2013年03月31日)

「多様化した大学教育活動の分析と持続可能社会を目指した総合的教育戦略の検討」[科研費]萌芽研究(分担)(2010年04月01日～2013年03月31日)

「SDの視点による教科・領域横断的学習活動の構築」[科研費]萌芽研究(分担)(2010年04月01日～2013年03月31日)

(共同研究実績)

代表研究者:渡部玲二郎(茨城大学教育学部准教授)「子どものコミュニケーション能力向上プロジェクト(代表)」(概要:子どものコミュニケーション能力を測定するため心理検査の開発、および子どものコミュニケーション能力を向上させるための具体的方法の開発)[国内共同研究/未詳/](2007年12月～2012年03月)